

合田幸広, 小出達夫, 細江潤子, 内山奈穂子, 杉本直樹, 村林美香^{*1}, 小野誠^{*2}, 小林謙吾^{*2}, 藤峰慶徳^{*3}, 横瀬俊幸^{*3}, 清水仁^{*4}, 大藤克也^{*4}, 長谷部隆^{*5}, 浅井由美^{*5}, 江奈英里^{*5}, 菊池純子^{*6}, 清田浩平^{*6}, 藤田和弘^{*6}, 牧野吉伸^{*7}, 八十歩直子^{*7}, 小幡泰子^{*7}, 山田裕子^{*8}, 鈴木裕樹^{*8}, 三浦亨^{*8}, 水井浩司^{*8}, 朝倉克夫^{*9}, 末松孝子^{*10}: 定量NMRは, マスバランス法より標準物質の定量においてより経済的である

第86回日本分析化学会有機微量研究懇談 (2019.6.13)

^{*1} 武田薬品

^{*2} 第一三共

^{*3} 大塚製薬

^{*4} 中外製薬

^{*5} エーザイ

^{*6} 塩野義製薬

^{*7} 富士フイルム

^{*8} 富士フイルム和光純薬

^{*9} 日本電子

^{*10} JEOL RESONANCE

末松孝子^{*1}, 小松孝典^{*1}, 細江潤子, 内山奈穂子, 三浦亨^{*2}, 鈴木裕樹^{*2}, 山田裕子^{*2}, 五十嵐靖^{*3}, 丸山剛史^{*3}, 嶋田典基^{*4}, 日向野太郎^{*5}, 杉本直樹, 合田幸広: 定量NMR法における試料調製条件の一考察: 吸湿性試薬の場合.

第86回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会, 第110回計測自動制御学会力学量計測部会 第36回合同シンポジウム (2019.6.14)

^{*1} (株) JEOL RESONANCE

^{*2} 富士フイルム和光純薬 (株)

^{*3} (株) ツムラ

^{*4} (株) 常磐植物化学研究所

^{*5} 大正製薬 (株)

合田幸広: マスタープラン2017に対応した生薬分野のレギュラトリーサイエンスの推進

第35回和漢医薬学会学術大会 (2019.9.1)

田中悠斗^{*1}, 山路誠一^{*1}, 新井一郎^{*1}, 三宅克典^{*2}, 寺林進^{*3}, 酒井英二^{*4}, 合田幸広, 川原信夫^{*5}, 飯田修^{*5}: 日本薬局方『ボクソク』の組織形態学的研究 (第9報) ~コナラの株内変異 (3) ~

第35回和漢医薬学会学術大会 (2019.9.1)

^{*1} 日本薬科大学

^{*2} 東京薬科大学

^{*3} 横浜薬科大学

^{*4} 岐阜薬科大学

^{*5} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

中嶋祐輝^{*}, 坪井尚秀^{*}, 香取久美子^{*}, Alfarius Eko Nugroho^{*}, 平澤祐介^{*}, 川崎洋子, 合田幸広, 金田利夫^{*}, 森田博史^{*}: Oxomollugin誘導体の抗炎症作用
日本生薬学会第66回年会 (2019.9.22)

^{*} 星薬科大学

合田幸広: 生薬・天然物の品質, 安全性, 有効性に関する研究

日本生薬学会第66回年会 (2019.9.23)

合田幸広: 「麻黄のドーピング・副作用防止対策として期待されるエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE)」の研究背景

日本生薬学会第66回年会 (2019.9.23)

合田幸広: 日本薬局方と定量NMR
生薬分析シンポジウム (2019.11.28)

合田幸広: 一般用漢方製剤における製造販売承認基準の制定及び承認権限の都道府県委任について
第56回全国衛生化学技術協議会年会部門別研究会 (2019.12.6)

合田幸広: 薬学の基礎「品質保証」健康食品・保健機能食品・医薬品の品質保証

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

伊豆津健一, 阿部康弘, 臼井明子, 吉田寛幸: 凍結溶液中におけるタンパク質と糖アルコールの混合性と結晶化: 凍結乾燥製剤の設計への活用.

第55回熱測定討論会 (2019.10.25)

山下晃司^{*1}, 近藤菜直^{*1}, 伊豆津健一, 松井一樹^{*2}, 杉原正久^{*2}, 菅野清彦^{*3}, 山下伸二^{*1}: In vitro sensitivity analysisによる塩基性薬物のヒトBE試験における個体内変動の解析: 原薬と製剤の比較.

日本薬剤学会第34年会 (2019.05.16)

^{*1} 摂南大学

*² 沢井製薬

*³ 立命館大学

Izutsu K, Usui A, Abe Y, Yoshida H: Excipient Phase Separation and Crystallization in the Freezing Segment of Protein Formulation Lyophilization.

American Association of Pharmaceutical Scientists Annual Meeting (2019.11.4)

吉田寛幸, 阿部康弘, 稲垣葵, 伊豆津健一: 高溶解性薬物を含有する即放性製剤の溶出性への試験液緩衝能の影響.

日本薬剤学会第34年会 (2019.5.18)

阿部康弘, 吉田寛幸, 白井明子, 伊豆津健一: 貼付剤の皮膚透過性試験における人工皮膚膜の有用性評価.

日本薬剤学会第34年会 (2019.5.16)

阿部康弘, 吉田寛幸, 富田奈緒美, 伊豆津健一: ジェネリック医薬品品質情報検討会による抗菌剤の溶出性評価.

第29回日本医療薬学会年会 (2019.11.2)

阿部康弘: アマルエット配合錠のOOS対応の事例を中心に.

第56回全国衛生化学技術協議会年会部門別研究会 (2019.12.6)

吉田寛幸, 阿部康弘, 富田奈緒美, 伊豆津健一: 溶出試験における試験液量の差異の影響 - 900 mLと1000 mLについて -.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

宮崎玉樹, 菅野仁美, 山本栄一, 合田幸広: 長さ測定による経皮吸収型製剤のコールドフロー評価.

日本薬剤学会第34年会 (2019.5.16)

Miyashita K^{*1}, Yamamoto E, Miyazaki S^{*1}, Aoyama C^{*1}, Kushida I^{*2}, Hasebe T^{*2}, Kato M^{*3}: Simple and rapid measurement of encapsulation efficiency of drug in liposomes using a novel monolithic silica column with nanoparticle exclusion chromatography.

48th International Symposium on High-Performance Liquid Phase Separations and Related Techniques (2019.6.18)

*¹ GL Sciences Inc.

*² Eisai Co., Ltd.

*³ School of Pharmacy, Showa University

辻優太^{*1}, 井上雅己^{*1,2}, 安藤大介, 鎌田春彦^{*2,3}, 小野寺章^{*1}, 河合裕一^{*1}, 角田慎一^{*1,2,3}: 2型TNF受容体を標的とするアゴニストタンパク質のTreg機能制御薬としての有用性.

第35回日本DDS学会学術集会 (2019.7.4)

*¹ 神戸学院大学薬学部

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

*³ 大阪大学国際医工情報センター

安藤大介: 国内外における早期承認プログラムと製品供給に向けたCMC/GMPの課題.

日本PDA製薬学会 開発QA委員会 研究成果報告会 (2019.11.5)

Yamamoto E, Ando D, Miyazaki T, Izutsu K: Prediction of adsorption properties of drugs on materials and prevention of the adsorption losses in sample preparation.

49th International Symposium on High-Performance Liquid Phase Separations and Related Techniques (2019.12.4)

菅野仁美, 宮崎玉樹, 安藤大介, 山本栄一, 伊豆津健一: 注射剤等の定量におけるHPLC法とUV法の比較.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

Miyazaki T, Kanno H, Ando D, Yamamoto E, Izutsu K, Goda Y: A new method to quantify the degree of cold flow in transdermal patches.

The Adhesion Society 43rd Annual Meeting (2020.2.24)

安藤大介, 山本栄一, 近藤昌夫^{*}, 岡田直貴^{*}, 伊豆津健一: マイクロニードル製剤の開発における重要品質特性と品質試験法に関する文献検討.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

* 大阪大学大学院薬学研究科

宮崎玉樹, 菅野仁美, 安藤大介, 山本栄一, 伊豆津健一, 合田幸広: プローブタック試験の測定値に及ぼす治具形状の影響.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

高橋和宏*, 秋山高一郎*, 堀田和希*, 坂本知昭, 里園浩*: テラヘルツ波全反射分光法を用いたテオフィリン無水物の水和転移モニタリング
日本薬学会 第140年会 (2020.3.28)

* 浜松ホトニクス中央研究所

坂本知昭, 佐々木哲朗^{*1}, 藤巻康人^{*2}, 知久馬敏幸: 市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第9報 不良・不正(偽造)が疑われた個人輸入国内未承認薬の品質分析
日本薬学会 第140年会 (2020.3.27)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 東京都立産業技術研究センター

佐々木哲朗^{*1}, 坂本知昭, 大塚誠^{*2}: テラヘルツ分光スペクトルに現れる微量光学異性体不純物分子の影響
日本薬学会 第140年会 (2020.3.27)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 武蔵野大学

知久馬敏幸, 坂本知昭: 市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第10報 アレルギー性疾患治療薬フェキソフェナジン塩酸塩錠を用いたラマンイメージ構築の最適化のためのスペクトル解析アプローチ
日本薬学会 第140年会 (2020.3.27)

藤巻康人*, 富山真一*, 坂本知昭: 非破壊検査技術による過酷環境下での医薬品の観測 - X線CT画像解析と近赤外スペクトル解析 -
日本薬学会 第140年会 (2020.3.27)

* 東京都立産業技術研究センター

富山真一*, 藤巻康人*, 坂本知昭: X線CT画像を活用した錠剤内部の空隙検出法の精度向上
日本薬学会 第140年会 (2020.3.27)

* 東京都立産業技術研究センター

秋山高一郎*, 堀田和希*, 高橋和宏*, 坂本知昭, 里園浩*: テラヘルツ波減衰全反射法を用いたヨーグルトの乳酸発酵プロセスのモニタリング2
日本薬学会 第140年会 (2020.3.27)

* 浜松ホトニクス中央研究所

堀田和希*, 秋山高一郎*, 高橋和宏*, 坂本知昭, 里園浩*: テラヘルツ波減衰全反射分光法による医薬品溶解モニタリング
日本薬学会 第140年会 (2020.3.27)

* 浜松ホトニクス中央研究所

Sakamoto T, Sasaki T^{*1}, Fujimaki Y^{*2}, Chikuma T: Application of NIR molecular sensing technique for pseudo-polymorphism conversion monitoring during a pharmaceutical process based on molecular vibrational analysis.
The 71st Pittsburgh Conference on Analytical Chemistry and Applied Spectroscopy (PITTCON 2020) (2020.3.3)

^{*1} Shizuoka University

^{*2} Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute

Fujimaki Y*, Sakamoto T, Koganei S*: Rapid Quantities Analysis of Chiral Pharmaceutical using Near Infrared Spectra of the Second Overtone Region.
The 71st Pittsburgh Conference on Analytical Chemistry and Applied Spectroscopy (PITTCON 2020) (2020.3.3)

* Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute

藤巻康人*, 坂本知昭, 小金井誠司*, 知久馬敏幸: 可搬型近赤外分光器を用いた光学活性医薬品製剤の非破壊定量分析
第35回近赤外フォーラム (2019.11.20)

* 東京都立産業技術研究センター

坂本知昭, 藤巻康人*, 知久馬敏幸: 医薬品プロセス・品質管理ツールとしてのNIR分子センシング技術の活用
第35回近赤外フォーラム (2019.11.19)

* 東京都立産業技術研究センター

Sakamoto T, Sasaki T*, Chikuma T: Development of quality evaluation approach for pharmaceuticals on the market using terahertz spectroscopy.

The 4th International Symposium on Biomedical Engineering (ISBE 2019) (2019.11.15)

* Shizuoka University

坂本知昭, 藤巻康人*, 知久馬敏幸: 分子振動解析に基づく医薬品製造プロセスにおける擬似結晶多形転移モニタリングへのNIR分子センシング技術の応用
第80回応用物理学会秋季学術講演会 (2019.9.20)

* 東京都立産業技術研究センター

藤巻康人*, 坂本知昭, 小金井誠司*, 知久馬敏幸: 高次倍音領域の近赤外スペクトルを用いた光学活性医薬品錠剤の非破壊定量分析
第80回応用物理学会秋季学術講演会 (2019.9.20)

* 東京都立産業技術研究センター

Sasaki T^{*1}, Sakamoto T, Otsuka M^{*2}: Effects of Low Content Enantiomer Impurity in L-histidine Crystal Observed by Terahertz Spectroscopy.
44th International Conference on Infrared, Millimeter, and Terahertz Waves (IRMMW-THz2019) (2019.9.1)

*¹ Shizuoka University

*² Musashino University

Sasaki T^{*1}, Sakamoto T, Otsuka M^{*2}: Impurity detection in pharmaceuticals by GaP CW THz spectrometer.
4th International Conference on Energy, Materials and Nanotechnology Terahertz (EMN THz 2019) (2019.6.10)

*¹ Shizuoka University

*² Musashino University

伊藤雅隆*, 坂本知昭, 鈴木浩典*, 野口修治*: テラヘルツ分光法を用いたインジナビル硫酸塩溶媒和物の脱溶媒挙動解析
日本薬剤学会第34年会 (2019.5.18)

* 東邦大学

佐々木哲朗^{*1}, 坂本知昭, 大塚誠^{*2}: 高周波数精度テラヘルツ分光スペクトル測定による結晶評価と医薬品検査

への応用

2019年度日本分光学会年次講演会 (2019.5.14) 国内

*¹ 静岡大学

*² 武蔵野大学

Sasaki T^{*1}, Sakamoto T, Otsuka M^{*2}: Detection of impurities in pharmaceuticals by terahertz laser spectrometer.

Analytical and Bioanalytical Methods Conference (Analyticon-2019) (2019.4.29)

*¹ Shizuoka University

*² Musashino University

近藤敦斗*, 小出達夫, 深水啓朗*: インドメタシン/ニコチンアミド共結晶を含むモデル製剤の溶出挙動に関する研究.

日本薬剤学会第34年会 (2019.5.16)

* 明治薬科大学

鈴木陽太^{*1}, 齋藤歩^{*1}, 小出達夫, 志村啓^{*2}, 深水啓朗^{*1}: ラマン分光法における低波数領域の校正基準及び晶癖による影響.

日本薬剤学会第34年会 (2019.5.16)

*¹ 明治薬科大学

*² 日立ハイテクノロジー

渡邊祐太郎^{*1}, 星野拓也^{*1}, 山本佳久^{*2}, 小出達夫, 深水啓朗^{*1}: 褥瘡の治療に用いる半固形製剤の熱分析による評価.

日本薬剤学会第34年会 (2019.5.16)

*¹ 明治薬科大学

*² 帝京平成大学

長田拓美*, 竹内勇輝*, 井上元基*, 久田浩*, 小出達夫, 深水啓朗*: 低波数ラマン分光法による錠剤中共結晶多形の転移評価.

日本薬剤学会第34年会 (2019.5.18)

* 明治薬科大学

Okayama A^{*1}, Hisada H^{*1}, Titapiwatanakun V^{*2}, Koide T, Fukami T^{*1}: Usefulness of low-frequency

Raman spectroscopy for discriminating crystalline polymorphism of active pharmaceutical ingredients, the 10th International Conference on Advanced Vibrational Spectroscopy. (2019.7.11)

*¹ Meiji Pharmaceutical University

*² Chulalongkorn University

尾堤文音^{*1}, 小出達夫, 深水啓朗^{*2}, 山本佳久^{*1}: ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏とヘパリン類似物質油性クリームの混合物における混合比と安定性との関係.

第29回日本医療薬学会年会 (2019.11.2)

*¹ 帝京平成大学

*² 明治薬科大学

小出達夫, 坂本知昭, 伊豆津健一: 平成29年度地方衛生研究所及び登録検査機関における精度管理事業について, 第56回全国衛生科学技術協議会年会 (2019.12.6)

山本佳久^{*1}, 小出達夫, 深水啓朗^{*2}, 大城公祐^{*3}, 大貫義則^{*3}: ヘパリン類似物質油性クリーム製剤の製剤特性～レオロジー特性および水分子運動性～.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

*¹ 帝京平成大学

*² 明治薬科大学

*³ 富山大学

藤井ありあ*, 小出達夫, 深水啓朗*: 透過ラマン分光法を用いた製剤均一性評価における製剤中の主薬分布の影響.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

* 明治薬科大学

羽石一輝*, 藤井美佳*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: ラマン分光法を用いたリポソーム相転移挙動のモニタリング.

日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

* 明治薬科大学

福井可那子*, 鈴木陽太*, 羽石一輝*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: プローブ型低波数ラマン分光計を用いた造粒工程モニタリングの改良.

日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

* 明治薬科大学

原矢佑樹, 伊豆津健一, 加藤くみ子*: 探針形状に基づくカンチレバーの選別とAFMによるリポソームの剛性計測.

日本薬剤学会第34年会 (2019.5.16)

* 北里大学

原矢佑樹, 伊豆津健一, 加藤くみ子*: AFMを用いたリポソームの高精度な剛性計測.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

* 北里大学

Tamura Y^{*1}, Kotani M^{*1}, Ohgita T^{*1}, Takechi-Haraya Y, Nishitsuji K^{*2}, Uchimura K^{*3}, Hasegawa K^{*1}, Sakai-Kato K^{*4}, Akaji K^{*1}, Saito H^{*1}: A novel amphipathic cell-penetrating peptide based on the N-terminal glycosaminoglycan binding region of human apolipoprotein E.

56th Japanese Peptide Symposium (2019.10.23)

*¹ Kyoto Pharmaceutical University

*² Wakayama Medical University

*³ Centre national de la recherche scientifique

*⁴ Kitasato University

原矢佑樹, 伊豆津健一, 加藤くみ子*: AFMを用いたリポソーム剛性計測に与える測定基板および温度の影響.

日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

* 北里大学

松井早希^{*1}, 岡田圭祐^{*1}, 竹内美紗紀^{*1}, 扇田隆司^{*1}, 原矢佑樹, 西辻和親^{*2}, 内村健治^{*3}, 長谷川功紀^{*1}, 加藤くみ子^{*4}, 赤路健一^{*1}, 斎藤博幸^{*1}: ポリプロリンIIヘリックス構造によるアルギニンペプチドの細胞膜透過性の亢進.

日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

*¹ 京都薬科大学

*² 和歌山県立医科大学

*³ (仏) 国立科学研究センター

*⁴ 北里大学

Ishii-Watabe A, Saito Y: Updates on the development of ICH M10 Bioanalytical Method Validation.

13h Workshop on Recent Issues in Bioanalysis (2019.4.3)

石井明子: バイオ医薬品の連続生産に係る品質管理. AMED/PDA学会 原薬の連続生産に関する研究開発と規制動向に関するシンポジウム (2019.4.22)

新井浩司*, 星野雅輝*, 新田真一郎*, 若林弘樹*, 上田哲也*, 橋井則貴, 斎藤嘉朗, 石井明子: LC-MS/MSを用いた生体試料中高分子化合物の定量分析法開発の検討手順について.

第67回質量分析総合討論会 (2019.5.15)

* LSIメディエンス

柴田寛子, 木吉真人, 原園景, 石井明子: 規制科学からみるバイオ医薬品の現状と課題.

第19回日本蛋白質科学会年会・第71回日本細胞生物学会大会 合同年次大会 (2019.6.24)

青山道彦, 多田稔, 石井明子: FcγRIIIbを介したシグナル伝達機構の解析.

第19回蛋白質科学会年会・第71回日本細胞生物学会大会 合同年次大会 (2019.6.24)

柴田寛子, 石井明子: バイオ医薬品の免疫原性評価の現状と課題.

毒性学会シンポジウム (免疫毒性学会共催) (2019.6.27)

石井明子: バイオシミラーの品質・安全性・有効性確保に関する国内外のガイドラインの動向.

日本ジェネリック医薬品バイオシミラー学会 第13回学術集会 (2019.7.7)

橋井則貴, 鈴木淳也, 花松久寿*, 古川潤一*, 石井明子: Fc-融合糖タンパク質医薬品の意図しないO-結合型糖鎖修飾.

第38回日本糖質学会年会 (2019.8.20)

* 北海道大学大学院

岡田和恵*¹, 花松久寿*¹, 吉村弥生*^{2,3}, 黒河内政樹*⁴, 鈴木淳也, 千葉靖典*², 橋井則貴, 石井明子, 古川潤

一*¹: ピラズロン共存化β脱離反応によるO-結合型糖鎖結合部位の解析法.

第38回日本糖質学会 (2019.8.20)

*¹ 北大院・医

*² 産総研・創薬基盤

*³ バイオインダストリー協会

*⁴ (公財) 野口研

青山道彦, 橋井則貴, 月村亘*, 大隅賢二*, 原園景, 多田稔, 木吉真人, 松田昭生*, 石井明子: Fc結合糖鎖のMan α 1-6側鎖に結合する末端Galが抗体医薬品の生物活性に重要である.

第38回日本糖質学会年会 (2019.8.21)

* 野口研究所

橋井則貴: 液体クロマトグラフィー/質量分析法による抗体医薬品の薬物濃度測定.

第32回バイオメディカル分析科学シンポジウム (2019.8.23)

石井明子: バイオ医薬品の創薬に関わるレギュラトリーサイエンス.

生体機能と創薬シンポジウム (2019.8.29)

石井明子: バイオ医薬品開発における免疫原性予測・評価の重要性.

第2回JSSX-APDD合同ワークショップ「今後の医薬品開発推進への薬物動態学の貢献」(2019.9.3)

石井明子: バイオ後続品の品質・安全性・有効性確保のための指針改正について.

第9回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2019.9.6)

小林哲, 柴田寛子, 石井明子: GCSF製剤の個別症例安全性報告における各種有害事象の比例報告比に対する併用薬の影響.

第9回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2019.9.7)

柴田寛子, 木吉真人, 原園景, 石井明子: 注射剤の不溶性微粒子評価に用いられる光遮蔽法とフローイメージング法の分析性能の比較: 市販タンパク質医薬品注射剤の測定結果.

第9回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2019.9.7)

西村和子, 柴田寛子, 齊藤哲*¹, 箕浦恭子*², 青山宗

夫*², 森民樹*³, 若林弘樹*³, 細木淳*⁴, 中村隆広*⁵, 野村達希*⁵, 相馬雅子*⁶, 角辻賢太*⁷, 西宮一尋*⁸, 坂本典久*⁹, 新見新吾, 香取典子, 斎藤嘉朗, 石井明子: バイオ医薬品に対する抗薬物抗体分析における陽性判定基準設定に関する多機関共同研究.

第9回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2019.9.7)

*¹ アステラス製薬 (株)

*² エーザイ (株)

*³ (株) LSIメディエンス

*⁴ 協和発酵キリン (株)

*⁵ (株) 新日本科学

*⁶ 第一三共 (株)

*⁷ 大日本住友製薬 (株)

*⁸ 中外製薬 (株)

*⁹ 立川中央病院

石井明子: 医薬品製造の新潮流: 連続生産の実用化を牽引するレギュラトリーサイエンス.

第9回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2019.9.7)

Morimoto K: Study to Determine if Japanese New Biopharmaceuticals were Approved by FDA and EMA Authorities.

44th International Congress for the History of Pharmacy (2019.9.7)

日向昌司, 中道瑚子*, 上桶希*, 原園景, 橋井則貴, 石井明子: LC/MS を用いた宿主細胞由来タンパク質の同定・定量における試料調製方法の検討.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

* 明治薬科大学

小林哲, 柴田寛子, 石井明子: Infliximabによる「注入に伴う反応」と併用薬との関連性.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

木吉真人, 柴田寛子, 原園景, 鳥巢哲生*¹, 丸野孝浩*², 井浦貴文*³, 喜々津彩*⁴, 熊谷崇*⁵, 森直樹*⁶, 西村仁孝*⁷, 小田淳史*⁸, 齋藤俊太郎*⁹, 齋藤智*¹⁰, 末友裕行*³, 小川泰一郎*¹¹, 安川秀仁*¹², 内山進*¹³, 石井明子: Flow Imaging法の標準化に向けたタンパク質医薬品における凝集体評価に関する研究.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

*¹ 武田薬品工業 (株)

*² (株) ユーメディコ

*³ 協和発酵キリン (株)

*⁴ 日本化薬 (株)

*⁵ アステラス製薬 (株)

*⁶ 田辺三菱製薬 (株)

*⁷ 持田製薬 (株)

*⁸ 小野薬品工業 (株)

*⁹ 第一三共 (株)

*¹⁰ 中外製薬工業 (株)

*¹¹ (株) 東レリサーチセンター

*¹² JCRファーマ (株)

*¹³ 大阪大学

Shibata H, Ishii-Watabe A: Current situation of bioassay in Japanese pharmacopoeia and recent activities in Japanese biopharmaceutical consortium.

USP's 8th Bioassay Workshop -Bioassays in a Multi-Modality World (2019.9.18)

Ishii-Watabe A: Regulatory Considerations for Continuous Bioprocessing in Japan.

Biologics Manufacturing Japan 2019 (2019.9.19)

森本和滋, 日向昌司, 石井明子: 「バイオ医薬品の品質評価法開発研究の進歩」 -NIHS・生物薬品部30年史の視点から-

日本薬史学会2019年会 (2019.10.26)

石井明子: バイオシミラーの開発と品質・有効性・安全性確保.

立命館大学創薬科学研究センター製剤技術・創剤研究コンソーシアム合同研究会 (2019.11.5)

石井明子: バイオ医薬品の連続生産における品質管理戦略について.

第41回動物細胞工学会シンポジウム (2019.11.22)

柴田寛子, 西村和子, 宮間ちづる, 石井明子, 斎藤嘉朗, 川合眞一*¹, 山田壯一*², 南木敏宏*²: 関節リウマチ患者における抗薬物抗体の評価: エタネルセプトの事例.

第40回日本臨床薬理学会学術総会 (2019.12.4)

*¹ 東邦大学医学部 炎症・疼痛制御学講座

*2 東邦大学医学部 内科学講座膠原病学分野

石井明子, 岩田大祐*¹, 堀内大士*¹, 田中誠*², 片島正貴*³, 斎藤嘉朗: ICH M10: 生体試料中薬物濃度分析法バリデーションに関する国際調和ガイドライン案.
第40回日本臨床薬理学会学術総会 (2019.12.4)

*¹ 医薬品医療機器総合機構

*² あすか製薬 (株)

*³ アステラス製薬 (株)

西村和子, 柴田寛子, 斎藤嘉朗, 石井明子: バイオ医薬品に対する抗薬物抗体分析における陽性判定基準設定に影響する統計的要因の解析.
第40回日本臨床薬理学会学術総会 (2019.12.5)

石井明子: バイオシミラーの同等性/同質性評価に関する現状と課題.
第40回日本臨床薬理学会学術総会シンポジウム (2019.12.5)

石井明子: バイオ医薬品の安全性 ~抗薬物抗体を中心に~.
第40回日本臨床薬理学会学術総会シンポジウム (2019.12.6)

石井明子, 岩田大祐*¹, 堀内大士*¹, 田中誠治*², 片島正貴*³, 斎藤嘉朗: ICH M10生体試料中薬物濃度分析法に関する国際調和ガイドライン案.
日本薬物動態学会第34回年会 (2019.12.10)

*¹ PMDA

*² あすか製薬

*³ アステラス製薬

西村和子, 柴田寛子, 宮間ちづる, 石井明子, 斎藤嘉朗, 小川佳世乃*¹, 廣瀬恒*¹, 川合眞一*², 山田壯一*³, 南木敏宏*³: トシリズマブ投与関節リウマチ患者における抗薬物抗体の評価.
第11回JBFシンポジウム (2020.2.26)

*¹ ひろせクリニック

*² 東邦大学医学部 炎症・疼痛制御学講座

*³ 東邦大学医学部 内科学講座膠原病学分野

柴田寛子, 原園景, 木吉真人, 石井明子: フローイメーリング法によるシリコーン油滴とタンパク質凝集体/不

溶性微粒子の分類における測定条件の影響.
日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

木吉真人, 柴田寛子, 橋井則貴, 林明子*¹, 坂本健作*¹, 津本浩平*², 石井明子: 長期安定性子測を指向したPEG化, 薬物修飾Trastuzumab Fabの安定性評価.
第140回 日本薬学会年会 (2020.3.26)

*¹ 理化学研究所

*² 東京大学大学院工学系研究科

多田稔, 青山道彦, 石井明子: 抗体医薬品凝集体によるFcγ受容体活性化.
日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

鈴木琢雄, 多田稔, 石井明子: インフリキシマブとアダリムマブに対する抗薬物抗体パネルの作製.
日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

橋井則貴, 坂本健作*, 林明子*, 東阪嘉子, 鈴木琢雄, 岩崎紀之, 石井明子: 非天然型アミノ酸導入Fab抗体の構造特性評価.
日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

* 理化学研究所

津村ゆかり*, 小林哲: 大麻をオキシコドンと併用することによる自殺関連有害事象増加の可能性.
日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

* 関東麻取

青山道彦, 多田稔, 石井明子: FcγRIIIa多型が抗体医薬品の生物活性評価系の性能に与える影響.
日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

原園景, 塩入優紀*¹, 齋藤俊太郎*¹, 尾島琢磨*², 小島弘貴*², 中山拓也*², 和田龍太*³, 中家修一*⁴, 曾我部有司*⁴, 阪口碧*⁵, 船岡創平*⁵, 水野保子*⁶, 太田里子*⁶, 坂本泉*⁷, 上松亮平*⁷, 石井明子: 多機関共同研究によるバイオ医薬品のN-結型糖鎖の標準的試験法の確立.
日本薬学会 (2020.3.28)

*¹ 第一三共 (株)

*² 小野薬品工業 (株)

*³ アステラス製薬 (株)

*⁴ (株) 島津製作所

*⁵ 住友ベークライト (株)

*⁶ (株) 東レリサーチセンター

*⁷ (株) アクロスケール

小林哲, 柴田寛子, 石井明子: バイオシミラーの先行バイオ医薬品との切り替え試験による有効性・安全性評価に関する国際動向.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

日向昌司, 多田稔, 石井明子: ELISAを用いた宿主細胞由来タンパク質 (HCP) 試験法の確立における留意点.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

田尻道子, 橋井則貴, 石井明子: 抗体医薬品を対象としたMulti-Attribute Methodのための前処理手法の最適化.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

東阪嘉子, 橋井則貴, 斎藤嘉朗, 石井明子: PAC-LC/MSを利用した抗体医薬品の複数サロゲートペプチドの同時定量.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

Tanaka R, Kawamura M, Hakamatsuka T, Kikura-Hanajiri R: Identification of five tryptamine derivatives in illegal products in Japan.

6th Annual Conference on Novel Psychoactive Substances (2019.4.8)

内山奈穂子, 細江潤子, 杉本直樹, 小出達夫, 合田幸広, 村林美香^{*1}, 小野誠^{*2}, 小林謙吾^{*2}, 藤峰慶徳^{*3}, 横瀬俊幸^{*3}, 大藤克也^{*4}, 清水仁^{*4}, 長谷部隆^{*5}, 浅井由美^{*5}, 江奈英里^{*5}, 菊池純子^{*6}, 清田浩平^{*6}, 藤田和弘^{*6}, 牧野吉伸^{*7}, 八十歩直子^{*8}, 大原拓郎^{*8}, 山田裕子^{*9}, 鈴木裕樹^{*9}, 三浦亨^{*9}, 水井浩司^{*9}, 朝倉克夫^{*10}, 末松孝子^{*11}, 小浜亜以^{*12}: 定量NMR (qNMR) を用いた日本薬局方外標準品インドシアニングリーンの絶対純度及び残留溶媒エタノールの測定.

日本薬剤学会 第34年会 (2019.5.18)

*¹ 武田薬品工業 (株)

*² 第一三共 (株)

*³ 大塚製薬 (株)

*⁴ 中外製薬 (株)

*⁵ エーザイ (株)

*⁶ 塩野義製薬 (株)

*⁷ 十全化学 (株)

*⁸ 富士フイルム (株)

*⁹ 富士フイルム和光純薬 (株)

*¹⁰ 日本電子 (株)

*¹¹ (株) JEOL RESONANCE

*¹² RS財団

Morita I^{*}, Oyama H^{*}, Tanaka R, Kikura-Hanajiri R, Kobayashi N^{*}: Generation of monoclonal antibodies for on-site analysis of psilocin and psilocybin in hallucinogenic mushrooms.

23rd IFCC-EFLM European Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine 2019 (2019.5.19)

* Kobe Pharmaceutical University

Goda T^{*}, Masuda J^{*}, Kobayashi M^{*}, Kawamura M, Kikura-Hanajiri R: Analysis of drugs and their metabolites in human hair by online SFE-SFC-MS/MS. 67th ASMS (American Society for Mass Spectrometry) Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics (2019.6.2)

* Shimadzu, Co.

内山奈穂子, 政田さやか, 辻巖一郎, 新井玲子, 出水庸介, 袴塚高志, 堤智昭, 穂山浩, 阿部康弘, 伊豆津健一, 合田幸広, 奥田晴宏: HPLCによる高血圧治療薬バルサルタン中*N*-nitrosodimethylamine (NDMA) の迅速定量法.

第86回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会, 第110回計測自動制御学会力学量計測部会 第36回合同シンポジウム (2019.6.13)

黄雪丹^{*1,2}, 日向須美子^{*2}, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩^{*3}, 天倉吉章^{*4}, 袴塚高志, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1,2}: 麻黄に含まれるエフェドリンアルカロイドの心拍に対する作用の解析.

第70回日本東洋医学会学術総会 (2019.6.30)

*¹ 北里大学薬学部

*² 北里大学東洋医学総合研究所

*³ (株) 常磐植物化学研究所

*⁴ 東京理科大学薬学部

*⁵ 松山大学薬学部

緒方潤, 水谷佐久美, 河村麻衣子, 古謝あゆ子^{*}, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: ジメチルトリプタミン含有植物細片のDNA分析とDMTの定量.

日本法中毒学会第38年会 (2019.7.26)

* 沖縄県衛生環境研究所

水谷佐久美, 河村麻衣子, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: LC-QTOF-MS及びGC-QTOF-MSを用いたCyclopropylfentanylと異性体の識別法の検討.

日本法中毒学会第38年会 (2019.7.26)

李任時^{*1}, Garcia JCP^{*1}, 福森良^{*2}, 渡邊和人^{*3}, 有竹浩介^{*3}, 山口拓^{*2}, 花尻 (木倉) 瑠理, 田中嘉孝^{*1}, 山本経之^{*2}, 石井祐次^{*1}: 合成カンナビノイドJWH-018とMDMB-CHMICAによる内因性カンナビノイドレベルの増加.

日本法中毒学会第38年会 (2019.7.26)

*1 九州大学大学院薬学研究院

*2 長崎国際大薬学部

*3 第一薬科大学

河村麻衣子, 辻巖一郎, 三澤隆史, 出水庸介, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: イオンモビリティ質量分析計を用いた生体試料中フェンタニル類スクリーニング分析法の検討.

日本法中毒学会第38年会 (2019.7.27)

田中理恵, 水谷佐久美, 河村麻衣子, 淵野裕之^{*}, 川原信夫^{*}, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: LC-Q-TOF-MSを用いた大麻草 (*Cannabis sativa* L.) のカンナビノイドの分析 - 第3報 -.

日本法中毒学会第38年会 (2019.7.27)

* (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

森田いずみ^{*1}, 大山浩之^{*1}, 木口裕貴^{*1}, 田中理恵, 花尻 (木倉) 瑠理, 上田宏^{*2}, 小林典裕^{*1}: 試験管内親和性成熟を目的とする抗シロシビン一本鎖Fvフラグメントの作製.

日本法中毒学会第38年会 (2019.7.27)

*1 神戸薬科大学

*2 東工大・化生研

宮嶋直紀^{*1,2}, 中森俊輔^{*1,2}, 日向須美子^{*2}, 南可恵^{*1,2}, 楊金緯^{*3}, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩^{*4}, 天倉吉章^{*5}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2},

小林義典^{*1,2}: エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) によるCFA誘発関節炎モデルマウスの腫脹縮小効果及び鎮痛効果.

北里バイオサイエンスフォーラム2019 (2019.8.8)

*1 北里大学薬学部

*2 北里大学東洋医学総合研究所

*3 (株) 常磐植物化学研究所

*4 東京理科大学薬学部

*5 松山大学薬学部

王子泰^{*1}, 奥津果優^{*2}, 二神泰基^{*2}, 吉崎由美子^{*2}, 玉置尚徳^{*2}, 丸山卓郎, 小松かつ子^{*3}, 高峯和則^{*1}: 発酵時の微生物の違いが「神麴」の品質に与える影響.

第36回和漢医薬学会学術大会 (2019.8.31)

*1 鹿児島大学大学院農学研究科

*2 鹿児島大学・焼酎・発酵学教育研究センター

*3 富山大学・和漢医薬学総合研究所

花澤志帆^{*1}, 當銘一文^{*1}, 奥津果優^{*2}, 丸山卓郎, 白鳥誠^{*3}, 近藤誠三^{*4}, 山本豊^{*5}, 横倉胤夫^{*6}, 河野徳昭^{*7}, 小松かつ子^{*1}: 神麴の標準化を目指したLC/MS分析法の開発.

第36回和漢医薬学会学術大会 (2019.8.31)

*1 富山大学和漢医薬学総合研究所

*2 鹿児島大農学部

*3 (株) ウチダ和漢薬

*4 小太郎漢方製薬 (株)

*5 (株) 栃本天海堂

*6 日本粉末薬品 (株)

*7 (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

加藤明日香^{*1}, 日坂真輔^{*1}, 政田さやか, 袴塚高志, 本間真人^{*2}, 能勢充彦^{*1}: 漢方処方科学的解析 (第26報) 加齢マウスへのグリチルリチン投与時の血中グリチルリチン酸濃度について.

第36回和漢医薬学会学術大会 (2019.8.31)

*1 名城大学薬学部

*2 筑波大学附属病院

Uchiyama N, Tsujimoto T^{*1}, Arai R, Yoshitomi T, Maruyama T, Yamamoto Y^{*2}, Ozeki Y^{*1}, Hakamatsuka T: Metabolomics approach for discrimination of water

extracts of Citrus-type crude drugs using NMR and HR-LC-MS.

The 67th Annual Meeting of the Society for Medicinal Plant and Natural Product Research (2019.9.1)

*¹ Tokyo University of Agriculture and Technology

*² Tochimoto Tenkaido Co., Ltd.

Nakamori S^{*1,2}, Miyajima N^{*1,2}, Hyuga S^{*2}, Minami Y^{*1,2}, Kazama H^{*1,2}, Hiyama M^{*1,2}, Endo M^{*2}, Yang J^{*3}, Oshima N^{*4}, Uchiyama N, Amakura Y^{*5}, Hakamatsuka T, Goda Y, Odaguchi H^{*2}, Hanawa T^{*2}, Kobayashi Y^{*1,2}: Therapeutic and analgesic effects of ephedrine alkaloids-free Ephedra Herb extract on complete Freud's adjuvant-induced arthritis model mouse.

The 67th Annual Meeting of the Society for Medicinal Plant and Natural Product Research (2019.9.2)

*¹ School of Pharmacy, Kitasato University, Department of Pharmacognosy

*² Oriental Medicine Research Center of Kitasato University

*³ Tokiwa Phytochemical Co., Ltd.

*⁴ Tokyo University of Science, Faculty of Pharmaceutical Sciences.

*⁵ Matsuyama University, Department of Pharmacognosy, College of Pharmaceutical Sciences.

Uchiyama N, Tsujimoto T^{*1}, Arai R, Yoshitomi T, Maruyama T, Yamamoto Y^{*2}, Hakamatsuka T, Ozeki Y: Metabolomics approach for discrimination of water extracts of Citrus-type crude drugs using NMR and HR-LC-MS.

The 67th Annual Meeting of the Society for Medicinal Plant and Natural Product Research (2019.9.3)

*¹ Tokyo University of Agriculture and Technology

*² Tochimoto Tenkaido Co., Ltd.

Uchiyama N, Masumoto N, Hosoe J, Sugimoto N, Maruyama T^{*1}, Igarashi Y^{*1}, Suematsu T^{*2}, Komatsu T^{*2}, Yamada Y^{*3}, Takaoka S^{*3}, Miura T^{*3}, Mizui K^{*3}, Higano T^{*4}, Shimada N^{*5}, Goda Y: Determination of perillaldehyde in perilla herbs based on relative molar sensitivity (RMS) using a combination of 1H-quantitative NMR and HPLC/UV.

The 67th Annual Meeting of the Society for Medicinal

Plant and Natural Product Research (2019.9.3)

*¹ Tsumura & Co.

*² JEOL RESONANCE Inc.

*³ FUJIFILM Wako Pure Chemical Corporation

*⁴ Taisho Pharmaceutical Co., Ltd.

*⁵ Tokiwa Phytochemical Co., Ltd.

Tanaka R, Kawamura M, Tokumoto H, Hakamatsuka T, Kikura-Hanajiri R: Study on distribution of cannabinoids in cannabis plants by desorption electrospray ionization mass spectrometry imaging (II). The 57th Annual Meeting of TIAFT (The International Association of Forensic Toxicologists) (2019.9.2)

Kikura-Hanajiri R, Kawamura M, Hakamatsuka T: Sensitive and selective screening of 146 fentanyl-related substances in biological samples using LC-Q-TOF-MS coupled with ion mobility separation.

The 57th Annual Meeting of TIAFT (The International Association of Forensic Toxicologists) (2019.9.2)

森田いずみ*, 大山浩之*, 田中理恵, 花尻(木倉)瑠理, 小林典裕*: 幻覚性キノコ成分のオンサイト分析を目的とするシロンリル化体に対する新規モノクローナル抗体の作製.

日本分析化学会 (2019.9.12)

* 神戸薬科大学

後藤祐斗, 吉富太一, 辻本恭, 若菜大悟^{*1}, 白畑辰弥^{*2}, 袴塚高志, 小林義典^{*2}, 丸山卓郎: 基原種鑑別及び NMRメタボロームによるシヨウマの品質多様性評価について.

第5回次世代の若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

*¹ 星薬科大学

*² 北里大学薬学部

吉富太一, 山路誠一*, 徳本廣子, 袴塚高志, 丸山卓郎: 健康食品として販売されるコウトウスギ製品の基原植物, 使用部位, paclitaxel含量について.

第5回次世代の若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

* 日本薬科大学

内山奈穂子, 細江潤子, 杉本直樹, 五十嵐靖^{*1}, 丸山剛史^{*1}, 三浦亨^{*2}, 鈴木裕樹^{*2}, 山田裕子^{*2}, 末松孝子^{*3}, 小松功典^{*3}, 日向野太郎^{*4}, 嶋田典基^{*5}, 合田幸広: 日本薬局方・定量用試薬の規格化を目的とした定量NMRを用いたエボジアミン及びマンギフェリンの絶対純度の測定.

日本生薬学会第66回年会 (2019.9.22)

^{*1} (株) ツムラ

^{*2} 富士フィルム和光純薬 (株)

^{*3} (株) JEOL RESONANCE

^{*4} 大正製薬 (株)

^{*5} (株) 常磐植物化学研究所

辻本恭^{*1}, 西原正和^{*2}, 大住優子^{*2}, 小関良宏^{*1}, 袴塚高志, 合田幸広, 内山奈穂子: 生薬オンジの成分であるPolygalaxanthone IIIの分析用標品の構造解析.

日本生薬学会第66回年会 (2019.9.22)

^{*1} 東京農工大学工学部

^{*2} 奈良県薬事研セ

鈴木七海^{*1}, 恒松雄太^{*1}, 平山裕一郎^{*1}, 尾形勇二^{*1}, 佐藤道大^{*1}, 辻本恭^{*2}, 内山奈穂子, 袴塚高志, 合田幸広, 渡辺賢二^{*1}: 大腸がんリスク因子物質コリバクチン関連化合物の構造決定.

日本生薬学会第66回年会 (2019.9.22)

^{*1} 静岡県大薬

^{*2} 東京農工大学工学部

平澤祐介^{*}, 安田玲奈^{*}, 南若余^{*}, 平田桃子^{*}, Alfarius Eko Nugroho^{*}, 内山奈穂子, 袴塚高志, 森田 博史^{*}: サンユウカより単離した新規3量体インドールアルカロイドの構造研究.

日本生薬学会第66回年会 (2019.9.22)

^{*} 星薬科大学

南可恵^{*1,2}, 中森俊輔^{*1,2}, 日向須美子^{*2}, 遠藤真理^{*2}, 宮嶋直紀^{*1,2}, 檜山美春^{*1,2}, 風間裕香^{*1,2}, 竹内純^{*1,2}, 楊金緯^{*3}, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩^{*4}, 天倉吉章^{*5}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1,2}: 関節炎モデルマウスの軟骨組織損傷に対するエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスの効果.

日本生薬学会第66回年会 (2019.9.23)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} (株) 常磐植物化学研究所

^{*4} 東京理科大学薬学部

^{*5} 松山大学薬学部

政田さやか: 生薬のDNA鑑別におけるさく葉標本の利用.

日本生薬学会第66回年会 (2019.9.23)

Mitsuoka T^{*1,2}, Hanamura K^{*1}, Koganezawa N^{*1}, Kikura-Hanajiri R, Shirao T^{*1}, Sekino Y^{*2}: Establishment of a high-throughput drebrin immunocytochemical assay for NMDA receptor inhibition of new psychoactive substances. 6th Congress of AsCNP (Asian College of Neuropsychopharmacology) (2019.10.11)

^{*1} Gunma University Graduate School of Medicine

^{*2} Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo

吉富太一, 大嶋直浩, 後藤佑斗, 丸山卓郎: ショウキョウ及びカンキョウのTRPV1賦活活性予測モデル式の構築と構造活性相関について.

第20回加賀能登薬草シンポジウム (2019.10.12)

平野圭一郎^{*}, 木口裕貴^{*}, 大山浩之^{*}, 森田いずみ^{*}, 田中理恵, 花尻(木倉)瑠理, 小林典裕^{*}: 幻覚性キノコの高感度で簡易な鑑定を目指す抗シロシビン抗体の試験管内親和性成熟.

第69回日本薬学会関西支部総会・大会 (2019.10.12)

^{*} 神戸薬科大学

辻本恭^{*}, 吉富太一, 丸山卓郎, 山本豊, 袴塚高志, 小関良宏^{*}, 合田幸広, 内山奈穂子: ミカン属植物由来生薬の¹H-, ¹³C-NMRおよびLC-MSメタボロミクス. 第8回食品薬学シンポジウム (2019.10.18)

^{*} 東京農工大学工学部

水野沙稀^{*}, 藤原裕未^{*}, 内山奈穂子, 袴塚高志, 永津明人^{*}, 政田さやか: 機能性表示食品の品質評価に関する研究(5) イチョウ葉エキスに由来する機能性表示食品の崩壊性と溶出性について.

第8回食品薬学シンポジウム (2019.10.18)

* 金城学院大学薬学部

政田さやか：オウレンの変種鑑別における標本DNA情報の有用性の検討。

薬用植物栽培研究会第2回研究総会（2019.11.23）

政田さやか，辻巖一郎，新井玲子，内山奈穂子，出水庸介，袴塚高志，堤智昭，穂山浩，阿部康弘，伊豆津健一，合田幸広，奥田晴宏：医薬品に混入する懸念のあるN-nitrosodimethylamine (NDMA) の迅速分析法の開発。第56回全国衛生化学技術協議会年会（2019.12.6）

河村麻衣子，水谷佐久美，緒方潤，古謝あゆ子，袴塚高志，花尻（木倉）瑠理：植物由来危険ドラッグ製品中のトリプタミン類定量分析。

第56回全国衛生化学技術協議会（2019.12.6）

最所和宏，花尻（木倉）瑠理，袴塚高志：平成30年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について－強壮用健康食品等－。

第56回全国衛生化学技術協議会年会（2019.12.6）

田中理恵，河村麻衣子，袴塚高志，花尻（木倉）瑠理：平成29年－令和元年の新規流通危険ドラッグ成分の同定。

第56回全国衛生化学技術協議会年会（2019.12.6）

水谷佐久美，河村麻衣子，袴塚高志，花尻（木倉）瑠理：肥満症治療薬セチリスタットの検出事例について。

第56回全国衛生化学技術協議会（2019.12.6）

内山奈穂子，細江潤子，石附京子，杉本直樹，小出達夫，村林美香^{*1}，小野誠^{*2}，小林謙吾^{*2}，藤峰慶徳^{*3}，横瀬俊幸^{*3}，大藤克也^{*4}，清水仁^{*4}，長谷部隆^{*5}，浅井由美^{*5}，江奈英里^{*5}，菊池純子^{*6}，清田浩平^{*6}，藤田和弘^{*6}，牧野吉伸^{*7}，八十歩直子^{*8}，大原拓郎^{*8}，山田裕子^{*9}，鈴木裕樹^{*9}，三浦亨^{*9}，水井浩司^{*9}，朝倉克夫^{*10}，末松孝子^{*11}，小浜亜以^{*12}，合田幸広：日本薬局方外標準品インドシアニングリーンの恒温恒湿下における定量NMR (qNMR) を用いた絶対純度。

第1回日本定量NMR研究会年会（2019.12.13）

^{*1} 武田薬品工業（株）

^{*2} 第一三共（株）

^{*3} 大塚製薬（株）

^{*4} 中外製薬（株）

^{*5} エーザイ（株）

^{*6} 塩野義製薬（株）

^{*7} 十全化学（株）

^{*8} 富士フイルム（株）

^{*9} 富士フイルム和光純薬（株）

^{*10} 日本電子（株）

^{*11}（株）JEOL RESONANCE

^{*12} RS財団

橋本恭平^{*}，大嶋直浩^{*}，木村直樹^{*}，佐久間健太^{*}，袴塚高志，羽田紀康^{*}：蒼朮配合漢方処方方を構成する生薬間の相互作用の解明。

日本薬学会第140年会（2020.3.26）

* 東京理大院薬

植木伽奈^{*}，大嶋直浩^{*}，袴塚高志，羽田紀康^{*}：生薬の配合による当帰由来リグスチリドの抽出量変化。

日本薬学会第140年会（2020.3.26）

* 東京理大院薬

太田理恵^{*}，猿渡隆佳^{*}，袴塚高志，飯塚富郎^{*}，余村かおり^{*}，高尾正樹^{*}，濱口隆^{*}，諸田隆^{*}，松本和弘^{*}，合田幸広：医療用漢方製剤の生物学的同等試験における溶出挙動の評価1）－溶出試験の操作法の課題と対応提案－。

日本薬学会第140年会（2020.3.26）

* 株式会社ツムラ

猿渡隆佳^{*}，太田理恵^{*}，袴塚高志，飯塚富郎^{*}，余村かおり^{*}，高尾正樹^{*}，濱口隆^{*}，諸田隆^{*}，松本和弘^{*}，合田幸広：医療用漢方製剤の生物学的同等試験における溶出挙動の評価2）－分析法の課題と対応提案－。

日本薬学会第140年会（2020.3.26）

* 株式会社ツムラ

鎌倉浩之，細江潤子，袴塚高志，合田幸広：漢方エキス中の水銀，ヒ素，鉛及びカドミウムについて（第6報）。

日本薬学会第140年会（2020.3.26）

Batsukh Zolboo^{*1}，當銘一文^{*1}，Javzan Batkhuu^{*2}，数馬恒平^{*1}，蔡少青^{*3}，林茂樹^{*4}，渥美聡孝^{*5}，吉富太一，丸山卓郎，内山奈穂子，川原信夫^{*4}，小松かつ子^{*1}：モンゴル産防風のクロモン類の含量と地域的特徴。

日本薬学会第140年会（2020.3.26）

*¹ 富山大学和漢医薬学総合研究所

*² モンゴル大学

*³ 北京大学薬学部

*⁴ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*⁵ 九州保健福祉大学薬学部

河野徳昭*¹, 瀧野裕之*¹, 吉富太一, 白鳥誠*², 吉田雅昭*³, 近藤誠三*³, 曾根美佳子*⁴, 松浦匡*⁴, 山本豊*⁵, 横倉胤夫*⁶, 小山忠一*⁷, 田辺章二*⁷, 袴塚高志, 小松かつ子*⁸, 川原信夫*¹, 丸山卓郎: 国内外より収集された*Nuphar*属植物の多様性解析.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

*¹ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*² (株) ウチダ和漢薬

*³ 小太郎漢方製薬 (株)

*⁴ (株) ツムラ

*⁵ (株) 栃本天海堂

*⁶ 日本粉末薬品 (株)

*⁷ 養命酒製造 (株)

*⁸ 富山大学和漢医薬学総合研究所

吉富太一, 河野徳昭*¹, 瀧野裕之*¹, 曾根美佳子*², 松浦匡*², 横倉胤夫*³, 吉田雅昭*⁴, 近藤誠三*⁴, 山本豊*⁵, 小山忠一*⁶, 田辺章二*⁶, 袴塚高志, 小松かつ子*⁷, 川原信夫*¹, 丸山卓郎: TLCを用いたセンコツの確認試験及び純度試験の設定とその指標成分の同定.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

*¹ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*² (株) ツムラ

*³ 日本粉末薬品 (株)

*⁴ 小太郎漢方製薬 (株)

*⁵ (株) 栃本天海堂

*⁶ 養命酒製造 (株)

*⁷ 富山大学和漢医薬学総合研究所

吉富太一, 山路誠一*¹, 徳本廣子, 袴塚高志, 丸山卓郎: イチイ *Taxus cuspidata* の部位別パクリタキセル含量と健康食品として販売されるコウトウスギ製品中の含量比較について.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

* 日本薬科大学

内山奈穂子, 細江潤子, 杉本直樹, 石附京子, 丸山剛史*¹, 五十嵐靖*¹, 三浦亨*², 山田裕子*², 水井浩司*², 高岡真也*², 末松孝子*³, 小松功典*³, 日向野太郎*⁴, 嶋田典基*⁵, 合田幸広: 日本薬局方・定量用試薬の規格化を目的とした定量NMRを用いた吸湿性化合物の絶対純度の測定.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

*¹ (株) ツムラ

*² 富士フィルム和光純薬 (株)

*³ (株) JEOL RESONANCE

*⁴ 大正製薬 (株)

*⁵ (株) 常磐植物化学研究所

徳本廣子, 辻本恭*¹, 新井玲子*², 白鳥誠*², 山本豊*³, 山田修嗣*⁴, 岡本拓也*⁵, 丸山卓郎, 内山奈穂子, 袴塚高志: 鹿茸の鑑別法の検討 (2) 鏡検による鹿茸とトナカイ幼角の鑑別.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

*¹ 東京農工大学工学部

*² (株) ウチダ和漢薬

*³ (株) 栃本天海堂

*⁴ アルプス薬品工業 (株)

*⁵ イスクラ産業 (株)

辻本恭*¹, 徳本廣子, 細江潤子, 丸山卓郎, 川原信夫*², 林茂樹*², 安食菜穂子*², 小関良宏*¹, 袴塚高志, 内山奈穂子: センナ茎およびハネセンナ含有健康食品におけるSennosideの定量分析.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

*¹ 東京農工大学工学部

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

南可恵*^{1,2}, 日向須美子*², 竹内純*^{1,2}, 中森俊輔*^{1,2}, 宮嶋直紀*^{1,2}, 楊金緯*³, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩*⁴, 天倉吉章*⁵, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩*², 花輪壽彦*², 小林義典*^{1,2}: 麻黄エキス, エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス, エフェドリンアルカロイドのシクロオキシゲナーゼ2阻害作用.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

*¹ 北里大学薬学部

*² 北里大学東洋医学総合研究所

*³ (株) 常磐植物化学研究所

*⁴ 東京理科大学薬学部

*⁵ 松山大学薬学部

河村麻衣子, 前橋恭子, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理 :
LC-IMS-Q-TOFMSを用いた頭髪試料中危険ドラッグの
スクリーニング分析.
日本薬学会第140年会 (2019.3.27)

田中理恵, 河村麻衣子, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理 :
危険ドラッグ製品中のLSD誘導体の同定 (2).
日本薬学会第140回年会 (2020.3.27)

谷垣柊乃介*¹, 尾野颯哉*¹, 渡部浩平*¹, 黄雪丹*^{1,2},
日向須美子*², 竹元裕明*^{2,3}, 山下忠俊*⁴, 楊金緯*⁴,
内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩*⁵, 天倉吉章*⁶, 袴塚
高志, 合田幸広, 小田口浩*², 花輪壽彦*², 小林義典*^{1,2}:
麻黄に含まれるエフェドリンアルカロイドの強制水泳試
験及び睡眠試験に対する作用の解析.
日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

*¹ 北里大学薬学部

*² 北里大学東洋医学総合研究所

*³ 東邦大学薬学部

*⁴ (株) 常磐植物化学研究所

*⁵ 東京理科大学薬学部

*⁶ 松山大学薬学部

Sato Y: The regulatory landscape around cell therapy
and regenerative medicine in Japan.
International Society Cell & Gene Therapy (ISCT)
2019 (2019.5.29)

Hirai T*¹, Kono K, Sawada R, Kuroda T, Yasuda S,
Matsuyama S, Matsuyama A*², Koizumi N*¹, Utoguchi
U*¹, Mizuguchi H*³, Sato Y: Application of selective
cytotoxic viral vectors for sensitive detection of
pluripotent stem cells in neural progenitor cells.
International Society for Stem Cell Research 2019
(2019.6.26)

*¹ Showa Pharmaceutical University

*² Fujita Health University

*³ Osaka University

Sawada R, Kono K, Tanaka K, Sato Y, Kidoaki S*:

Development of an evaluation system that can predict
osteogenic potential of human mesenchymal stem cells
easily and promptly.

International Society for Stem Cell Research 2019
(2019.6.28)

* Institute for Materials Chemistry and Engineering,
Kyushu University

Kuroda T, Yasuda S, Tachi S*¹, Matsuyama S*²,
Kusakawa S, Tano K, Miura T, Matsuyama A*², Sato Y:
SALL3 expression balance underlies lineage biases in
human iPS cell differentiation.
International Society for Stem Cell Research 2019
(2019.6.28)

*¹ Nagoya City University

*² Fujita Health University

Ohashi F*^{1,2}, Miyagawa S*¹, Yasuda S, Miura T,
Kuroda T, Itoh M*³, Kawaji H*³, Ito E*¹, Yoshida S*¹,
Saito A*¹, Sameshima T*², Kawai J*³, Sawa Y*¹, Sato Y:
Searching for a predictive biomarker to select human
induced pluripotent stem cells with high cardiac
differentiation potential.
International Society for Stem Cell Research 2019
(2019.6.28)

*¹ Osaka University

*² Terumo Corporation

*³ RIKEN Center

木戸秋悟*, 江端宏之*, 森山幸祐*, 久保木タツサニー
ヤー*, 澤田留美, 辻ゆきえ*, 佐々木沙織*, 山本安希*,
河野健, 田中和沙: 非一様弾性場・非定住培養による間
葉系幹細胞のAPC発現制御.
第19回日本蛋白質科学会年会第71回日本細胞生物学会大
会合同年次大会 (2019.6.26)

* 九州大学先端物質化学研究所

佐藤陽治: ヒト細胞加工製品の品質・安全性確保のため
のミニマム・コンセンサス・パッケージ.
第25回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2019.7.22)

河合純*, 佐藤陽治: Tonomachi再生・細胞医療品質評
価基盤: 日本発のグローバル品質評価基盤の確立

JASIS 2019 (2019.9.5)

* 理化学研究所

平井孝昌^{*1}, 河野健, 澤田留美, 黒田拓也, 安田智, 松山さと子, 松山晃文^{*2}, 小泉直也^{*1}, 宇都口直樹^{*1}, 水口裕之^{*3}, 佐藤陽治: 細胞加工製品に混入するiPS細胞の濃縮を目的とした選択的細胞傷害性ウイルスベクターの有用性評価.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

^{*1} 昭和薬科大学

^{*2} 藤田医科大学

^{*3} 大阪大学大学院薬学研究科

黒田拓也, 安田智, 城しおり^{*1}, 松山さと子, 草川森士, 田埜慶子, 三浦巧, 松山晃文^{*2}, 佐藤陽治: ヒトiPS細胞分化傾向予測マーカーSALL3の機能解析.

日本再生医療学会第1回秋季シンポジウム (2019.10.18)

^{*1} 名古屋市立大学

^{*2} 藤田医科大学

Surmacz-Cordle B^{*1}, van den Hoorn T^{*2}, van der Laan JW^{*2}, de Wolf C^{*2}, Shingleton W^{*3}, Bando H^{*4}, Sato Y, Pereira Mouries L^{*5}: Safety of Cell Therapy Products: *In vitro* Methods to Assess the Tumorigenicity of Human Cell-Based Therapeutic Products - International Multi-Site study.

RESTORE 1st Advanced Therapies Science Meeting (2019.11.25)

^{*1} UK Cell and Gene Therapy Catapult

^{*2} Medicines Evaluation Board, Netherlands

^{*3} GE Healthcare

^{*4} FUJIFILM Corporation

^{*5} Health and Environmental Sciences Institute

安田智: ヒトiPS細胞株の造腫瘍性に関する特性解析.
第36回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2020.2.13)

佐々木澄美, 吉田徳幸, 内藤幹彦, 小比賀聡^{*}, 井上貴雄: アンチセンス医薬品の細胞内取り込みに関与する分子の探索

日本薬剤学会第34年会 (2019.5.18)

* 大阪大学大学院薬学研究科

内田恵理子, 内藤雄樹^{*}, 小野竜一, 井上貴雄: ゲノム編集技術を利用した遺伝子改変細胞の安全性評価.

日本ゲノム編集学会第4回大会 (2019.6.5)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

山口卓男^{*1}, 堀場昌彦^{*1}, 羽瀨貴紀^{*1}, 笠原勇矢^{*2}, 吉田徳幸, 井上貴雄, 小比賀聡^{*1}: シクロプロピレン架橋またはチオアミド架橋を有する人工核酸の開発

日本ケミカルバイオロジー学会第14回年会 (2019.6.12)

^{*1} 大阪大学大学院薬学研究科

^{*2} 医薬基盤健康栄養研究所

大岡伸通, 内藤幹彦: 新しいユビキチンリガーゼをリクルートして標的蛋白質を分解するキメラ化合物の開発と抗がん剤としての可能性.

第24回日本がん分子標的治療学会学術集会 (2019.6.19)

柴田識人, 大岡伸通, 内藤幹彦: 発がん因子BCR-ABLの分解を誘導する2つのアプローチ.

第19回日本タンパク質科学学会年会, 第71回日本細胞生物学会大会合同年次大会 (2019.6.25)

井上貴雄: 核酸医薬開発における留意点 - 毒性の予測と回避 -

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.26)

山口照英^{*}, 内田恵理子: ゲノム編集を用いた遺伝子治療製品の開発状況や安全性評価の在り方について.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

* 日本薬科大学, 金沢工業大学加齢医工学先端技術研究所

井上貴雄: オフターゲット効果の評価に関する考察
第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

堀内祥行^{*1}, 山本誠司^{*1}, 吉田徳幸, 内藤幹彦, 小比賀聡^{*2}, 井上貴雄: アンチセンス医薬による自然免疫活性化の種差に関する研究

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

^{*1} 扶桑薬品工業株式会社

^{*2} 大阪大学大学院薬学研究科

鈴木孝昌：次世代型の体外診断薬のレギュラトリーサイエンス
 バイオプロセス講演・見学会「急速に進展する体外診断薬，その最前線」(2019.6.27)

井上貴雄：核酸医薬の現状と展望
 日本薬学会東北支部学術講演会 (2019.6.29)

井上貴雄：核酸医薬開発の現状と今後の展望
 第35回日本DDS学会学術集会 (2019.7.4)

佐々木澄美，吉田徳幸，内藤幹彦，小比賀聡*，井上貴雄：アンチセンス核酸の細胞内取り込み機構の分子基盤解明，第35回日本DDS学会学術集会 (2019.7.4)

*大阪大学大学院薬学研究科

吉田徳幸：アンチセンス医薬のオフターゲット効果の評価法
 日本核酸医薬学会若手シンポジウム (2019.7.9)

山本誠司*¹，堀内祥行*¹，吉田徳幸，内藤幹彦，小比賀聡*²，井上貴雄：1本鎖オリゴ核酸による自然免疫活性化の種差に関する検討
 日本核酸医薬学会第5回年会 (2019.7.10)

*¹ 扶桑薬品工業株式会社

*² 大阪大学大学院薬学研究科

吉田徳幸，佐々木澄美，内藤幹彦，小比賀聡*，井上貴雄：アンチセンス医薬の不純物が遺伝子発現に与える影響
 日本核酸医薬学会第5回年会 (2019.7.11)

* 大阪大学大学院薬学研究科

斎藤恵美*¹，南海浩一*¹，廣瀬賢治*²，吉田徳幸，井上貴雄，小比賀聡*³：2種類のHPLC分析法を用いるオリゴ核酸の分析法開発
 日本核酸医薬学会第5回年会 (2019.7.11)

*¹ 味の素バイオフーマサービス 株式会社ジーンデザイン

*² 日本ウォーターズ株式会社

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

滝口直美*¹，井上貴雄，伊藤浩介*²，小比賀聡*³，佐藤

秀昭*⁴，関口光明*¹，南海浩一*⁵，廣瀬賢治*⁶，笹木修*²，吉田徳幸：核酸医薬品の品質評価に関する考え方—仮想核酸医薬品をモデルとして—
 日本核酸医薬学会第5回年会 (2019.7.11)

*¹ 日本製薬工業協会

*² 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

*⁴ ルクサナバイオテク株式会社

*⁵ 味の素バイオフーマサービス 株式会社ジーンデザイン

*⁶ 日本ウォーターズ株式会社

内藤幹彦：細胞内の標的タンパク質を特異的に分解するプロテインノックダウン技術の開発。
 日本薬学会第35回創薬セミナー (2019.7.12)

内藤幹彦：IAPを利用して細胞内の標的タンパク質を分解するプロテインノックダウン技術の開発。
 第28回日本Cell Death学会学術集会 (2019.7.13)

Yamaguchi T*，Uchida E：Current status of gene therapy in Japan- regulatory issues.
 The 25th Annual Meeting of Japan Society of Gene and Cell Therapy (2019.7.22)

* Kanazawa Institute of Technology

内藤幹彦：標的タンパク質を特異的に分解するハイブリッド型低分子化合物SNIPERの開発と応用。
 第24回日本病態プロテアーゼ学会学術集会 (2019.8.2)

鈴木孝昌，尤馨悦，築茂由則，内藤幹彦，西川可穂子*：ナノポアシークエンサーによる薬剤耐性菌の同定と臨床応用へ向けた基礎検討
 第43回日本遺伝カウンセリング学会・第26回日本遺伝子診療学会 合同学術集会 (2019.8.2)

* 中央大学

内田恵理子：ゲノム編集技術を用いた遺伝子治療のレギュラトリーサイエンス。
 生体機能と創薬シンポジウム2019 (2019.8.29)

吉田徳幸，佐々木澄美，内藤幹彦，小比賀聡*，井上貴雄：アンチセンス医薬のオフターゲット効果の評価法に関する研究

第11回日本RNAi研究会 (2019.8.29)

* 大阪大学大学院薬学研究科

吉田徳幸, 佐々木澄美, 内藤幹彦, 小比賀聡*, 井上貴雄: アンチセンス医薬のオフターゲット効果の評価法に関する研究
第9回レギュラトリーサイエンス学会学術集会 (2019.9.7)

*大阪大学大学院薬学研究科

柴田識人, 大岡伸通, 内藤幹彦: 脱ユビキチン化による発がん因子BCR-ABLのタンパク質安定化.
第92回日本生化学会 (2019.9.20)

柴田識人, 大岡伸通, 内藤幹彦: 脱ユビキチン化による発がん因子BCR-ABLの安定化は慢性白血病細胞の増殖を促進する.
第78回日本癌学会学術総会 (2019.9.26)

鈴木孝昌, 尤馨悦*¹, 築茂由則, 内藤幹彦, 小原有弘*²: NCCオンコパネルの114遺伝子を網羅する変異細胞株パネルの作製
第78回日本癌学会学術総会 (2019.9.26)

*¹ 上海交通大学

*² 医薬基盤・健康・栄養研究所・JCRB細胞バンク

大岡伸通, 内藤幹彦: 新しいユビキチンリガーゼを標的のタンパク質にリクルートして分解する低分子化合物の開発.
第78回日本癌学会学術総会 (2019.9.27)

内藤幹彦: IAPのユビキチンリガーゼ活性を利用して標的タンパク質を分解するSNIPERの開発.
第78回日本癌学会学術総会 新学術領域研究ケモユビキチン共催シンポジウム「アンドラッグアブルな標的に対する新しい創薬」(2019.9.27)

築茂由則, 鈴木孝昌, 内藤幹彦: Translational profile of EGFR-mutated cancer cells.
第78回日本癌学会学術総会 (2019.9.27)

井上貴雄: 核酸医薬品の安全性確保のためのオフターゲット作用の評価技術開発
平成31年度創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2019.10.16)

大岡伸通: 新しい創薬パラダイム~狙ったタンパク質を特異的に分解する低分子薬の開発~.
第9回CSJ化学フェスタ (2019.10.16)

内藤幹彦: 細胞内の標的タンパク質を特異的に分解するプロテインノックダウン技術の開発.
日本再生医療学会, 第1回秋季科学シンポジウム (2019.10.19)

Naito M: SNIPERs: Hijacking IAP Ubiquitin Ligases for Targeted Protein Degradation.
2nd Annual Targeted Protein Degradation Summit (2019.10.23)

Ohoka N, Tsuji G, Shoda T, Fujisato T, Kurihara M, Demizu Y, Naito M: Development of small molecule chimeras that recruit aryl-hydrocarbon receptor (AhR) E3 ligase to induce degradation of target proteins.
AACR-NCI-EORTC International Conference on Molecular Targets and Cancer Therapeutics (2019.10.26)

Suzuki T, You X*¹, Tsukumo Y, Luan Y*¹, Kasai F*², Naito M, Kohara A*²: Establishment of knock-in mutants by genome editing and preparation of a cell line mixture covering mutations of 114 genes in NCC OncoPanel
11th Annual NGS & Clinical Diagnostics Congress (2019.11.7)

*¹ Shanghai Jiao Tong University (China)

*² National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

内海彩花*, 佐々木澄美, 楠本嵩志*, 吉田徳幸, 石田竜弘*, 井上貴雄, 奥平桂一郎*: アンチセンスのキャリア非依存性取り込み機構に寄与する膜タンパク質の検討
第58回日本薬学会・日本薬剤師学会・日本病院薬剤師会中国史国支部学術大会 (2019.11.10)

* 徳島大学大学院医歯薬学研究部

You X*, Luan Y*, Naito M, Furihata C, Honma M, Naito M, Suzuki T: A new strategy for the detection of ultra-low frequency mutations with whole genome sequencing
The 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental

Mutagen Society (2019.11.18)

* Shanghai Jiao Tong University

Furihata C, You X*, Toyoda T, Ogawa K, Suzuki T: Using FFPE RNA-Seq with 10 marker genes to evaluate genotoxicity of rat hepatocarcinogens: 2-acetylaminofluorene and p-cresidine
The 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

* Shanghai Jiao Tong University

Suzuki T, You X*, Furihata C, Nishikawa K: Applications of the nanopore sequencer (MinION) for mutation research
The 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

* Shanghai Jiao Tong University

鈴木孝昌：変異原研究は本当にやるべきことがなくなったのか？

The 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.19)

内藤幹彦：SNIPER化合物によるプロテインノックダウン，化合物を用いたプロテインノックダウン法の開発と応用.

第42回日本分子生物学会年会，新学術領域研究ケモユビキチン共催ワークショップ (2019.12.5)

大岡伸通，三澤隆史，内藤幹彦，出水庸介：siRNAを高効率で細胞内に導入する細胞膜透過性ペプチドフォルダマーの開発.

第42回日本分子生物学会年会 (2019.12.6)

内田恵理子：ゲノム編集技術を用いた遺伝子治療の規制と安全性評価の現状.

第2回 Translational and Regulatory Sciences Symposium (2020.1.15)

鈴木孝昌：コンパニオン診断薬をめぐる規制と開発の動向

第2回医薬品毒性機序研究会 (2020.1.23)

内田恵理子：ゲノム編集を利用した遺伝子治療用製品の安全性評価に関する研究.

第5回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2020.1.27)

内藤幹彦：化合物による標的タンパク質分解技術と創薬.
第69回バイオインターフェイス (2020.2.26)

山本武範：カルシウムユニポーターによるミトコンドリアカルシウム取り込みの分子機構.

日本薬学会第140回年会 (2020.3.26)

船曳早希*, 佐々木彩花*, 向山はるか*, 辻大輔*, 村田佳子*, 山本武範, Karanjit Sangita*, 中山淳*, 伊藤孝司*, 難波康祐*: イネ科植物の鉄取り込みトランスポーター標識プローブの合成と評価.

日本薬学会第140回年会 (2020.3.26)

* 徳島大学大学院薬科学教育部

柴田識人，大岡伸通，辻巖一郎，出水庸介，内藤幹彦：発がん因子BCR-ABLの脱ユビキチン化は慢性骨髄性白血病細胞の増殖に必要である.

日本薬学会第140回年会 (2020.3.26)

大岡伸通，三澤隆史，内藤幹彦，出水庸介：新しい細胞膜透過性ペプチドフォルダマーの開発と細胞特異的なsiRNAの導入.

日本薬学会第140回年会 (2020.3.26)

宮島敦子，干川和枝，宇佐見誠，満長克祥*¹，入江智彦，大野泰雄*²，簾内桃子：2-Mercaptobenzimidazole (MBI) 及びメチル誘導体のラット肝ミクロソームによる代謝に関する研究.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

*¹ 東邦大学

*² 木原記念横浜生命科学振興財団

Shojima M*¹, Okamoto Y, Niizuma T*², MD, Ohta M*²: Visual behavior during coil embolization of aneurysm model.

East Asian Conference of Neurointervention 2019 (2019.7.10)

*¹ Saitama Medical University

*² Tohoku University

Uematsu M, Shiraishi Y*, Yambe T*, Okamoto Y, Haishima Y: 3D Surface Measurement Application to Examine Pulsatile Movements of Peripheral Blood Vessels on Organs.

生体医工学シンポジウム2019 (2019.9.7)

* Tohoku University

Miyajima-Tabata A, Sakemi-Hoshikawa K, Usami M, Mitsunaga K*¹, Irie T, Ohno Y*², Sunouchi M: Effects of 2-mercaptobenzimidazole and its methyl derivatives on liver drug- metabolizing enzyme system after repeated oral administration in rats.

EUROTOX 2019(2019.9.10)

*¹ Toho University

*² Kihara Memorial Yokohama Foundation for the Advancement of Life Sciences

森下裕貴, 野村祐介, 福井千恵, 河上強志, 靛島由二: 医療機器の遺伝毒性試験用陽性対照材料の開発と標準化に関する研究.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

野村祐介, 福井千恵, 河上強志, 森下裕貴, 靛島由二: 医療機器の化学的特性評価に用いる疑似溶媒組成の性能検証.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

加藤玲子, 小森谷薫, 宮島敦子, 靛島由二: 医療機器の *in vitro* 皮膚刺激性試験に用いる再構築ヒト表皮モデルの性能評価.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

Sakoda H, Uematsu M, Okamoto Y, Haishima Y: Development and application of accelerated delamination tests for polymeric articulating materials of artificial joints.

Biotribology Sendai 2019 (2019.9.15)

鈴木浩子*, 山中誠*, 畠山健治*, 福井千恵, 靛島由二,

菊池裕: 短波長紫外線によるエンドトキシン不活化法の開発.

第46回日本防菌防黴学会年次大会 (2019.9.26)

* ウシオ電機

植松美幸, 岡本吉弘, 靛島由二: 医用材料表面近傍の水和状態を予測する新規 *in silico* 解析モデルの開発と性能検証.

第57回日本人工臓器学会 (2019.11.15)

岡本吉弘, 庄島正明*¹, 太田信*², 新妻邦泰*², 植松美幸, 迫田秀行, 靛島由二: 脳動脈瘤コイル塞栓術における術者の視線計測.

第57回日本人工臓器学会大会 (2019.11.15)

*¹ 埼玉医科大学

*² 東北大学

岡本吉弘, 野村祐介, 中岡竜介, 矢野貴久*, 仲山賢一*, 靛島由二: 「医療機器開発よろず相談室」における相談の傾向と開発促進への対応策.

第57回日本人工臓器学会大会 (2019.11.15)

* 日本医療研究開発機構

Uematsu M, Shiraishi Y*, Yambe T*, Okamoto Y, Haishima Y: Dynamic observation of peripheral blood vessels on organs by 3D surface measurements.

The 15th Asian Conference on Computer Aided Surgery (2019.11.24)

* 東北大学

森下裕貴, 野村祐介, 福井千恵, 河上強志, 靛島由二: 医療機器の遺伝毒性試験用陽性対照材料の開発.

第41回日本バイオマテリアル学会大会 (2019.11.25)

野村祐介, 福井千恵, 河上強志, 森下裕貴, 靛島由二: 医療機器の化学的特性評価に用いる疑似溶媒組成の検証と標準化に関する研究.

第41回日本バイオマテリアル学会大会 (2019.11.25)

靛島由二, 野村祐介, 森下裕貴, 福井千恵, 河上強志, 高原健太郎*¹, 山本五秋*¹, 福島匡典*¹, 江崎達哉*², 宮脇俊文*², 高柳雅治*²: 化学分析を併用した医用材料の生物学的安全性評価法の開発: 新規DSTコンセプト

の提案.

第41回日本バイオマテリアル学会大会 (2019.11.25)

*¹ サーモフィッシャーサイエンス

*² 日本ウォーターズ

植松美幸, 岡本吉弘, 靄島由二: 分子動力的シミュレーションによる医用材料表面近傍の水分子の分類.

第41回日本バイオマテリアル学会 (2019.11.25)

加藤玲子, 藤巻日出夫*, 宮島敦子, 靄島由二: 医療機器の*in vitro*皮膚刺激性試験の高度化を目指した検証研究.

第41回日本バイオマテリアル学会 (2019.11.25)

* 一般財団法人 民生科学協会

中岡竜介, 加藤玲子, 植松美幸, 岡本吉弘, 靄島由二: 人工知能等の先端技術を利用した医療機器プログラムにおける薬事上の課題とその解決策について.

第2回日本メディカルAI学会学術集会 (2020.1.31)

Sakoda H, Tamazawa K^{*1}, Shoyama Y^{*1}, Osaka Y^{*2}, Uetsuki K^{*2}, Okamoto Y, Haishima Y: Verification of the accelerated delamination test for ultra-high molecular weight polyethylene.

Orthopaedic Research Society, 66th Annual Meeting (2020.2.10)

*¹ KYOCERA Corporation

*² Teijin Nakashima Medical

迫田秀行, 戸井田瞳, 岡本吉弘, 靄島由二, 菅野伸彦*: ダイナミック超微小硬度計で測定した抜去人工股関節超高分子量ポリエチレン製ライナーの材料特性.

第50回日本人工関節学会 (2020.2.22)

* 大阪大学

中岡竜介, 加藤玲子, 宮島敦子, 野村祐介, 靄島由二: 医療機器の安全性評価技術と国際標準化について.

日本金属学会2020年春期(第166回)講演大会 (2020.3.18)

迫田秀行, 相澤雅美, 上田麻子, 戸井田瞳, 中岡竜介, 宮島敦子, 靄島由二: プラスチック製医療機器の力学特性に対する薬剤の影響評価.

日本薬学会 第140年会 (2020.3.27)

松永佳世子^{*1,2}, 大庭美帆^{*1,2}, 秋山卓美, 河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: ネットで購入したハイドロキノン配合クリームによるアレルギー性接触皮膚炎.

第35回日本臨床皮膚科医会 (2019.4.20)

*¹ 藤田医科大学医学部

*² 刈谷整形外科病院

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: マイクロ波分解-ICP-MSを用いた市販化粧品中の微量金属不純物の含有実態調査 (第二報).

第28回環境化学討論会 (2019.6.12)

河上強志, 伊佐間和郎^{*1}, 五十嵐良明, 神野透人^{*2}: 揮発性及び準揮発性有機化合物類の*in chemico*試験による感作性評価.

第28回環境化学討論会 (2019.6.12)

*¹ 帝京平成大学

*² 名城大学

土屋裕子, 小林憲弘, 高木総吉*, 五十嵐良明: 水道水中農薬のGC/MSターゲットスクリーニング分析法に用いる検量線の定量精度に関する検討.

第28回環境化学討論会 (2019.6.12)

* 大阪健康安全基盤研究所

小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉^{*1}, 宮脇崇^{*2}, 門上希和夫^{*3}, 五十嵐良明: GC/MSターゲットスクリーニング分析法を用いた水道水・水道原水中農薬の実態調査とその定量精度の検証.

第28回環境化学討論会 (2019.6.13)

*¹ 大阪健康安全基盤研究所

*² 福岡県保健環境研究所

*³ 北九州市立大学

高木総吉*, 小池真生子*, 長谷川有紀*, 安達史恵*, 吉田仁*, 小林憲弘, 山口進康*: 水道水質における農薬類検査法としてのGC-MSターゲットスクリーニング分析法の有用性評価.

第28回環境化学討論会 (2019.6.13)

* 大阪健康安全基盤研究所

酒井信夫, 田原麻衣子, 安達玲子, 手島玲子^{*1}, 小村純

子*², 伏見環*³, 池島幸男*⁴, 市原正人*⁵, 秋山卓美, 宮崎玉樹, 山本栄一, 伊豆津健一, 五十嵐良明, 合田幸広: 医薬品の原材料や製造工程に使用されるアレルギー物質を含む食品成分に関する実態調査.

第68回日本アレルギー学会学術大会 (2019.6.16)

*¹ 岡山理科大学

*² 摂南大学

*³ 日本ジェネリック製薬協会

*⁴ 日本製薬工業協会

*⁵ 日本製薬団体連合会

鈴木加余子*¹, 松永佳世子*^{1,2}, 二村恭子*¹, 河上強志, 田原麻衣子, 西村亜佐子*³, 成橋和正*³, 古橋卓也*⁴, 矢上晶子*¹: 血糖モニタリングシステムFreeStyleリブレ(センサー)によるアレルギー性接触皮膚炎.

第288回日本皮膚科学会東海地方会 (2019.6.23)

*¹ 藤田医科大学総合アレルギー科

*² 藤田医科大学アレルギー疾患対策医療学

*³ 同志社女子大学薬学部

*⁴ 春日井市民病院

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: マイクロ波分解-ICP-MSによる市販化粧品中微量金属不純物の含有実態調査.

第44回日本化粧品学会 (2019.6.28)

小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明: LC/MS/MSによるヒト用医薬品58種の水環境モニタリング調査.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

内藤光梨*¹, 森葉子*¹, 青木明*¹, 岡本誉士典*¹, 植田康次*¹, 埴岡伸光*², 香川(田中)聡子*², 田原麻衣子, 酒井信夫, 神野透人*¹: 居住住宅の総揮発性有機化合物(TVOC)放散速度に関する研究.

第65回日本薬学会東海支部総会・大会 (2019.7.6)

*¹ 名城大学

*² 横浜薬科大学

Kobayashi N, Tsuchiya Y, Ikarashi Y: Environmental monitoring of 58 human pharmaceuticals in Japanese river water by LC/MS/MS.

Water and Environment Technology Conference 2019 (WET2019) (2019.7.14)

田原麻衣子, 河上強志, 五十嵐良明: スプレー製品中の揮発性有機化合物のスクリーニング調査における前処理法の比較.

第32回におい・かおり環境学会 (2019.8.28)

小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉*, 五十嵐良明: GC/MSターゲットスクリーニング分析法による水道水・水道原水中農薬の実態調査とその分析精度の評価.

第22回日本水環境学会シンポジウム (2019.9.6)

* 大阪健康安全基盤研究所

小村純子*, 熊谷彩夏*, 奥侑輝*, 酒井信夫: 医薬品の添加物として使用されるアレルギー物質はアレルギー関連副作用の原因となりうるか?

第9回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2019.9.7)

* 摂南大学

土屋裕子, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水中の塩素酸・亜塩素酸・過塩素酸・臭素酸のLC/MS/MS一斉分析法の開発.

環境科学会2019年会 (2019.9.13)

田原麻衣子, 酒井信夫, 大貫文*¹, 斎藤育江*¹, 千葉真弘*², 大泉詩織*², 田中礼子*³, 山之内孝*³, 大野浩之*⁴, 若山貴成*⁴, 横山結子*⁵, 神野透人*⁶, 河上強志, 五十嵐良明: 室内濃度指針値策定VOC試験法の妥当性評価.

環境科学会2019年会 (2019.9.13)

*¹ 東京都健康安全研究センター

*² 北海道立衛生研究所

*³ 横浜市衛生研究所

*⁴ 名古屋市衛生研究所

*⁵ 千葉県衛生研究所

*⁶ 名城大学

田中裕子*¹, 長谷川達也*², 武内伸治*³, 斎藤育江*⁴, 酒井信夫, 河上強志, 田原麻衣子, 上村仁*⁵, 大貫文*⁴, 磯部隆史*¹, 五十嵐良明, 大河原晋*¹, 三浦伸彦*¹, 河村伊久雄*¹, 埴岡伸光*¹, 神野透人*⁶, 香川(田中)聡子*¹: 金属類のハウスダストを媒体とした曝露.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

*¹ 横浜薬科大学

*² 山梨県富士山科学研究所

*³ 北海道立衛生研究所

*⁴ 東京都健康安全研究センター

*⁵ 神奈川県衛生研究所

*⁶ 名城大学

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用品規制法における有害物質の試験法改正に伴う基準値に関する検討 - 溶剤 -.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用品規制法における有害物質の試験法改正に伴う基準値に関する検討 - 防虫剤 -.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用品規制法における有害物質の試験法改正に伴う基準値に関する検討 - 防炎加工剤 -.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

田中裕子^{*1}, 長谷川達也^{*2}, 武内伸治^{*3}, 斎藤育江^{*4}, 酒井 信夫, 河上強志, 田原麻衣子, 上村仁^{*5}, 大貫文^{*4}, 磯部隆史^{*1}, 五十嵐良明, 大河原晋^{*1}, 三浦伸彦^{*1}, 河村伊久雄^{*1}, 埴岡伸光^{*1}, 神野透人^{*6}, 香川 (田中) 聡子^{*1}: 室内環境における金属類の曝露.

メタルバイオサイエンス研究会2019 (2019.10.29)

*¹ 横浜薬科大学

*² 山梨県富士山科学研究所

*³ 北海道立衛生研究所

*⁴ 東京都健康安全研究センター

*⁵ 神奈川県衛生研究所

*⁶ 名城大学

Kobayashi N, Tsuchiya Y, Takagi S*, Ikarashi Y: Application and quantitative accuracy evaluation of GC/MS target screening analytical method for agricultural chemicals in raw and ground water. SETAC North America 40th Annual Meeting (2019.11.4).

* Osaka Prefectural Institute of Public Health

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用品等に含まれる感作性物質の実態調査 - 眼鏡及びゴム手袋における

事例 -.

第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会 (2019.11.29)

岩淵千雅子^{*1}, 栗田昂幸^{*1}, 日野治子^{*1}, 関東裕美^{*2}, 岩本正照^{*3}, 河上強志, 田原麻衣子, 松永佳世子^{*4,5}: グルコースセンサー FreeStyle リブレ接着部テープによる接触皮膚炎3例.

第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会 (2019.11.29)

*¹ 日産厚生会玉川病院

*² 東邦大学

*³ 日産厚生会玉川病院糖尿病内科

*⁴ 藤田医科大学アレルギー疾患対策医療学

*⁵ 一般社団法人SSCI-Net

田原麻衣子, 高木規峰野, 田中礼子^{*1}, 村木沙織^{*1}, 大貫文^{*2}, 斎藤育江^{*2}, 千葉真弘^{*3}, 大泉詩織^{*3}, 酒井信夫, 五十嵐良明: フタル酸エステル類の加熱脱離法および溶媒抽出法の比較検討.

2019年室内環境学会学術大会 (2019.12.5)

*¹ 横浜市衛生研究所

*² 東京都健康安全研究センター

*³ 北海道立衛生研究所

大貫文^{*1}, 菱木麻佑^{*1}, 田原麻衣子, 千葉真弘^{*2}, 大泉詩織^{*2}, 田中礼子^{*3}, 山之内孝^{*3}, 酒井信夫, 斎藤育江^{*1}: 2,2,4-トリメチル-1,3-ペンタンジオールモノイソブチレート及び2,2,4-トリメチル-1,3-ペンタンジオールジイソブチレートのVOCs標準法における石英ウールへの吸着について.

2019年室内環境学会学術大会 (2019.12.5)

*¹ 東京都健康安全研究センター

*² 北海道立衛生研究所

*³ 横浜市衛生研究所

斎藤育江^{*1}, 大貫文^{*1}, 香川 (田中) 聡子^{*2}, 大泉詩織^{*3}, 千葉真弘^{*3}, 神野透人^{*4}, 田原麻衣子, 酒井信夫, 小西浩之^{*1}, 守安貴子^{*1}: 環境試料中フタル酸ジイソノニル及びフタル酸ジイソデシルの分離定量法.

2019年室内環境学会学術大会 (2019.12.5)

*¹ 東京都健康安全研究センター

*² 横浜薬科大学

*³ 北海道立衛生研究所

*⁴ 名城大学

香川 (田中) 聡子^{*1}, 田中裕子^{*1}, 長谷川達也^{*2}, 武内伸治^{*3}, 斎藤育江^{*4}, 酒井信夫, 河上強志, 田原麻衣子, 上村仁^{*5}, 大貫文^{*4}, 五十嵐良明, 三浦伸彦^{*1}, 河村伊久雄^{*1}, 埴岡伸光^{*1}, 神野透人^{*6}: 室内環境中でのハウスダストを介する金属類の曝露.

2019年室内環境学会学術大会 (2019.12.5)

*¹ 横浜薬科大学

*² 山梨県富士山科学研究所

*³ 北海道立衛生研究所

*⁴ 東京都健康安全研究センター

*⁵ 神奈川県衛生研究所

*⁶ 名城大学

小濱とも子, 五十嵐良明, 酒井信夫, 佐々木和実*, 秋山卓美, 安達玲子: 化粧品に用いられる食物由来タンパク質成分の分子量測定法に関する検討.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

* 製品評価技術基盤機構

酒井信夫, 田原麻衣子, 高木規峰野, 五十嵐良明, 千葉真弘^{*1}, 柴田めぐみ^{*2}, 沼野聡^{*3}, 阿部美和^{*4}, 竹熊美貴子^{*5}, 横山結子^{*6}, 大竹正芳^{*7}, 角田徳子^{*8}, 上村仁^{*9}, 田中礼子^{*10}, 高居久義^{*11}, 平山智士^{*12}, 柚木悦子^{*13}, 小林浩^{*14}, 鈴木光彰^{*15}, 山本優子^{*16}, 大野浩之^{*17}, 南真紀^{*18}, 藤本恭史^{*19}, 吉田俊明^{*20}, 古市裕子^{*21}, 八木正博^{*22}, 伊達英代^{*23}, 荒尾真砂^{*24}, 松本弘子^{*25}, 吉村裕紀^{*26}, 塩川敦司^{*27}: 平成30年度 室内空気環境汚染に関する全国実態調査.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

*¹ 北海道立衛生研究所

*² 青森県環境保健センター

*³ 岩手県環境保健研究センター

*⁴ 宮城県保健環境センター

*⁵ 埼玉県衛生研究所

*⁶ 千葉県衛生研究所

*⁷ 千葉市環境保健研究所

*⁸ 東京都健康安全研究センター

*⁹ 神奈川県衛生研究所

*¹⁰ 横浜市衛生研究所

*¹¹ 川崎市健康安全研究所

*¹² 新潟県保健環境科学研究所

*¹³ 富山県衛生研究所

*¹⁴ 山梨県衛生環境研究所

*¹⁵ 静岡県環境衛生科学研究所

*¹⁶ 愛知県衛生研究所

*¹⁷ 名古屋市衛生研究所

*¹⁸ 滋賀県衛生科学センター

*¹⁹ 京都府保健環境研究所

*²⁰ 大阪健康安全基盤研究所

*²¹ 大阪市立環境科学研究センター

*²² 神戸市環境保健研究所

*²³ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*²⁴ 高知県衛生環境研究所

*²⁵ 福岡市保健環境研究所

*²⁶ 長崎県環境保健研究センター

*²⁷ 沖縄県衛生環境研究所

大泉詩織^{*1}, 千葉真弘^{*1}, 大貫文^{*2}, 斎藤育江^{*2}, 香川 (田中) 聡子^{*3}, 神野透人^{*4}, 田原麻衣子, 酒井信夫: 溶媒抽出法による室内空气中グリコールエーテル類及び環状シロキサン類の分析について.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

*¹ 北海道立衛生研究所

*² 東京都健康安全研究センター

*³ 横浜薬科大学

*⁴ 名城大学

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: 市販化粧品中微量不純物の含有実態調査-金属類- (第二報).

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

羽田千香子, 甲斐茂美, 熊坂謙一, 宮澤真紀, 秋山卓美, 五十嵐良明: 化粧品中の残留溶媒分析法に関する検討.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

秋山卓美, 最上 (西巻) 知子, 五十嵐良明: 薬用化粧品成分のクロシナーゼ反応性評価法の検討.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

内野正, 土屋裕子, 小林憲弘, 五十嵐良明: 平成30年度厚生労働省水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明: 水道水中の陰イオン類のLC/MS/MS一斉分析法の開発と妥当性評価.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

高木総吉*, 小池真生子*, 長谷川有紀*, 安達史恵*, 吉田仁*, 小林憲弘, 山口進康*: 水質監視手法としてのGC/MSターゲットスクリーニング分析法の応用について.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

* 大阪健康安全基盤研究所

土屋裕子, 小林憲弘, 高木総吉*, 五十嵐良明: 水道原水・水道水中の農薬類のGC/MSターゲットスクリーニング分析法による実態調査と定量精度の評価.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.5)

* 大阪健康安全基盤研究所

小林憲弘, 土屋裕子, 田畑美世, 五十嵐良明: 水環境中のヒト用医薬品のLC/MS/MS一斉分析法の開発と全国モニタリング.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

菅谷なえ子*, 河上強志, 田原麻衣子: 家庭用品規制法における溶剤3種の試験法について - 試験法改正に向けた妥当性評価試料の検討 -.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

* 横浜市衛生研究所

西以和貴*, 上村仁*, 河上強志: 繊維製品中防虫加工剤の改正分析法における抽出効率の評価.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

* 神奈川県衛生研究所

大嶋智子*, 角谷直哉*, 山口之彦*, 河上強志: 繊維製品中防虫加工剤の改正分析法における抽出効率の評価.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

* 大阪健康安全基盤研究所

田原麻衣子, 河上強志, 酒井信夫, 五十嵐良明: 芳香・消臭・脱臭剤等中のグリコール類およびフタル酸エステル類の実態調査.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 芳香・消臭・脱臭剤中のイソチアゾリノン系防腐剤の分析法の開発及び実態調査.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用品規制法で有害物質に指定されている防虫剤2種の基準値に関する検討.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用品規制法で有害物質に指定されている防虫加工剤3種の基準値に関する検討.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

Kobayashi N, Tsuchiya Y, Tabata M, Komatsubara Y*, Eriguchi T*, Ikarashi Y: Environmental monitoring and application of a chemical fate prediction model for risk assessment of human pharmaceuticals in Japanese river water.

Society for Risk Analysis 2019 Annual Meeting (2019.12.9)

* Science and Technology Co., Ltd.

小林憲弘, 土屋裕子, 田畑美世, 五十嵐良明: LC/MS/MS一斉分析による水環境中のヒト用医薬品110種の全国モニタリング.

第54回日本水環境学会年会 (2020.3.16)

五十嵐良明, 小濱とも子, 酒井信夫, 佐々木和実*, 秋山卓美, 安達玲子: 化粧品に用いられる乳及び卵加水分解タンパク質成分の分子量分布.

日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

* 製品評価技術基盤機構

酒井信夫, 安達玲子, 田原麻衣子, 手島玲子*¹, 小村純子*², 五十嵐良明: 医薬品等に含まれる食物アレルギー原因物質に関する症例調査.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

*¹ 岡山理科大学

*² 摂南大学

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: 市販化粧品中微量金属類の含有実態調査 (第二報).

日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

田村麻衣*, 榎原直樹*, 松本誠*, 久保田領志, 秋山卓

美, 五十嵐良明: 無機顔料を含む化粧品製品及び原料中の有害重金属14元素の完全溶解一斉分析法の開発.
日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

* (一財) 日本食品分析センター

河上強志, 小濱とも子, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 化粧品用色素中に不純物として存在する特定芳香族アミン類分析法の開発.
日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

今村正隆, 鍋師裕美, 堤智昭, 前田朋美, 塩野弘二, 穂山浩: 流通食品に含まれる放射性セシウム濃度の調査 (2017年度).
日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

塩野弘二, 堤智昭, 今村正隆, 池田明夏里*, 横山順*, 穂山浩: 質量分析用誘導体化試薬を用いた魚及び水産加工品中の不揮発性腐敗アミン類分析法について.
日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

* 太陽日酸株式会社

田口貴章, 山下涼香, 成島純平, 三浦早紀*, 良永裕子*, 穂山浩: フラボノイド系機能性関与成分の分析法の改良検討.
日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

* 麻布大学生命・環境科学部

Tsutsumi T, Imamura M, Takatsuki S, Maeda T, Akiyama H: Dietary intake of PCBs by the Japanese population in a total diet study during 2016-2018.
39th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2019) (2019.8.26)

佐野雄基^{*1}, 矢野竹男^{*2}, 穂山浩, 黒瀬光一^{*1}: Real-Time PCRを用いた全サバ属の種特異的検出法.
令和元年度日本水産学会秋季大会 (2019.9.8)

^{*1} 東京海洋大学

^{*2} 三重大学

Kikuchi H, Sakai T, Okura T, Nemoto S, Akiyama H: A simple and sensitive LC-MS/MS method for determining residues of the tranquilizer chlorpromazine in livestock products, seafood, and

honey.

133rd AOAC Annual Meeting & Exposition (2019.9.11)

田口貴章, 成島純平, 穂山浩: 食品テロ対策のための人体試料 (血液・尿等) 中の有機リン系農薬の定量評価法検討.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

根本了: 食品中の有害化学物質および残留農薬の分析法開発とその応用に関する研究.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

志田 (齊藤) 静夏, 根本了, 穂山浩: 残留農薬等のスクリーニング分析法の性能評価方法の検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

志田 (齊藤) 静夏, 永田万理*, 根本了, 穂山浩: 窒素キャリアーガスを用いたガスクロマトグラフィー/大気圧化学イオン化質量分析による残留農薬一斉分析.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

* 日本ウォーターズ株式会社

小林麻紀*, 酒井奈穂子*, 大町勇貴*, 森田有香*, 根本了, 橋本常生*: LC-MS/MSを用いた畜産物中アシュラム分析法の検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

* 東京都健康安全研究センター

矢田真絃^{*1}, 高橋未来^{*2}, 坂井隆敏, 根本了, 穂山浩, 井之上浩一^{*1,2}: LC-MS/MSを基盤とした畜産物中アラクロール類の一斉分析法の検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

^{*1} 立命館大学

^{*2} 立命館大学大学院

朝倉敬行*, 北村真理子*, 宮回昌弘*, 中里光男*, 安田和男*, 根本了: 畜産物中のプレドニゾロン分析法.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

* (一財) 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター

布目真梨*, 永田尚子*, 内田一成*, 根本了, 穂山浩: HILIC-MS/MSによる畜水産物中のピコザマイシン分析

法の検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

* (一財) 生物科学安全研究所

関友輔*, 有本千里*, 菊地博之, 山川宏人*, 穂山浩:
LC-MS/MSを用いた食品中の小麦及びそばのタンパク
質の一斉分析法の開発.

日本食品衛生学会第115回学術講演会 (2019.10.3)

* (株) 日清製粉グループ本社

鍋師裕美, 今村正隆, 堤智昭, 蜂須賀暁子, 穂山浩:マー
ケットバスケット方式による放射性セシウム及びストロ
ンチウム90の預託実効線量の推定 (2017年調査).

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

堤智昭, 足立利華, 川嶋文人*, 濱田典明*, 高附巧,
穂山浩: PCB分析前処理装置を用いた魚介類中の総PCB
分析法の検体.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

* 愛媛大学大学院農学研究科

今村正隆, 鍋師裕美, 堤智昭, 前田朋美, 穂山浩: 流通
食品に含まれる放射性セシウム濃度の調査 (2018年度)

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

田口貴章, 山下涼香, 岸美紀*, 赤星千絵*, 岡部信彦*,
穂山浩: 食品テロ対策のための人体試料 (血液・尿等)
中のカルバメート系農薬の分析法検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

* 川崎市健康安全研究所

穂山浩, 鈴木美成, 浅井麻弓, 井上小夕貴*¹, 佐藤清*²,
高木彩*³, 杉浦淳吉*⁴: 残留農薬等のリスクコミュニケーション
手法の検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

*¹ 世田谷区世田谷保健所

*² (一財) 残留農薬研究所

*³ 千葉工業大学社会システム科学部

*⁴ 慶応義塾大学文学部

五十嵐由樹*¹, 高橋未来*², 堤智昭, 根本了, 穂山浩,
井之上浩一*^{1,2}: 食品中の有機フッ素化合物の摂取量推

定を目的としたLC-MS/MSによる一斉分析法の開発.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

*¹ 立命館大学

*² 立命館大学院

Takaaki Taguchi, Suzuka Yamashita, Hiroshi Akiyama:
Analysis of Foods with Function Claims containing
enzymatically modified hesperidin.

9th International Symposium on Recent Advances in
Food Analysis (RAFA 2019) (2019.11.6)

Tsutsumi T, Adachi R, Imamura M, Takatsuki S,
Akiyama H: Determination of dioxin concentrations
in fish by gas chromatography tandem mass
spectrometry.

9th International Symposium on Recent Advances in
Food Analysis (RAFA 2019) (2019.11.7)

穂山浩: 残留農薬について知ろう.

公益社団法人日本食品衛生学会ブロックイベント中国・
四国ブロック公開セミナー 食品に関するリスクコミュ
ニケーション「知ろう～残留農薬～」(2019.11.20)

Shizuka Saito-Shida, Nao Kashiwabara, Satoru
Nemoto, Hiroshi Akiyama: Determination of the total
tulathromycin residues in bovine muscle, fat, and liver
by liquid chromatography-tandem mass spectrometry.

49th International Symposium on High Performance
Liquid Phase Separations and Related Techniques.
(2019.12.3)

坂井隆敏, 縄田裕美, 菊地博之, 根本了, 穂山浩: 畜産
物中のフィプロニル分析法の開発.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

菊地博之, 坂井隆敏, 大倉知子, 根本了, 穂山浩: LC-
MS/MSによる畜産物中のイソキサフルトール分析法の
開発.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

堤智昭, 塩野弘二, 今村正隆, 鍋師裕美, 池田明夏里*,
横山順*, 穂山浩: MS用誘導体化試薬を用いた魚及び
水産加工品中の不揮発性腐敗アミン類の分析.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

* 大陽日酸株式会社

鍋師裕美, 松田りえ子, 今村正隆, 曾我慶介, 堤智昭, 穂山浩, 蜂須賀暁子: 2018年度公表の食品中放射性物質濃度検査データの解析.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

田口貴章, 山下涼香, 岸美紀*, 赤星千絵*, 岡部信彦*, 穂山浩: 食品テロ対策のための人体試料(血液・尿等)中の有機リン系農薬の分析法検討.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

* 川崎市健康安全研究所

鈴木美成, 穂山浩: 未検出例を含むデータをどのように扱うのが適切か? - ミネラルウォーター中Cr(VI)を例として -.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

穂山浩: 残留農薬について知ろう.

公益社団法人日本食品衛生学会ブロックイベント北海道・東北ブロック公開セミナー食品に関するリスクコミュニケーション「知ろう～残留農薬～」(2020.2.5)

田口貴章, 橋元誠^{*1}, 石川和樹^{*1}, 岡本晋^{*2}, 市瀬浩志^{*1}: アクチノロジン合成における後期修飾過程のin vitro再構成検討.

日本薬学会第140年会 (2020.3.25~28)

*¹ 武蔵野大薬

*² 農研機構

Tada A, Hioki F, Furusho N, Masumoto N, Tatebe C, Kubota H, Sato K: Validation of a quantification method using gas chromatography-mass spectrometry -Intra-laboratory validation for specifications of food additive-. The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019) (2019.12.3)

多田敦子, 堀江正一^{*1}, 関戸晴子^{*2}, 橋口成喜^{*3}, 小林千種^{*4}, 杉浦潤^{*5}, 大槻崇^{*6}, 中島安基江^{*7}, 津田清隆^{*8}, 久保田浩樹, 建部千絵, 柳本登紀子, 寺見祥子, 杉本直樹, 佐藤恭子: 食品中の食品添加物分析法改正に向けた検討(平成30年度).

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

*¹ 大妻女子大学家政学部

*² 神奈川県衛生研究所

*³ 川崎市健康安全研究所

*⁴ 東京都健康安全研究センター

*⁵ 名古屋市衛生研究所

*⁶ 日本大学生物資源科学部

*⁷ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*⁸ 横浜市衛生研究所

久保田浩樹, 寺見祥子, 柳本登紀子, 建部千絵, 古庄紀子, 多田敦子, 佐藤恭子: 清涼飲料水等からの安息香酸の一日摂取量調査に関する研究.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

建部千絵, 藤原由美子, 久保田浩樹, 多田敦子, 佐藤恭子: 食品添加物の硫酸塩試験法に関する検討.

日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

寺見祥子, 小金沢望^{*1}, 村越早織^{*1}, 佐藤睦実^{*2}, 関根百合子^{*2}, 渡邊さやか^{*3}, 鶴岡則子^{*4}, 杉木幹夫^{*5}, 田原正一^{*5}, 安永恵^{*6}, 紙本佳奈^{*6}, 中島安基江^{*7}, 井原紗弥香^{*7}, 竹下智章^{*8}, 川原るみ子^{*8}, 高嶺朝典^{*9}, 古謝あゆ子^{*9}, 恵飛須則明^{*9}, 柳本登紀子, 久保田浩樹, 建部千絵, 長尾なぎさ, 五十嵐敦子, 古庄紀子, 多田敦子, 佐藤恭子: 平成30年度マーケットバスケット方式による小児の食品添加物の一日摂取量調査.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

*¹ 札幌市衛生研究所

*² 仙台市衛生研究所

*³ 習志野健康福祉センター

*⁴ 千葉県衛生研究所

*⁵ 東京都健康安全研究センター

*⁶ 香川県環境保健研究センター

*⁷ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*⁸ 長崎市保健環境試験所

*⁹ 沖縄県衛生環境研究所

中島安基江*, 井原紗弥香*, 福原亜美*, 安部かおり*, 久保田浩樹, 多田敦子, 佐藤恭子: マーケットバスケット方式によるスクラロースの一日摂取量調査.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

* 広島県立総合技術研究所保健環境センター

増本直子, 西崎雄三, 丸山剛史^{*1}, 五十嵐靖^{*1}, 中島馨, 細江潤子, 内山奈穂子, 高岡真也^{*2}, 吉田佐奈枝^{*2}, 三浦亨^{*2}, 山田裕子^{*2}, 日向野太郎^{*3}, 末松孝子^{*4}, 小松功典^{*4}, 嶋田典基^{*5}, 山崎太一^{*6}, 黒江美穂^{*6}, 沼田雅彦^{*6}, 井原俊英^{*6}, 杉本直樹, 佐藤恭子, 合田幸広: 指

標成分ベリルアルデヒドの易分解性を考慮した局方生薬ソヨウの新しい分析法.

第36回合同シンポジウム (第86回日本分析化学学会有機微量分析研究懇談会及び第110回計測自動制御学会力学量計測部会) (2019.6.13)

*¹ (株) ツムラ

*² 富士フイルム和光純薬 (株)

*³ 大正製薬 (株)

*⁴ (株) JEOL RESONANCE

*⁵ (株) 常磐植物科学研究所

*⁶ (国研) 産業技術総合研究所

増本直子, 中島馨, 小泉茉友*, 大内政輝*, 西崎雄三, 石附京子, 鈴木俊宏*, 兎川忠靖*, 杉本直樹, 佐藤恭子: Single-reference HPLC法によるステビオール配糖体の一斉定量.

第1回定量NMR研究会 (2019.12.13)

* 明治薬科大学薬学部

Nishizaki Y, Chen SN*, Lankin DC*, Pauli GF*: The Practicality of External Calibration Quantitative NMR of Natural Products.

ASP Annual Meeting (2019.7.14)

* University of Illinois at Chicago

Takahashi M*, Nishizaki Y, Sugimoto N, Sato K, Inoue K*: HPLC using single reference standard with relative molar sensitivity for the determination of natural components from products and foods.

PITTCON2019 (2019.3.19)

* 立命館大学大学院薬学研究科

石附京子, 増本直子, 西崎雄三, 杉本直樹, 佐藤恭子: 食品添加物規格基準データベースの作成と公開.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

天倉吉章*, 好村守生*, 村井望*, 重松優里*, 西崎雄三, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子: 既存添加物レイシ抽出物及びカキ色素の成分解析.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

* 松山大学薬学部

高橋未来*, 高木映里*, 西崎雄三, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子, 井之上浩一*: カテキン類の一斉分析を目指したシングルリファレンスHPLC定量法の開発.

日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

* 立命館大学大学院薬学研究科

松岡聖朗*, 大槻崇*, 藤佑志郎*, 松下明里*, 松田美優*, 西崎雄三, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子, 松藤寛*: ¹H-qNMRに基づく相対モル感度を用いたゴマ若葉抽出物等に含まれるアクテオシドの定量について.

日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

* 日本大学生物資源科学部

松岡聖朗*, 大槻崇*, 石附京子, 藤佑志郎*, 西崎雄三, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子, 松藤寛*: フラバノン配糖体定量分析への¹H-qNMRに基づく相対モル感度法の応用.

日本食品科学工学会第66回大会 (2019.8.31)

* 日本大学生物資源科学部

長久保直也*, 建部千絵, 石附京子, 増本直子, 大槻崇*, 松藤寛*, 多田敦子, 杉本直樹, 佐藤恭子: Single Reference HPLC法を用いた食用タール色素中の不純物の定量.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

* 日本大学生物資源科学部

酒井有希*, 増本直子, 大槻崇*, 松藤寛*, 杉本直樹, 佐藤恭子: 機能性表示食品中のルテインのSIトレーサブルな定量分析法の検討.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

* 日本大学生物資源科学部

小泉茉友*, 中島馨, 増本直子, 鈴木俊宏*, 兎川忠靖*, 杉本直樹, 佐藤恭子: 標品不要! ステビオール配糖体の一斉定量分析.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

* 明治薬科大学薬学部

大河内聡子*, 大嶋直浩*, 増本直子, 西崎雄三, 杉本直樹, 佐藤恭子, 羽田紀康*: サンショウの季節変動を示す成分の解明.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

* 東京理科大学薬学研究所

阿部裕, Ackerman LK*, Begley TH*, 山口未来, 六鹿元雄, 佐藤恭子: DART-MSを用いた食品用ポリアミド製品の簡易材質判別法.

日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

* Center for Food Safety and Applied Nutrition, US Food and Drug Administration

片岡洋平, 渡邊敬浩, 林恭子, 佐藤恭子, 穂山浩: 清涼飲料水におけるヒ素・鉛濃度の実態調査.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

山口未来, 阿部裕, 尾崎麻子*¹, 岸映里*¹, 浅川大地*², 阿部智之*³, 中西徹*⁴, 渡辺一成*⁵, 六鹿元雄, 佐藤恭子: “食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針”における油性食品の溶出試験条件の検討.

日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

*¹ 大阪健康安全基盤研究所

*² 大阪市立環境科学研究センター

*³ 日本食品衛生協会

*⁴ 日本食品分析センター

*⁵ 化学研究評価機構

尾崎麻子*¹, 六鹿元雄, 岸映里*¹, 阿部智之*², 阿部裕, 安藤景子*³, 石原絹代*³, 牛山温子*³, 内田晋作*³, 大坂郁恵*³, 大野浩之*³, 大野雄一郎*³, 風間貴充*³, 加藤千佳*³, 小林尚*³, 佐藤環*³, 柴田博*³, 菌部博則*³, 関戸晴子*³, 高島秀夫*³, 田中葵*³, 花澤耕太郎*³, 山口未来, 山田悟志*³, 吉川光英*³, 渡辺一成*³, 佐藤恭子: 合成樹脂製の器具・容器包装における溶出試験の精度の検証.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

*¹ 大阪健康安全基盤研究所

*² (公社) 日本食品衛生協会

*³ その他の試験機関, 衛生研究所等

岸映里*¹, 尾崎麻子*¹, 浅川大地*², 阿部裕, 山口未来, 阿部智之*³, 中西徹*⁴, 渡辺一成*⁵, 山口之彦*¹, 山野

哲夫*¹, 六鹿元雄: 合成樹脂製器具及び容器包装におけるシミュレーションソフトを用いた溶出量予測と実測値の比較.

日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

*¹ 大阪健康安全基盤研究所

*² 大阪市立環境科学研究センター

*³ 日本食品衛生協会

*⁴ 日本食品分析センター

*⁵ 化学研究評価機構

水口智晴*¹, 尾崎麻子*¹, 岸映里*¹, 阿部裕, 山口未来, 山口之彦*¹, 山野哲夫*¹, 六鹿元雄: 合成樹脂製器具・容器包装のリスク評価における長期保存食品の溶出試験法に関する検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

*¹ 大阪健康安全基盤研究所

*² 大阪市立環境科学研究センター

浅川大地*¹, 尾崎麻子*², 岸映里*², 阿部裕, 山口未来, 六鹿元雄: 合成樹脂製器具・容器包装のリスク評価における乾燥食品の移行試験法に関する検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

*¹ 大阪市立環境科学研究センター

*² 大阪健康安全基盤研究所

大野浩之*¹, 鈴木昌子*¹, 山口未来, 六鹿元雄: 蒸発残留物試験における蒸発乾固後の乾燥操作に関する検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

* 名古屋市衛生研究所

山本詩織, 川村研二*¹, 朝倉宏: 外来患者由来ESBL産生大腸菌の分子遺伝学的特性について.

第92回日本細菌学会総会 (2019.4.23)

* 恵寿総合病院

岡田由美子, Amalia Widya Rizky*¹, 永島侑起*¹, 鈴木穂高*¹, 下島優香子*², 福井理恵*², 森田加奈*², 平井昭彦*², 朝倉宏: 市販低温殺菌牛乳における微生物規格にかかわる試験法の検討.

第92回日本細菌学会総会 (2019.4.24)

*¹ 茨城大学

*2 東京都健康安全研究センター

中山達哉, 佐々木貴正, 朝倉宏, 五十君静信^{*1}, 渡邊治雄^{*2,3}: 採卵鶏及び肉用鶏から分離される薬剤耐性大腸菌の比較解析.

第92回日本細菌学会総会 (2019.4.24)

*1 東京農業大学

*2 国際医療福祉大学

*3 国立感染症研究所

國吉杏子, 大城直雅, 佐野友春^{*1}, 朝倉宏, 安元健^{*2}: 魚肉標準物質 (シガテラ毒) の調製検討.

日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.6)

*1 国立環境研究所

*2 (一財) 日本食品分析センター

Nakayama T, Hoa TTT^{*1}, Harada K^{*2}: Low bacterial diversity and the presence of antimicrobial residues and antimicrobial resistance genes in a river containing wastewater from backyard aquacultures in the Mekong Delta, Vietnam.

8th Congress of European Microbiologists (2019.7.10)

*1 Can Tho University

*2 Osaka University

松田りえ子, 荒川史博^{*1}, 納谷隆行^{*2}, 大城直雅: ホタテガイ中オオカダ酸分析技能試験プログラムの開発および統計学的評価.

AOAC INTERNATIONAL JAPAN SECTION 第22回年次大会 (2019.7.12)

*1 日本ハム (株) 中央研究所品質科学センター

*2 (一財) 青森県薬剤師会 食と水の検査センター

吉田梨花^{*1}, 一川仁美^{*1}, 森田聡志^{*1}, 佐藤真伍^{*1}, 丸山総一^{*1}, 中山達哉, 森田幸雄^{*2}, 鎌田洋一^{*3}, 壁谷英則^{*1}: わが国のと畜場ならびに大規模食鳥処理場における HACCP システム導入効果の微生物学的検証方法の確立.

第162回日本獣医学会学術集会 (2019.9.10)

*1 日本大学

*2 東京家政大学

*3 甲子園大学

佐々木貴正, 岩田剛敏^{*1}, 五十君静信^{*2}, 朝倉宏: 採卵鶏農場における薬剤耐性カンピロバクター保有状況. 第162回日本獣医学会学術総会 (2019.9.11)

*1 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

*2 東京農業大学

Asakura H, Sakata J^{*1}, Akase S^{*2}, Yamamoto S, Kawase J^{*3}: Distribution and phylogenetic diversity of *Campylobacter jejuni* HS:19 in Japan.

The 33rd Annual Meeting of Japanese Society of Microbial Ecology (2019.9.12)

*1 Osaka Prefectural Institute of Public Health

*2 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

*3 Shimane Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science

山本詩織, 朝倉宏: 鶏肉におけるカルバペネム耐性菌汚染実態及び *Stenotrophomonas maltophilia* 分離株のゲノム特性.

日本微生物生態学会第33回大会 (2019.9.12)

佐々木貴正, 朝倉宏: 食鳥工程における「とたい」のカンピロバクター汚染菌量の変化.

第12回日本カンピロバクター研究会総会 (2019.9.26)

熊谷優子^{*}, 窪田邦宏, 朝倉宏: カンピロバクター食中毒の食品寄与率に関する研究.

第12回日本カンピロバクター研究会総会 (2019.9.26)

* 和洋女子大学

朝倉宏: と鳥, 食鳥肉からのカンピロバクター試験法.

第12回日本カンピロバクター研究会総会 (2019.9.27)

佐々木貴正, 岩田剛敏^{*}, 上間匡, 朝倉宏: 牛胆嚢内胆汁の腸内細菌科菌群及びカンピロバクター保有状況.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

* (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

山本詩織, 朝倉宏: 低温加熱調理を通じた鶏肉における微生物汚染低減効果に関する検討.

日本食品衛生学会第115回学術講演会 (2019.10.3)

國吉杏子, 大城直雅, 佐野友春^{*1}, 木村圭介^{*2}, 朝倉宏, 安元健^{*3}: シガトキシン混合標準溶液と魚肉標準物質の作製.

日本食品衛生学会第115回学術講演会 (2019.10.3)

^{*1} 国立環境研究所

^{*2} 東京都健康安全研究センター

^{*3} (一財) 日本食品分析センター

伊藤史織, 國吉杏子, 大野裕美, 岩屋あまね^{*1}, 佐久川さつき^{*2}, 小島尚^{*3}, 円谷健^{*4}, 平間正博^{*4}, 安元健^{*5}, 大城直雅, 朝倉宏: ELISAによるシガトキシンの検出.

日本食品衛生学会第115回学術講演会 (2019.10.3)

^{*1} 鹿児島県環境保健センター

^{*2} 沖縄県衛生環境研究所

^{*3} 帝京科学大学

^{*4} 大阪府立大学大学院

^{*5} (一財) 日本食品分析センター

永江美香^{*}, 五十嵐友二^{*}, 横関俊昭^{*}, 水越一史^{*}, 藤田和弘^{*}, 國吉杏子, 大城直雅, 安元健^{*}: LC-MS/MSによるシガトキシン分析法の妥当性検討.

日本食品衛生学会第115回学術講演会 (2019.10.4)

^{*} (一財) 日本食品分析センター

斎藤博之^{*}, 秋野和華子^{*}, 野田衛, 上間匡: 食品中のノロウイルス検出に用いるパンソルビンの品質管理と内部標準部室導入による回収率の評価.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.4)

^{*} 秋田県健康環境センター

佐々木貴正, 百瀬愛佳, 朝倉宏: 肉用鶏群及び市販鶏肉のサルモネラ汚染状況と薬剤耐性.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.28)

岡田由美子, 荻原博和^{*1}, 菊川佳穂^{*1}, 鈴木穂高^{*2}, 百瀬愛佳: ISO22964:2017を用いた牛由来検体からのクロノバクター属菌の検出.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.28)

^{*1} 日本大学

^{*2} 茨城大学

高木弘隆^{*1}, 齊藤博行^{*2}, 野田衛, 上間匡: ウイルス不活性化評価手法の策定に向けた検討(3) - 代替CA6株間の消毒剤感受差とその他の留意点.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.28)

^{*1} 国立感染症研究所

^{*2} 秋田県健康環境センター

渡部百合^{*}, 関口幸恵^{*}, 内田和之^{*}, 朝倉宏: 自動生菌数測定装置TEMPOを用いた*Campylobacter*定量法とmCCDA培地との比較.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.28)

^{*} ビオメリュー・ジャパン

山本詩織, 中山達哉, 朝倉宏: 市販猪肉由来大腸菌の薬剤耐性汚染実態と分離株の遺伝特性について.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.29)

中山達哉, 山本詩織, 朝倉宏, 村上覚史^{*}, 鳥居恭司^{*}: 鶏の生産段階におけるカンピロバクター動態解析.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.29)

^{*} 東京農業大学

朝倉宏, 伊澤和輝^{*1}, 山本詩織, 川瀬遵^{*2}, 清水秀樹^{*3}, 青木佳代^{*4}, 杉山広^{*5}, 壁谷英則^{*6}, 小西良子^{*7}, 高井伸二^{*8}: シカ腸内細菌叢は亜種間で異なるか?

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.29)

^{*1} 東京工業大学

^{*2} 島根県保健環境科学研究所

^{*3} 山梨県峡南保健所

^{*4} 滋賀県衛生科学センター

^{*5} 国立感染症研究所

^{*6} 日本大学

^{*7} 麻布大学

^{*8} 北里大学

中村寛海^{*1}, 野本竜平^{*2}, 山本香織^{*1}, 朝倉宏, 梅田薫^{*1}, 小笠原準^{*1}: 大阪市内の食中毒患者から分離された*Campylobacter jejuni*の分子疫学解析.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.29)

^{*1} 大阪健康安全基盤研究所

^{*2} 神戸市環境保健研究所

新井沙倉, 大塚佳代子^{*1}, 小西典子^{*2}, 長岡宏美^{*3}, 大屋賢司, 工藤由起子: 鶏肉からの*Escherichia albertii*分離法の開発.

第92回日本細菌学会総会 (2019.4.23)

^{*1} 埼玉県衛生研究所

^{*2} 東京都健康安全研究センター

^{*3} 静岡県環境衛生科学研究所

林克彦^{*1}, 三澤隆史, 後藤千尋^{*2}, 出水庸介, 工藤由起子, 菊池裕: バイオフィルム測定による*Mycoplasma pneumoniae*に対する抗菌成分のスクリーニング系の構築.

日本マイコプラズマ学会第46回学術集会 (2019.5.24)

^{*1} (国研) 日本医療研究開発機構

^{*2} 横浜市立大学

Hara-Kudo Y, Konishi N^{*1}, Obata H^{*1}, Kai A^{*1}, Ohtsuka K^{*2}, Terajima J^{*2}: Major Vehicles and O-Serogroups in Foodborne Enterotoxigenic *Escherichia coli* Outbreaks in Japan and Effective Detection Methods for Food.

UJNR Joint Panel on Toxic Microorganisms 53rd Annual Meeting (2019.6.11)

^{*1} Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

^{*2} Saitama Institute of Public Health

^{*3} Iwate University

Watanabe M, Sato K^{*1}, Yoshinari T, Kubosaki A, Kobayashi N^{*2}, Takahashi H, Takatori K^{*3}, Sugita-Konishi Y^{*2}, Hara-Kudo Y: Detection based on non-cultural technique for sterigmatocystin-producers of *Aspergillus* section *Versicolores* from grains.

UJNR Joint Panel on Toxic Microorganisms 53rd Annual Meeting (2019.6.11)

^{*1} Tokyo College of Biotechnology

^{*2} Azabu University

^{*3} NPO Center for Fungal Consultation

釣木澤尚実^{*1,2}, 押方智也子^{*1,2}, 石田正嗣^{*3}, 小林誠一^{*3}, 鎌田洋一^{*4}, 栗山進一^{*5}, 金子猛^{*2}, 矢内勝^{*3}, 渡辺麻衣子: 宮城県3市町村の小児の寝具ダニアレルゲン量真菌叢の地域性の検証.

第50回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会

(2019.7.14)

^{*1} 平塚市民病院

^{*2} 横浜市立大学大学院医学研究科

^{*3} 石巻赤十字病院

^{*4} 甲子園大学

^{*5} 東北大学災害科学国際研究所

押方智也子^{*1,2}, 渡辺麻衣子, 栗山進一^{*3}, 鎌田洋一^{*4}, 金子猛^{*2}, 矢内勝^{*5}, 呉繁夫^{*6}, 釣木澤尚実^{*1,2}: 宮城県3市町村の小学生を対象としたアレルギー疾患期間有症率と寝具ダニアレルゲン量の解析.

第50回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会 (2019.7.6)

^{*1} 平塚市民病院

^{*2} 横浜市立大学大学院医学研究科

^{*3} 東北大学災害科学国際研究所

^{*4} 甲子園大学

^{*5} 石巻赤十字病院

^{*6} 東北大学大学院医学系研究科

小池義浩^{*}, 渡辺麻衣子, 清水公德^{*}, 大西貴弘, 工藤由起子, 吉成知也: アルカリ処理法によるトウモロコシ加工品中のモディファイドフモニシン量の推定に関する研究.

第84回日本マイコトキシン学会学術講演会 (2019.8.23)

^{*} 東京理科大学

岡野巧^{*1}, 伊澤一輝^{*2}, 吉成知也, 小林直樹^{*1}, 小西良子^{*1}: *Penicillium citreonigrum*におけるCTV生合成関連候補遺伝子の発現解析.

第84回日本マイコトキシン学会学術講演会 (2019.8.23)

^{*1} 麻布大学

^{*2} 東京工業大学

林克彦, 渡辺愛弓^{*1}, 門脇成武^{*1}, 湯之前雄太^{*2}, 中川香奈子, 豊田淑江^{*3}, 鈴木俊宏^{*1}, 清水則夫^{*2}, 工藤由起子, 菊池裕: 核酸増幅法によるマイコプラズマ否定試験に必要な参照菌種としての*Mycoplasma arginini* NBRC 111899の応用可能性に関する研究.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

^{*1} 明治薬科大学

*² 東京医科歯科大学再生医療研究センター

*³ 日本薬科大学

Ohnishi T : *Kudoa septempunctata* – Separation, Purification, Preservation –
2019 Korea-Japan Myxosporean Symposium (2019.9.25)

吉成知也, 小杉正樹^{*1}, 佐藤英子^{*2}, 下山晃^{*3}, 竹内浩^{*4}, 谷口賢^{*5}, 藤吉智治^{*6}, 脇ますみ^{*7}, 大西貴弘, 工藤由起子, 小西良子^{*8}: 食品中のステリグマトシスチンの分析法の検討及び汚染実態調査.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

*¹ (一財) 日本食品分析センター

*² 川崎市健康安全研究所

*³ (一財) 日本食品検査

*⁴ 三重県保健環境研究所

*⁵ 名古屋市衛生研究所

*⁶ (一財) 食品分析開発センターSUNATEC

*⁷ 神奈川県衛生研究所

*⁸ 麻布大学

新井沙倉, 大塚佳代子^{*1}, 小西典子^{*2}, 床井由紀^{*3}, 土屋彰彦^{*4}, 小嶋由香^{*5}, 長岡宏美^{*6}, 大屋賢司, 甲斐明美^{*7}, 工藤由起子: 鶏肉からの*Escherichia albertii* 検出法のためのnested PCRの検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*² 東京都健康安全研究センター

*³ 宇都宮市衛生環境試験所

*⁴ さいたま市健康科学研究センター

*⁵ 川崎市健康安全研究所

*⁶ 静岡県環境衛生科学研究所

*⁷ (公社) 日本食品衛生協会

Bui Thi Hien^{*}, 池内隼佑^{*}, 工藤由起子, 林谷秀樹^{*}: 病原性*Yersinia*のMultiplex PCRによる迅速検出法の開発.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.28)

* 東京農工大学

小池義浩^{*1}, 吉成知也, 須賀晴久^{*2}, 中川博之^{*3}, 清水公德^{*1}, 高橋治男, 工藤由起子, 渡辺麻衣子: 国内の農作物におけるフモニシン産生性 *Fusarium* 属菌の分布状況に関する検討.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.28)

*¹ 東京理科大学大学院

*² 岐阜大学

*³ 農研機構食品研究部門

大西貴弘, 古屋晶美^{*}, 新井沙倉, 吉成知也, 後藤慶一^{*}, 工藤由起子: *Kudoa septempunctata*に対する駆虫効果を有する薬剤の網羅的探索.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.28)

* 東海大学

新井沙倉, 大塚佳代子^{*1}, 小西典子^{*2}, 望月瑞葉^{*3}, 永井祐樹^{*4}, 原田誠也^{*5}, 大屋賢司, 甲斐明美^{*6}, 工藤由起子: 鶏肉での*Escherichia albertii* 検出法の検討および汚染実態.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.29)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*² 東京都健康安全研究センター

*³ 静岡市環境保健研究所

*⁴ 三重県保健環境研究所

*⁵ 熊本県保健環境科学研究所

*⁶ (公社) 日本食品衛生協会

大屋賢司, 新井沙倉, 工藤由起子: 食品由来サルモネラ属菌の主要血清型でのMLST解析.

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.28)

佐藤悠人^{*1}, 渡辺麻衣子, 橋本一浩^{*2}, 小林直樹^{*1}, 小沼ルミ^{*3}, 川上裕司^{*2}, 伊澤和輝^{*4}, 長谷川兼一^{*5}, 小西良子^{*1}, 工藤由起子, 山崎朗子^{*6}, 鎌田洋一^{*7}, 伊香賀俊治^{*8}: 室内換気量とアレルゲン量の関係性にする研究.

2019年室内環境学会学術大会 (2019.12.5)

*¹ 麻布大学

*² エフシージー総合研究所

*³ 東京都立産業技術研究センター

*⁴ 東京工業大学

*⁵ 秋田県立大学

*⁶ 岩手大学

*⁷ 甲子園大学

*⁸ 慶應義塾大学

渡辺麻衣子, 吉住あゆみ^{*1}, 工藤由起子, 館田一博^{*1}, 関東裕美^{*1,2}: エスティックサロン営業施設の微生物分

布調査.

2019年室内環境学会学術大会 (2019.12.5)

*¹ 東邦大学

*² 日本エステティック研究財団

工藤由起子, 都丸亜希子, 新井沙倉, 大屋賢司, 大西貴弘, 吉成知也: *Photobacterium damsela*の魚肉での増殖とヒスタミン生成の評価.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

吉成知也, 大西貴弘, 工藤由起子: トウモロコシ加工品中のモディファイドフモニシンの測定法に関する研究.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

林克彦, 湯之前雄太*¹, 大谷梓*², 松村佳代子*³, 中尾亮介*³, 毛利聡里*³, 古田美玲, 小原有弘*², 河合充生*³, 内田恵理子, 清水則夫*¹, 伊豆津健一, 工藤由起子, 菊池裕*⁴: 日本薬局方参考情報に記載のマイコプラズマ否定試験・核酸増幅法に使用されるNBRC参照菌種に関する多施設間比較.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

*¹ 東京医科歯科大学再生医療研究センター

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所培養資源研究室

*³ (一財) 日本食品分析センター

*⁴ 千葉県立保険医療大学

松山桃子*¹, 松井宏介*¹, 小豆畑隼*², 中嶋佑一*¹, 吉成知也, 小林哲夫*¹, 相川俊一*², 安藤直子*², 木村真*¹: A-ringに水酸基を有するトリコテセンの不思議な反応.

第85回日本マイコトキシン学会学術講演会 (2020.1.10)

*¹ 名古屋大学

*² 東洋大学

前田一行*¹, 小豆畑隼*², 松井宏介*³, 中嶋佑一*³, 吉成知也, 安藤直子*², 木村真*³, 大里修一*¹: 赤かび病菌のトリコテセン水酸化酵素Trilp機能改変株を用いた産生かび毒の解析.

第85回日本マイコトキシン学会学術講演会 (2020.1.10)

*¹ 明治大学

*² 東洋大学

*³ 名古屋大学

新井沙倉, 大塚佳代子*¹, 小西典子*², 大屋賢司, 工藤

由起子: 鶏肉における*Escherichia albertii*検出のためのPCR法の検討.

第93回日本細菌学会総会 (2020.2.19)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*² 東京都健康安全研究センター

奥輝明*¹, 安藤祐介*¹, 人見祐基*¹, 築地信*¹, 亀井淳三*¹, 林克彦, 菊池裕*², 工藤由起子, 伊豆津健一, 辻勉*^{1,3}: ヒト由来細胞を利用した新規発熱性物質試験法の開発.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

*¹ 星薬科大学

*² 千葉県立保険医療大学

*³ 城西大学

林克彦, 湯之前雄太*¹, 酒井瑤実*², 遠藤晴香*², 永嶋玲美*², 渡辺愛弓*², 門脇成武*², 大谷梓*³, 豊田淑江*⁴, 松村佳代子*⁵, 中尾亮介*⁵, 毛利聡里*⁵, 古田美玲, 清水則夫*¹, 鈴木俊宏*², 小原有弘*³, 河合充生*⁵, 内田恵理子, 伊豆津健一, 菊池裕, 工藤由起子: 第十七改正日本薬局方マイコプラズマ否定試験核酸増幅法 (NAT) に用いるマイコプラズマ参照品の調製法及び検出感度に関する研究.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

*¹ 東京医科歯科大学再生医療研究センター

*² 明治薬科大学

*³ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所培養資源研究室

*⁴ 日本薬科大学

*⁵ (一財) 日本食品分析センター

出水庸介: 二次構造制御を基盤としたペプチド創薬研究.

有機合成化学協会九州山口支部講演会「合成有機化学のフロンティア」(2019.5.24)

出水庸介: 「潜在的発がんリスクを低減するための医薬品中DNA反応性 (変異原性) 不純物の評価及び管理」に対する補遺.

第40回ICH即時報告会 (2019.7.17)

出水庸介: 創薬研究および違法薬物の規制におけるインシリコ技術の活用.

MOEフォーラム2019 (2019.7.24)

出水庸介：中分子ペプチド医薬品の開発効率化に資するレギュラトリーサイエンス研究。

2019年度衛研シンポジウム－薬品・医療機器分野における品質・安全性評価法の最前線－（2019.7.30）

出水庸介：非天然型アミノ酸の開発と含有ペプチドの二次構造制御。

CMC+AndTech FORUM特殊ペプチドの合成技術と創薬の最新動向（2019.9.4）

津田萌菜^{*}，正田卓司，井上英史^{*}，出水庸介：長鎖アルキル基を有するエストロゲン受容体分解誘導剤のERサブタイプ選択性に関する検討。

日本薬学会第140年会（2020.3.27）

^{*} 東京薬科大学生命科学部

正田卓司，大岡伸通，辻巖一郎，井上英史^{*}，内藤幹彦，出水庸介：疎水性タグを利用した標的タンパク質分解誘導剤によるE3リガーゼ依存／非依存タンパク質分解に関する検討。

日本薬学会第140年会（2020.3.26）

^{*} 東京薬科大学生命科学部

三澤隆史，出水庸介：NMRフィンガープリント法を用いたペプチド医薬品の立体構造解析。

日本薬学会第140年会（2020.3.26）

辻巖一郎，三澤隆史，正田卓司，河村麻衣子，花尻（木倉）瑠理，袴塚高志，出水庸介：分析用標品確保のためのフェンタニル構造類似化合物の合成研究。

日本薬学会第140年会（2020.3.28）

池田健太郎^{*}，柳瀬雄太^{*}，辻巖一郎，林克彦，菊池裕，工藤由起子，出水庸介：アミン骨格を利用した環状ジヌクレオチド誘導体の合成とバイオフィルム形成阻害評価。

日本薬学会第140年会（2020.3.27）

^{*} 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

横尾英知，大岡伸通，内藤幹彦，出水庸介：核内受容体分解誘導ペプチドの創製。

日本薬学会第140回年会（2020.3.26）

平野元春^{*1}，後藤千尋^{*2}，林克彦，菊池裕^{*3}，三澤隆史，工藤由起子，出水庸介：ステーブル構造を持つ抗菌ペプ

チドフォルダマーの開発。

日本薬学会第140年会（2020.3.26）

^{*1} 日本大学生物資源科学部生命化学科

^{*2} 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

^{*3} 千葉県立保健医療大学

照井龍晟^{*}，三澤隆史，須原義智^{*}，出水庸介：新規TGR5リガンドの開発。

日本薬学会第140年会（2020.3.26）

^{*} 芝浦工業大学システム理工学部

水石彩葉^{*1}，斎藤智亜季^{*1}，目黒公太郎^{*1}，植松明星^{*1}，原島利彰^{*1}，林宏典^{*2}，児玉栄一^{*2}，三澤隆史，出水庸介，栗原正明^{*1}，紺野奇重^{*1}：Carbocyclic-2'-deoxynucleosideの合成研究

－carbocyclic-2'-deoxy-7-deazaadenosineの合成－。

日本薬学会第140年会（2020.3.27）

^{*1} 国際医療福祉大学薬学部

^{*2} 東北大学大学院医学系研究科

斎藤智亜季^{*1}，水石彩葉^{*1}，目黒公太郎^{*1}，植松明星^{*1}，原島利彰^{*1}，林宏典^{*2}，児玉栄一^{*2}，三澤隆史，出水庸介，栗原正明^{*1}，紺野奇重^{*1}：Carbocyclic-2'-deoxynucleosideの合成研究

－carbocyclic-2'-deoxyuridineの合成－。

日本薬学会第140年会（2020.3.27）

^{*1} 国際医療福祉大学薬学部

^{*2} 東北大学大学院医学系研究科

馬庭愛加^{*}，辻巖一郎，内山奈穂子，細江潤子，大槻崇，松藤寛，合田幸広，出水庸介：国際調和に向けた日本薬局方の医薬品各条における試験法の改訂に関する研究。

日本薬学会第140年会（2020.3.27）

^{*} 日本大学生物資源科学部食品生命学科

根本可南子^{*}，辻巖一郎，大岡伸通，内藤幹彦，出水庸介：LXRを標的とした分解誘導剤の開発：日本薬学会第140年会（2020.3.27）

^{*} 日本大学生物資源科学部生命化学科

柳瀬雄太^{*}，池田健太郎^{*}，辻巖一郎，柴田識人，内藤

幹彦, 出水庸介: STINGを標的としたCDN誘導体の設計と合成.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

* 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

木村康明^{*1}, 中本航介^{*1}, 辻巖一郎, 友池史明^{*1}, 原田兼司^{*2}, 山本潤一郎^{*2}, 篠原史一^{*2}, 阿部洋^{*1}: mRNA医薬合成を指向したRNAケミカルライゲーション.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

^{*1} 名古屋大学大学院物質理学専攻化学系

^{*2} 協和発酵キリン

辻巖一郎, 三澤隆史, 河村麻衣子, 花尻(木倉)瑠理, 袴塚高志, 出水庸介: フェンタニル類似化合物の化学合成に関する研究.

第56回全国衛生科学技術協議会年会 (2019.12.6)

三澤隆史, 大岡伸通, 大庭誠^{*}, 田中正一^{*}, 内藤幹彦, 出水庸介: 両親媒性細胞膜透過性フォルダマーの開発とDDSキャリアへの応用.

第37回メディシナルケミストリーシンポジウム (2019.11.28)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

後藤千尋^{*1}, 平野元春^{*2}, 林克彦, 菊池裕^{*3}, 三澤隆史, 工藤由起子, 出水庸介: マガイニン2配列を基にした安定化ヘリカルペプチドの開発.

第37回メディシナルケミストリーシンポジウム (2019.11.27)

^{*1} 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

^{*2} 日本大学生物資源科学部生命化学科

^{*3} 千葉県立保健医療大学

永沼美弥子^{*1}, 三澤隆史, 辻巖一郎, 横尾英知^{*2}, 松野研司^{*1}, 出水庸介: 芳香族/複素環骨格を有するエストロゲン受容体調整薬の創製.

第37回メディシナルケミストリーシンポジウム (2019.11.28)

^{*1} 工学院大学

^{*2} 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

池田健太郎^{*1}, 柳瀬雄太, 辻巖一郎, 林克彦, 菊池裕^{*2}, 工藤由起子, 出水庸介: 芳香族/複素環骨格を有するエストロゲン受容体調整薬の創製.

第37回メディシナルケミストリーシンポジウム (2019.11.27)

^{*1} 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

^{*2} 千葉県立保健医療大学栄養学科

水野美麗^{*}, 森一憲^{*}, 三澤隆史, 高木孝士^{*}, 出水庸介, 柴沼質子^{*}, 福原潔^{*}: アミロイドβを創薬標的としたシリビニン誘導体の開発.

第37回メディシナルケミストリーシンポジウム (2019.11.28)

* 昭和大学

柳瀬雄太^{*}, 池田健太郎^{*}, 辻巖一郎, 林克彦, 菊池裕, 工藤由起子, 出水庸介: アミン構造を基盤とした環状ジスクレオチド等価体の創製.

第45回反応と合成の進歩シンポジウム (2019.10.28)

* 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

森谷俊介^{*1}, 柴崎初音^{*1}, 桑田啓子^{*2}, 今村保忠^{*3}, 出水庸介, 栗原正明^{*4}, 橘高敦史^{*1}, 杉山亨^{*1}: 7-Aminomethyl-7-deazaguanineをもつPNAオリゴマー.

第45回反応と合成の進歩シンポジウム (2019.10.29)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 名古屋大学ITbM

^{*3} 工学院大学

^{*4} 国際医療大学薬学部

森谷俊介^{*1}, 笹祐子^{*1}, 桑田啓子^{*2}, 今村保忠^{*3}, 出水庸介, 栗原正明^{*4}, 橘高敦史^{*1}, 杉山亨^{*1}: An approach toward visual detection of single nucleotide polymorphism using pseudocomplementary peptide nucleic acid.

第56回ペプチド討論会 (2019.10.25)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 名古屋大学ITbM

^{*3} 工学院大学

^{*4} 国際医療大学薬学部

三澤隆史, 大岡伸通, 大庭誠^{*}, 田中正一^{*}, 内藤幹彦, 出水庸介: Development of cell-penetrating foldamers for delivery of biomolecules.

第56回ペプチド討論会 (2019.10.23)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

平野元春^{*1}, 後藤千尋^{*2}, 林克彦, 菊池裕^{*3}, 三澤隆史, 工藤由起子, 出水庸介: ヘリカル構造制御に基づく抗菌ペプチドフォルダマーの開発.

第63回日本関東支部大会 (2019.9.14)

^{*1} 日本大学生物資源科学部生命化学科

^{*2} 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

^{*3} 千葉県立保健医療大学栄養学科

三澤隆史, 大岡伸通, 後藤千尋^{*1}, 大庭誠^{*2}, 田中正一^{*2}, 内藤幹彦, 出水庸介: 生体高分子を細胞内に導入するキャリアペプチドの開発.

第63回日本関東支部大会 (2019.9.14)

^{*1} 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

^{*2} 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

池田健太郎*, 柳瀬雄太*, 辻巖一郎, 林克彦, 菊池裕, 出水庸介: アミン骨格を基盤とした環状ジヌクレオチド等価体の合成とバイオフィルム形成阻害能の評価.

第63回日本薬学会関東支部大会 (2019.9.14)

* 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

永沼美弥子*, 横尾英知, 三澤隆史, 松野研司*, 辻巖一郎, 出水庸介: 芳香族複素環を有するエストロゲン受容体アンタゴニストの構造活性相関研究.

第63回日本薬学会関東支部大会 (2019.9.14)

* 工学院大学

後藤千尋^{*1}, 平野元春^{*2}, 林克彦, 三澤隆史, 菊池裕^{*3}, 工藤由起子, 出水庸介.

強い抗菌活性を示す両親媒性ペプチドフォルダマーの開発.

第13回バイオ関連化学シンポジウム (2019.9.4)

^{*1} 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

^{*2} 日本大学生物資源科学部生命化学科

^{*3} 千葉県立保健医療大学

三澤隆史, 大岡伸通, 大庭誠*, 田中正一*, 内藤幹彦, 出水庸介: 細胞膜透過性フォルダマーの開発とDDSキャリアへの応用.

の開発.

第13回バイオ関連化学シンポジウム (2019.9.4)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

辻巖一郎, 三澤隆史, 河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志, 出水庸介: 分析用標品確保のためのフェンタニル構造類似化合物の合成に関する研究.

日本法中毒学会第38年会 (2019.7.26)

三澤隆史, 大岡伸通, 後藤千尋^{*1}, 大庭誠^{*2}, 田中正一^{*2}, 内藤幹彦, 出水庸介: 生体高分子を細胞内に効率的に輸送するキャリアペプチドの開発.

第35回DDS学会 (2019.7.5)

^{*1} 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

^{*2} 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

木村康明^{*1}, 中本航介^{*1}, 辻巖一郎, 友池史明^{*1}, 原田兼司^{*2}, 山本潤一郎^{*2}, 篠原史一^{*2}, 阿部洋^{*1}: mRNA医薬合成を指向したRNAケミカルライゲーション.

日本核酸医薬学会第5回年会 (2019.7.10)

^{*1} 名古屋大学大学院物質理学専攻化学系

^{*2} 協和発酵キリン

三澤隆史, 大岡伸通, 後藤千尋^{*1}, 大庭誠^{*2}, 田中正一^{*2}, 内藤幹彦, 出水庸介: 生体高分子を効率的に細胞内へ輸送する細胞膜高透過性フォルダマーの開発.

第14回ケミカルバイオロジー学会年会 (2019.6.10)

^{*1} 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

^{*2} 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

Tsuji G, Naganuma M*, Yokoo H, Misawa T, Matsuno K*, Demizu Y: Design and synthesis of 4-(2-pyrrolyl)-4-phenylheptane derivatives as estrogen receptor ligands.

17th Annual Discovery on TARGET (2019.9.17)

* Kogakuin University

Misawa T, Ohoka N, Oba M*, Tanaka M*, Naito M, Demizu Y: Development of helix-stabilized amphipathic cell penetrating peptides for siRNA delivery.

European symposium on Organic chemistry (2019.7.15)

* Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences

Demizu Y, Goto C*, Misawa T, Tsuji G: Peptide foldamers in drug discovery.

26th American Peptide Symposium (2019.6.23)

* Yokohama City University Graduate School of Medical Life Science

Oba M*, Furukawa K*, Nonaka H*, Demizu Y, Tanaka M*: Development of peptide foldamers changing their secondary structures in response to the environmental milieu.

26th American Peptide Symposium (2019.6.23)

* Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences

Tsuji G, Misawa T, Demizu Y: Peptide Foldamers in Drug Discovery.

The 27th French-Japanese Symposium on Medicinal and Fine Chemistry 2019 (2019.5.20)

山田崇裕*¹, 蜂須賀暁子, 曾我慶介, 八戸真弓*²: 非破壊式食品放射能測定装置を用いた食品中の放射性物質測定手法の評価.

第56回アイソトープ・放射線研究発表会 (2019.7.4)

*¹ 近畿大学

*² (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

曾我慶介, 近藤一成, 蜂須賀暁子: 食品中の天然放射性核種ポロニウム210分析法の評価. フォーラム2019衛生薬学・環境トキシコロジー (2019.8.31)

Yamada T*¹, Hachisuka A, Soga K, Hachinohe T*²: Adaptability evaluation of the food screening without destructive sample preparation to ISO 19581.

ENVIRA 2019 (2019.9.12)

*¹ Kindai University

*² National Agriculture and Food Research Organization

Hachinohe T*¹, Yamada T*², Hachisuka A, Soga K: Localization of radioactivity in dried shiitake mushrooms (*Lentinula edodes*).

ENVIRA 2019 (2019.9.12)

*¹ National Agriculture and Food Research Organization

*² Kindai University

Hosono M*¹, Yamada T*¹, Oriuchi N*², Ukon N*², K. Nagatsu K*³, Ito T*¹, Yamanishi H*¹, Matsuda T*¹, A. Hachisuka A, Nakamura Y*⁴: Construction of Safety Standards for Short-half-life Alpha Emitters by Grant of Nuclear Regulatory Agency of Japan.

EANM2019 (2019.10.16)

*¹ Kindai University

*² Fukushima Medical University

*³ National Institute of Radiological Sciences

*⁴ Japan Radioisotope Association

高畠令王奈*¹, 鍵屋ゆかり*¹, 峯岸恭孝*², 布藤聡*³, 曾我慶介, 中村公亮, 近藤一成, 真野潤一*¹, 橘田和美*¹: 核酸クロマトを用いた簡易迅速GM検知法の開発. 日本食品化学学会 第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

*¹ (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

*² ニッポンジーン

*³ FASMAC

中村公亮, 大森清美*¹, 木俣真弥, 曾我慶介, 岸根雅弘*², 高畠令王奈*², 真野潤一*², 橘田和美*², 近藤一成: 亜硫酸塩が添加されたパパイヤとトマトドライフルーツ中のDNA検出に関する実態調査.

日本食品化学学会 第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

*¹ 神奈川県衛生研究所

*² (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

曾我慶介, 中村公亮, 岸根雅宏*¹, 真野潤一*¹, 高畠令王奈*¹, 橘田和美*¹, 近藤一成: 多機関コラボレーション試験結果の統計分析に基づく遺伝子組換えとうもろこし検知法の検出限界評価.

日本食品衛生学会第115回学術講演会 (2019.10.3)

* (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

成島純平, 中村公亮, 木俣真弥, 曾我慶介, 菅野陽平*¹, 岸根雅宏*², 高畠令王奈*², 真野潤一*², 橘田和美*², 金丸俊介*³, 白川七海*³, 近藤一成: コメ由来遺伝子の高精度検査を可能にする簡易法の開発.

日本食品衛生学会第115回学術講演会 (2019.10.3)

*¹ 北海道立衛生研究所

*² (独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

*³ 日本海事検定協会

成島純平, 中村公亮, 木俣真弥, 曾我慶介, 真野潤一*, 高島令王奈*, 橘田和美*, 近藤一成: 安全性未審査グリホサート除草剤耐性遺伝子組換えコムギの国内への流入を未然に防止するための検査法の確立.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.11.22)

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

曾我慶介, 中村公亮, 岸根雅宏*, 真野潤一*, 高島令王奈*, 橘田和美*, 近藤一成: 新たな食品表示制度「遺伝子組換えでない」表示が認められる検出限界濃度を評価するためのコラボレーション試験.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

大森清美*, 成島純平, 木俣真弥, 曾我慶介, 近藤一成, 中村公亮: 遺伝子組換えパパイアおよびトマトの検出を目的としたドライフルーツ中の内在性遺伝子検出に関する実態調査.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

* 神奈川県衛生研究所

成島純平, 中村公亮, 木俣真弥, 志波優, 秋本智, 曾我慶介, 権藤崇裕*, 明石良*, 近藤一成: 2017年中に発表されたゲノム編集イネのオフターゲット効果に関する評価.

日本農芸化学会 (2020.3.25)

* 宮崎大学

中村公亮, 木俣真弥, 成島純平, 志波優^{*1}, 秋本智, 曾我慶介, 権藤崇裕^{*2}, 明石良^{*2}, 近藤一成: ゲノム編集生物に残留する意図せざるDNA切断の予測・検出法の評価. 日本薬学会 第140年会 (2020.3.25)

*¹ 東京農業大学

*² 宮崎大学

荻野哲也^{*1}, 岸本謙太^{*1}, 鷲尾洋平^{*2}, 家戸敬太郎^{*2}, 吉浦康寿^{*3}, 為広紀正, 近藤一成, 木下政人^{*1}: ゲノム編集養殖魚の食品安全性評価 - 新生ペプチドのアレルゲン性の評価 -.

第4回日本ゲノム編集学会大会 (2019.6.3)

*¹ 京都大学

*² 近畿大学

*³ (独) 水産研究・教育機構

為広紀正, 安達玲子, 廣實慶彦*, 近藤一成: マスト細胞機能制御における分子機構の解析.

第68回日本アレルギー学会学術大会 (2019.6.14)

* 武田薬品工業 (株)

安達玲子, 為広紀正, 木村美恵, 曹永晩, 水田保子, 小川久美子, 近藤一成: 酸化亜鉛ナノマテリアルの抗原経皮感作への効果及び急性毒性における粒子径の影響.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

荻野哲也^{*1}, 岸本謙太^{*1}, 鷲尾洋平^{*2}, 家戸敬太郎^{*2}, 吉浦康寿^{*3}, 為広紀正, 近藤一成, 木下政人^{*1}: 新生ペプチドのアレルゲン予測から評価するゲノム編集養殖魚の食品安全性.

令和元年度公益財団法人日本水産学会秋季大会 (2019.9.8)

*¹ 京都大学

*² 近畿大学

*³ (独) 水産研究・教育機構

Adachi R, Tamehiro N, Kondo K, Miyazaki A*, Watanabe S*, Hirao T*: Interlaboratory validation of real-time PCR methods for the detection of wheat, buckwheat, and peanuts in processed foods.

133rd AOAC Annual Meeting & Exposition (2019.9.9)

* House Foods Group Inc.

Watanabe S^{*1}, Miyazaki A^{*1}, Hashimoto M^{*2}, Unno H^{*2}, Yonekawa Y^{*2}, Adachi R, Hirao T^{*1}: Novel DNA reference material by bioprinting IX: Application for quality control of the qualitative real-time PCR method for food allergens.

133rd AOAC Annual Meeting & Exposition (2019.9.9)

*¹ House Foods Group Inc.

*² Ricoh Co., Ltd.

Nishimaki-Mogami T, Cui H, Soga K, Adachi R,

Tamehiro N, Hachisuka A, Kondo K, Hirose A: Discovery of an inhibitor of multiwall carbon nanotubes-stimulated IL-1 β secretion via inflammasome activation. EUROTOX 2019 (2019.9.10)

梅基直行^{*1}, 安本周平^{*2}, 濱田晴康^{*3}, 遠藤亮^{*4}, 為広紀正, 安達玲子, 近藤一成, 村中俊哉^{*2}, 斎藤和季^{*1}: ゲノム編集標的部位の選択についてペプチドのアレルゲン性評価ツールの利用.

第37回日本植物細胞分子生物学会大会 (2019.9.11)

^{*1} 理化学研究所

^{*2} 大阪大学

^{*3} (株) カネカ

^{*4} 農業・食品産業技術総合研究機構

Ohoka N, Cui H, Tamehiro H, Adachi R, Okuhira K, Naito M, Kondo K, Nishimaki-Mogami T: Identification of a sterol-responsive distal enhancer element for liver-specific ABCA1 gene expression – a novel mechanism for sterol-responsive hepatic ABCA1 gene regulation.

HDL Workshop: Structure, novel functions, and therapeutic applications (2019.9.26)

安達玲子, 為広紀正, 宮崎明子^{*1}, 渡辺聡^{*1}, 平尾宜司^{*1}, 宮武聖子^{*2}, 山川宏人^{*2}, 近藤一成: 小麦, そば, 落花生のリアルタイムPCR定性検査法に関する特異性の詳細な検証及び妥当性確認.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.3)

^{*1} ハウス食品グループ本社 (株)

^{*2} (株) 日清製粉グループ本社

宮崎明子^{*}, 渡辺聡^{*}, 平尾宜司^{*}, 酒井信夫, 為広紀正, 安達玲子: 食物アレルゲンを含むモデル加工食品を用いたDNA抽出精製法の比較検討.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.4)

^{*} ハウス食品グループ本社 (株)

為広紀正, 安達玲子, 嘉村志帆^{*}, 良永裕子^{*}, 近藤一成: アレルゲンを含む食品の確認検査のための市販DNA抽出キットの精製効率に関する検討.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.5)

^{*} 麻布大学

Kondo K, Sakata K, Kato R: Identification of toxic plants that cause severe food poisoning using real-time PCR.

9th International Symposium on Recent Advances in Food Analysis (2019.11.6)

坂田こずえ, 加藤怜子, 近藤一成: 自然毒データベースの改定について.

第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6)

畝山智香子: 食品成分の安全性.

第6回日本薬膳学会学術総会 (2019.12.1)

畝山智香子: 福島第一原子力発電所事故後の食品中放射能についてのリスク認知は食品リスク情報の提供によって影響されるか.

日本薬学会第140年会 (2020.03.27)

渡邊敬浩, 松田りえ子, 畝山智香子: どのような結果が得られた時に1つのサンプルの結果から合理的にロットの適合を判断できるのか.

AOAC INTERNATIONAL JAPAN SECTION 第22回年次大会 (2019.7.12)

渡邊敬浩, 岩崎司^{*1}, 森曜子^{*2}, 松田りえ子, 畝山智香子: 乳製品の品質(乳脂肪分)を確認するための公的分析法の構築と性能評価.

酪農科学シンポジウム2019 (2019.8.23)

^{*1} (公財) 日本乳業技術協会

^{*2} (公財) 日本食品衛生協会

渡邊敬浩, 松田りえ子, 畝山智香子: MRL導出に対するデータ数の影響 – OECD calculatorを用いたシミュレーション.

第42回農薬残留分析研究会 (2019.11.1)

K. Kubota, H. Amanuma, M. Tamura, K. Tamai^{*1}, M. Shimojima^{*2}, S. Shibuya^{*3}, Y. Sakurai^{*4}, M. Komatsu^{*4}, F. Kasuga: Estimating the Burden of Foodborne Illness for *Campylobacter*, *Salmonella* and *Vibrio parahaemolyticus* in Japan from 2006 to 2016.

International Association for Food Protection, 2019 Annual Meeting (2019.7.22)

^{*1} Miroku Medical Laboratory, Inc., Nagano

^{*2} Bio Medical Laboratories (BML) Inc., Tokyo

*³ LSI Medience Corp., Tokyo

*⁴ Miyagi Medical Association, Miyagi

K. Kubota, M. Tamura, Y. Kumagai^{*1}, M. Imagawa^{*2}, S. Nakaji^{*2}, Y. Mizoguchi^{*3}, H. Amanuma: Food Contamination Incidence by Foreign Materials Reported in Japan, 2014 to 2016.

International Association for Food Protection, 2019 Annual Meeting (2019.7.22)

*¹ Wayo Women's University

*² Saitama City Health and Welfare Bureau, Saitama

*³ Okayama City Health Center, Okayama

田村克, 窪田邦宏, 天沼宏, 酒井真由美, 萩原恵美子, 畝山智香子: 「食品安全情報 (微生物)」に見る海外の食中毒アウトブレイク (2016~2018年).

第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.28)

谷口賢^{*1}, 南谷臣昭^{*2}, 友澤潤子^{*3}, 登田美桜: 植物性自然毒の多成分同時分析法の開発: 高等植物.

令和元年度地方衛生研究所全国協議会 (2019.12.6)

*¹ 名古屋市衛生研究所

*² 岐阜県保健環境研究所

*³ 滋賀県衛生科学センター

友澤潤子^{*1}, 谷口賢^{*2}, 南谷臣昭^{*3}, 登田美桜: 植物性自然毒の多成分同時分析法の開発: キノコ.

令和元年度地方衛生研究所全国協議会 (2019.12.6)

*¹ 滋賀県衛生科学センター

*² 名古屋市衛生研究所

*³ 岐阜県保健環境研究所

登田美桜: フグ毒リスク評価に関わる国際動向のインパクト-マウスユニットと急性参照用量-.

第46回日本毒性学会学術年会 日本中毒学会合同シンポジウム (2019.6.26)

登田美桜, 畝山智香子: いわゆる「健康食品」の制度比較.

第115回日本食品衛生学会学術講演会 (2019.10.03)

Arakawa N: Validation of drug-induced liver injury biomarkers in Japan.

PSTC Japan Safety Biomarker Conference.(2019.4.18)

Saito Y: Survey results and perspectives on analytical validation in Japan.

PSTC Japan Safety Biomarker Conference. (2019.4.18)

Sun Y, Saito K, Saito Y: Characterization of lipid profile of extracellular vesicles and lipoproteins in human serum and plasma.

Annual Meeting of International Society of Extracellular Vesicles 2019 (2019.4.25)

山川和也*, 飯島洋*, 沖山佳生, 古石誉之*, 福澤薫*, 米持悦生*: COMT賦活化における基質認識機構の理論的解析.

日本コンピュータ化学会 (SCCJ) 2019春季年会 (2009.6.7)

* 星薬科大学

Ohmae S^{*1}, Nakamura R, Akiyama H^{*2}, Ohashi-Doi K^{*1}: The validation of EXILE test for house dust mite allergy.

The 68th Annual Meeting of Japanese Society of Allergology (2019.6.14)

*¹ Torii Pharmaceutical CO., LTD.

*² Teikyo Heisei University

Nakano T^{*1}, Dissanayake E^{*1}, Inoue Y^{*2}, Yamaide F^{*1}, Nagao M^{*3}, Fujisawa T^{*3}, Nakamura R, Shimojo N^{*1}: Downregulation of hsa-let-7b expression during the escalation phase of oral immunotherapy.

The 68th Annual Meeting of Japanese Society of Allergology (2019.6.14)

*¹ Chiba University

*² Chiba Children's Hospital

*³ National Mie Hospital

秋山晴代^{*1}, 中村亮介, 櫻井大樹^{*2}, 岡本美孝^{*2}: スギ花粉症舌下免疫療法の奏効性は血清中特異的IgEの架橋能と相関する.

第68回日本アレルギー学会学術大会 (2019.6.15)

*¹ 帝京平成大学

*² 千葉大学

赤川唯*, 村田英治*, 森香奈絵*, 新田真一郎*, 中井

恵子*, 大竹誠司*, 齊藤公亮, 齋藤嘉朗: ラットを用いたマイクロサンプリング法におけるデバイスの比較検討
第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

* LSIメディエンス株式会社

Maeda M^{*1}, Tanaka R^{*1}, Aso M^{*1}, Sakamoto Y^{*1}, Song I^{*1}, Ochiai M^{*1}, Saito Y, Maekawa K, Arakawa N, Ohno Y^{*2}, Kumagai Y^{*1}: Adaptation of alanine aminotransferase elevations with therapeutic doses of acetaminophen: an exploratory study in healthy subjects.

The 14th Congress of the European Association for Clinical Pharmacology and Therapeutics (EACPT2019) (2019.7.1)

^{*1} Kitasato University

^{*2} Kihara Memorial Yokohama Foundation

齋藤嘉朗: バイオシミラーの製造販売後の有効性・安全性評価について

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会第13回学術大会 (2019.7.7)

孫雨晨, 新田真一郎*, 飯地亮太, 吉田徳幸, 井上貴雄, 細貝龍太*, 中井恵子*, 齊藤公亮, 齋藤嘉朗: 高分解能型質量分析計を用いたアンチセンス医薬品の測定法の開発.

第5回日本核酸医薬品学会 (2019.7.11)

* LSIメディエンス株式会社

Sato T^{*1}, Ching-Lan Cheng^{*2}, Heung-Woo Park^{*3}, Yea-Huei Kao Yang^{*2}, Min-Suk Yang^{*4}, Fujita M^{*1}, Imatoh T, Kumagai Y^{*5}, Tohkin M^{*6}, Saito Y, Sai K: Evaluation of Ethnic Differences in Incidence of Severe Cutaneous Adverse Reactions in East Asians.

35th International Conference on Pharmacoepidemiology & Therapeutic Risk Management (2019.8.27)

^{*1} Tokyo University of Science

^{*2} National Cheng Kung University

^{*3} Seoul National University College of Medicine

^{*4} SMG-SNU Boramae Medical Center

^{*5} Kitasato University

^{*6} Nagoya City University

齋藤嘉朗, 中村亮介, 今任拓也, 荒川憲昭, 塚越絵里, JSAR Research Group, 佐井君江: 重篤副作用発症と関連するHLAマーカー研究の進捗.

第26回日本免疫毒性学会学術年会 (2019.9.9)

荒川憲昭, 齋藤嘉朗: 日本人におけるGLDHの有用性の評価.

第59回日本臨床化学会年次学術集会 (2019.9.27)

Sai K, Sato T^{*1}, Ching-Lan Cheng^{*2}, Heung-Woo Park^{*3}, Yea-Huei Kao Yang^{*2}, Min-Suk Yang^{*4}, Fujita M^{*1}, Imatoh T, Kumagai Y^{*5}, Tohkin M^{*6}, Saito Y: Population differences in incidence of allopurinol-related severe cutaneous adverse reactions in East Asians.

ISPE's 12th Asian Conference on Pharmacoepidemiology and 25th Japanese Conference on Pharmacoepidemiology joint meeting (2019.10.13)

^{*1} Tokyo University of Science

^{*2} National Cheng Kung University

^{*3} Seoul National University College of Medicine

^{*4} SMG-SNU Boramae Medical Center

^{*5} Kitasato University

^{*6} Nagoya City University

Sun Y, Nitta S*, Iiji R, Yoshida T, Inoue T, Hosogai R*, Nakai K*, Saito K, Saito Y: Development of a sensitive LC-HRMS-based bioanalytical method for antisense therapeutics.

The 15th Annual Meeting of the Oligonucleotide Therapeutics Society (2019.10.14)

* LSI Medience Corporation

Okuwaki K^{*1}, Watanabe N^{*2}, Nakano T, Okiyama Y, Mochizuki Y^{*3}, Watanabe C^{*4}, Honma T^{*4}, Fukuzawa K^{*1}: High-speed geometry optimization for protein active site with the fragment molecular orbital method. CBI学会 2019年大会 (2019.10.22-24)

^{*1} Hoshi University

^{*2} Mizuho Information & Research Institute, Inc.

^{*3} Rikkyo University

^{*4} RIKEN

青木良子, 鈴木菜穂, 鈴木美佳, 今任拓也, 佐井君江, 齋藤嘉朗: 医療用医薬品の添付文書に関する活用状況の

調査 — 医薬関係者の職種別・年代別分析.

第29回日本医療薬学会年会 (2019.11.2)

齋藤嘉朗, 塚越絵里: 個別化医療とファーマコゲノミクス ~現状と課題~.

第29回日本医療薬学会年会 (2019.11.2)

青木良子, 鈴木菜穂, 鈴木美佳, 今任拓也, 佐井君江, 齋藤嘉朗: 医療用医薬品の添付文書に関するアンケート調査結果と今後の展望.

第40回日本臨床薬理学会学術総会 (2019.12.5)

今任拓也, 佐井君江, 齋藤嘉朗: 消炎鎮痛剤服用患者における感染症の併発と重篤副作用発症との関連.

第40回日本臨床薬理学会学術総会 (2019.12.5)

齋藤嘉朗: バイオシミラーの臨床試験・市販後に関する規制と臨床研究動向

第40回日本臨床薬理学会学術総会 (2019.12.5)

荒川憲昭, 中村亮介, 泉高司^{*1}, 大野泰雄^{*1}, 高松一彦^{*2}, 西矢剛淑^{*3}, 阿部理一郎^{*4}, 相原道子^{*5}, 森田栄伸^{*6}, 橋爪秀夫^{*7}, 浅田秀夫^{*8}, 齋藤嘉朗: 重症薬疹の血液バイオマーカー探索と臨床的有用性の評価.

第40回日本臨床薬理学会学術総会 (2019.12.5)

^{*1} 木原記念横浜生命科学振興財団

^{*2} アステラス製薬株式会社

^{*3} 第一三共株式会社

^{*4} 新潟大学

^{*5} 横浜市立大学

^{*6} 島根大学

^{*7} 磐田市立総合病院

^{*8} 奈良県立医科大学

荒川憲昭, 齋藤嘉朗: 日本人における薬物性肝障害バイオマーカー候補の検証.

第40回日本臨床薬理学会学術総会 (2019.12.6)

齋藤嘉朗: バイオマーカーの適格性確認に関する国際規制動向と日本の取り組み

第40回日本臨床薬理学会学術総会 (2019.12.6)

Saito Y, Nakamura R, Imatoh T, Arakawa N, Saito K, Tsukagoshi E, JSAR Research Group, Sai K: Progress of genomic marker analysis on severe adverse drug reactions in Japanese.

34th JSSX Annual Meeting (2019.12.10)

Saito K, Takikawa H^{*1}, Kagawa T^{*2}, Tsuji K^{*3}, Kumagai Y^{*4}, Sato K^{*5}, Sakisaka S^{*6}, Sakamoto N^{*7}, Aiso M^{*1}, Hirose S^{*2}, Mori N^{*3}, Tanaka R^{*4}, Uraoka T^{*5}, Ogawa K^{*7}, Nishiya T^{*8}, Takamatsu K^{*9}, Izumi T^{*10}, Ohno Y^{*10}, Saito Y: Identification of liver damage biomarkers using comprehensive hydrophobic metabolomic analysis.

34th JSSX Annual Meeting (2019.12.11)

^{*1} Teikyo University

^{*2} Tokai University

^{*3} Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-Bomb Survivors Hospital

^{*4} Kitasato University School of Medicine

^{*5} Gunma University Graduate School of Medicine

^{*6} Fukuoka University Faculty of Medicine

^{*7} Hokkaido University Faculty of Medicine and Graduate School of Medicine

^{*8} Daiichi Sankyo Co., Ltd.

^{*9} Astellas Pharma Inc.

^{*10} Kihara Memorial Foundation

齋藤嘉朗: 新会長からのメッセージ.

日本薬物動態学会 第34回年会 (2019.12.11)

今任拓也: 薬剤疫学研究のためのデータベースの取り扱いについて.

第16回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム (2020.1.10)

佐井君江: 病院/医療情報の市販後安全性評価における利活用性の検討.

第16回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム (2020.1.10)

齋藤公亮, 齋藤嘉朗: メタボロミクス解析による安全性バイオマーカー探索とコンパニオン診断への可能性.

第2回医薬品毒性機序研究会 (2020.1.23)

塚越絵里, 中村亮介, JSAR Research Group, 齋藤嘉朗: 重症薬疹と関連するHLAマーカー研究の進捗と添付文書比較.

第2回医薬品毒性機序研究会 (2020.1.23)

Tsukagoshi E, Nakamura R, JSAR Research Group,

Saito Y : Pharmacogenomics analysis of SJS/TEN in Japanese.

The 5th International Stevens Johnson Syndrome Symposium (2020.2.9)

Imatoh T, Sai K, Saito Y : Association analysis of SJS/TEN with infection using data from the Japanese Adverse Drug Event Report database.

The 5th International Stevens Johnson Syndrome Symposium (2020.2.9)

青木良子, 前田初代, 勝田由紀子, 丸野有利子, 佐井君江, 齋藤嘉朗 : 患者リスク集団に着目した副作用シグナルの検出 - WHO Pharmaceuticals Newsletterより.

日本薬学会 第140年会 (2020.3.27)

前田初代, 青木良子, 勝田由紀子, 丸野有利子, 佐井君江, 齋藤嘉朗 : VigiBaseを用いたインスリン グラルギンのバイオシミラーと先行品の副作用プロファイル比較.

日本薬学会 第140年会 (2020.3.27)

栗坂知里^{*1}, 甲斐茂美^{*2}, 坂本博則^{*1}, 高橋香帆^{*1}, 小林征洋^{*3}, 堀雅之^{*4}, 中村亮介, 宮澤真紀^{*2}, 松原康策^{*4}, 秋山晴代^{*1} : EXiLE法を用いた加熱・加圧処理による魚肉アレルギー性低減化の評価.

日本薬学会 第140年会 (2020.3.28)

^{*1} 帝京平成大学

^{*2} 神奈川衛研

^{*3} 東京海洋大学

^{*4} 西神戸医療センター

齋藤嘉朗, 青木良子, 佐井君江, 頭金正博^{*} : 日中韓の添付文書比較による薬物応答性の国間比較

日本薬学会 第140年会 (2020.3.28)

^{*} 名古屋市立大学

横田理, 白幡卓也^{*1}, 遊佐淳子^{*2}, 櫻井裕子^{*2}, 伊東博司^{*2}, 押尾茂^{*1} : 慢性的なビタミンA過剰はマウスの精子形成を障害する

第38回アンドロロジー学会 (2019.6.21)

^{*1} 奥羽大学薬学部

^{*2} 奥羽大学歯学部

登田美桜, 北嶋聡 : フグ毒として知られるテトロドトキシンのリスク評価に関する国際的動向 - マウスユニットと急性参照用量 -

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.26)

種村健太郎^{*1}, 北嶋聡, 菅野純^{*2} : 「発生期マウスへの神経シグナル異常による成熟後の神経行動毒性発現 - 海産毒による異常誘発モデルとしての検討 -」

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.26)

^{*1} 東北大学

^{*2} 日本バイオアッセイ研究センター

栗形麻樹子, 柴藤順子^{*1}, 瀬沼美華^{*2}, 等々力舞^{*2}, Rakwal Randeep^{*3}, 北嶋聡, 小川哲郎^{*4} : 新生児期低栄養暴露児の成獣期LPS曝露に対する遺伝子発現影響

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

^{*1} 星薬科大学 先端生命科学研究所 生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室

^{*2} 食品薬品安全センター 秦野研究所 安全性事業部

^{*3} 筑波大学 体育系

^{*4} 埼玉医科大学 生理学

小野竜一, 相崎健一, 北嶋聡, 菅野純^{*} : Percellomeプロジェクトから見てきたエピジェネティクス影響

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

^{*} 日本バイオアッセイ研究センター

五十嵐智女, 鈴木洋, 牛田和夫, 川村智子, 松本真理子, 井上薫, 広瀬明彦 : 化審法既存化学物質のスクリーニング評価における1,4-ジクロロブタンの有害性評価.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

種村健太郎^{*1}, 北嶋聡, 菅野純^{*2} : 幹細胞分化から見る子どもの毒性学 : シグナル毒性としての中枢神経影響の評価の現状 低用量化学物質の周産期ばく露による情動認知行動毒性 - 子どもの毒性学に向けた評価系開発の現在 -

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

^{*1} 東北大学

^{*2} 日本バイオアッセイ研究センター

菅野純*, 北嶋聡, 相崎健一, 小野竜一: Percellome トキシコゲノミクスのエピジェネティクス基盤 - 「新型」反復曝露試験の解析 - . 第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

* 日本バイオアッセイ研究センター

夏目やよい^{*1}, 相崎健一, 北嶋聡, Samik Ghosh^{*2}, 北野宏明^{*2}, 水口賢司^{*1}, 菅野純^{*3}: Garudaプラットフォームによる多角的毒性予測. 第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

^{*1} 医薬・基盤・栄養研究所

^{*2} システム・バイオロジー研究機構

^{*3} 日本バイオアッセイ研究センター

種村健太郎^{*1}, 北嶋聡, 菅野純^{*2}: 低用量化学物質の周産期ばく露による情動認知行動毒性～子どもの毒性学に向けた評価系開発の現在～ 第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

^{*1} 東北大学

^{*2} 日本バイオアッセイ研究センター

横田理, 白幡卓也^{*1}, 遊佐淳子^{*2}, 櫻井裕子^{*2}, 伊東博司^{*2}, 押尾茂^{*1}: ビタミンA過剰モデルマウスを用いた精巣毒性・精子形成の影響評価 第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

^{*1} 奥羽大学薬学部

^{*2} 奥羽大学歯学部

Taquahashi Y, Yokota S, Morita K, Tsuji M, Ohnishi M, Hirose A, Kanno J*: Improved Aerosol Generation Method and Newly Designed Whole Body Rodent Inhalation Apparatus for the Testing of Nanomaterials in Human-Relevant Exposure Scenario. 15th IUTOX International Congress of Toxicology (ICTXV) (2019.7.15)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Ono R, Yoshioka Y*, Furukawa Y, Ochiya T*, Kitajima S, Hirabayashi Y: Evaluation of exosomes as toxic biomarkers in mouse. 15th International Congress of Toxicology (ICTXV)

(2019.7.17)

* Tokyo Medical University

Natsume-Kitatani Y^{*1}, Aisaki KI, Kitajima S, Ghosh S^{*2}, Kitano H^{*2}, Mizuguchi K^{*1}, Kanno J^{*3}: Cross Talks among PPARα, SREBP, and ER Signaling Pathways in the Side Effect of Valproic Acid. 15th International Congress of Toxicology (ICTXV) (2019.7.16)

^{*1} National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition, Japan

^{*2} The Systems Biology Institute, Japan

^{*3} Japan Organization of Occupational Health and Safety

Kanno J^{*1}, Aisaki KI, Kitajima S, Tanemura K^{*2}: The Concept of "Signal Toxicity" for the Mechanistic Analysis of So-Called Low Dose Effect and Delayed Effect after Perinatal Exposure. 15th International Congress of Toxicology (ICTXV) (2019.7.16)

(2019.7.16)

^{*1} Japan Organization of Occupational Health and Safety

^{*2} Tohoku University

Saito H, Hara K^{*1}, Tominaga T^{*2}, Nakashima K^{*3}, Tanemura K^{*1}: Early-life exposure to low levels of permethrin exerts impairments in learning and memory associated with glial cell disturbance in adult male mice. 15th International Congress of Toxicology (ICTXV) (2019.7.17)

(2019.7.17)

^{*1} Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University

^{*2} Institute of Neuroscience, Tokushima Bunri University

^{*3} Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University

Natsume-Kitatani Y^{*1}, Mizuguchi K^{*1}, Aisaki KI, Kitajima S, Ghosh S^{*2}, Kitano H^{*2}, Kanno J^{*3}: Pentachlorophenol affects RIG-I antiviral pathway that produces type I interferon at the transcriptional level.

ISMB/ECCB 2019 (2019.07.24)

*¹ National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition, Japan

*² The Systems Biology Institute, Japan

*³ Japan Organization of Occupational Health and Safety

Kuwagata M, Kumagai F*, Senuma M*, Todoroki M*: Research on the mechanism of thoracolumbar supernumerary rib development after birth using CT scanning in rats.

The 59th Annual Meeting of The Japanese Teratology Society (2019.7.28)

* Division of Safety, Hatano Research Institute, Food and Drug Safety Center

横田理, 白幡卓也*¹, 遊佐淳子*², 櫻井裕子*², 伊東博司*², 押尾茂*¹: ビタミンA過剰の反復摂取はマウスの精子形成を障害するのか?

第8回DOHaD学会学術集会 (2019.8.10)

*¹ 奥羽大学薬学部

*² 奥羽大学歯学部

Ono R, Kitajima S, Aisaki KI, Kanno J*: Molecular Basis of the 'Baseline Response' and 'Transient Response' Observed in the Newly Designed Repeated Dose Study: Epigenetic Modifications.

Gordon Research Conference (2019.8.11) MA, USA

* Japan Bioassay Research Center

横田理, 白幡卓也*¹, 遊佐淳子*², 櫻井裕子*², 伊東博司*², 押尾茂*¹: マウス造精機能低下を引き起こすビタミンA過剰の反復摂取

フォーラム2019 衛生薬学・環境トキシコロジー (2019.8.31)

*¹ 奥羽大学薬学部

*² 奥羽大学歯学部

酒井和哉*¹, 大塚まき*², 齊藤洋克, 平館裕希*¹, 原健士朗*¹, 五十嵐勝秀*², 種村健太郎*¹: 精子エピゲノム

を用いた早期精巢毒性バイオマーカーの探索

第112回日本繁殖生物学会大会 (2019.9.3)

*¹ 東北大学大学院農学研究科

*² 星薬科大先端生命科学研究センター (L-StaR)

牧野優誠*, 平館裕希*, 矢内凜*, 齊藤洋克, 原健士朗*, 種村健太郎*: ニコチン型アセチルコリン受容体シグナルを利用したマウス精子機能の調節

第112回日本繁殖生物学会大会 (2019.9.4)

* 東北大学大学院農学研究科

Ono R, Yasuhiko Y, Aisaki KI, Kitajima S, Kanno J*, Hirabayashi Y: Exosome-mediated horizontal gene transfer: a possible new risk for genome editing.

55th Congress of the European Societies of Toxicology (2019.9.9) Helsinki, Finland

* Japan Bioassay Research Center

北嶋聡: シックハウス (室内空気汚染) 対策に関する研究 - シックハウス症候群レベルの室内揮発性有機化合物の吸入暴露の際の海馬Percellomeトキシコゲノミクスによる中枢影響予測 -.

環境科学会 2019年会 (2019.9.13)

横田理, 白幡卓也*, 押尾茂*: ビタミンA過剰と欠乏マウスの精子形成障害の相違点について

第5回日本レギュラトリーサイエンス学会 (2019.9.14)

* 奥羽大学薬学部

小野竜一: Exosome-mediated horizontal gene transfer: a possible new risk for genome editing.

第78回日本癌学会学術総会 (2019.9.28)

小野竜一: EVを介した遺伝子水平伝搬によるゲノム進化の可能性

第6回日本細胞外小胞学会学術集会 (2019.10.25)

Hirabayashi Y: Draft Guideline for Non-Clinical Safety Evaluation of Oligonucleotide Therapeutics in Japan,

DIA Oligonucleotide-based Therapeutics Conference (2019.10.29)

北嶋聡, 近藤一成: ゲノム編集技術応用食品の現状と課題.

日本食品化学学会 第35回食品化学シンポジウム (2019.11.8)

Ono R: Extracellular vesicles-mediated horizontal gene transfer: a possible new risk for genome editing. APSEV2019 (2019.11.25)

Takahashi Y, Yamazaki Y*, Saito Y*, Uchiyama H*: Somite patterning and vertebra formation in the anuran amphibian *Xenopus laevis* differs from those in the amniotes.

MBSJ2019 (2019.12.4)

* Graduate School of NanoBioscience, Yokohama City University (YCU)

大久保佑亮, 大竹史明^{*1}, 五十嵐勝秀^{*2}, 安彦行人, 平林容子, 相賀裕美子^{*3}, 菅野純^{*4}: 双方向性のNotch-Deltaシグナルによる側方抑制を介した神経発生の調節. 第42回日本分子生物学会年会 (2019.12.5)

^{*1} 東京都医学総合研究所

^{*2} 星薬科大学

^{*3} 国立遺伝学研究所

^{*4} 日本バイオアッセイ研究センター

栗形麻樹子, 熊谷文明*, 瀬沼美華*, 等々力舞*, 北嶋聡: 三次元動物用マイクロX線コンピュータ断層撮影装置を用いたラット骨格の生後観察

第2回医薬品毒性機序研究会 (2020.1.23)

* 一般財団法人 食品薬品安全センター 秦野研究所 安全性事業部

大久保佑亮, 嘉本海大*, 高橋祐次, 北嶋聡, 太田裕貴*: Internet of Things in Toxicology (IoT) の実現を目指したウェアラブルバイタルサイン計測機器の開発-覚醒下非拘束ラットの心拍・血中酸素濃度・呼吸数計測-

第2回医薬品毒性機序研究会 (2020.1.23)

* 横浜国立大学

齊藤洋克, 小林記緒^{*2}, 白形芳樹^{*1}, 井上弘貴^{*1}, 岡江寛明^{*2}, 樋浦仁^{*2}, 原健士朗^{*1}, 北嶋聡, 有馬隆博^{*2},

種村健太郎^{*1}: ビタミンE欠乏給餌によるマウス雄性生殖器官および精子への影響

第2回医薬品毒性機序研究会 (2020.1.23)

^{*1} 東北大学大学院農学研究科

^{*2} 東北大学大学院医学系研究科

平林容子: シンポジウム3 核酸医薬品・非天然型ペプチド医薬品における毒性評価の現状と今後の課題「S3-1 核酸医薬品における毒性評価の現状 ~国際協調ガイドラン策定への道のり~」

第2回医薬品毒性機序研究会 (2020.1.24)

Ono R, Yasuhiko Y, Aisaki KI, Kitajima S, Kanno J*, Hirabayashi Y: Horizontal gene transfer mediated by exosomes: a possible new risk for genome editing. Keystone Symposia Conference: Engineering the Genome (2020.2.10)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

横田理, 押尾茂*: 雄性生殖系列を介した高分散ナノマテリアル胎児期曝露の二世世代影響の可能性

第29回精子形成・精巣毒性研究会, (2020.2.10)

* 奥羽大学薬学部

Kuwagata M*: Research on the mechanism of thoracolumbar supernumerary rib by use of computed tomography (CT).

10th Berlin-Workshop on Developmental Toxicology (2020.2.20)

* Division of Cellular and Molecular Toxicology, Center for Biological Safety and Research, National Institute of Health Sciences

Kanno J*, Aisaki KI, Ono R, Kitajima S: Comprehensive Histone, DNA Methylation, and mRNA Expression Analysis of Murine Liver Repeated Exposure to Chemicals: Percellome Project Update.

59th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2020.3.15)

* Japan Organization of Occupational Health and

Safety

Taquahashi Y, Yokota S, Morita K, Tsuji M, Kuwagata M, Hirose A, Kanno J*: A long-term whole-body inhalation study of multi-walled carbon nanotube in mice with an improved dispersion and inhalation system.

59th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2020.3.17)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Ono R, Yoshioka Y, Furukawa Y, Ochiya T, Kitajima S, Hirabayashi Y: Evaluation of extracellular vesicles (EVs) as toxic biomarkers in mouse

59th Annual Meeting of Society of Toxicology (2020.3.15)

* Tokyo Medical University

堀内新一郎, 黒田幸恵, 藤居瑠彌, 金秀良, 諫田泰成, 石田誠一: ヒトiPS由来肝細胞の様々な薬物性肝障害評価項目への適応性の多面的な検討.

第26回HAB研究機構学術年会 (2019.6.21)

黒田幸恵, 堀内新一郎, 金秀良, 藤居瑠彌, 諫田泰成, 末水洋志*, 石田誠一: ヒト肝キメラマウス由来肝細胞を用いた胆汁排泄評価系の構築に向けた基礎検討.

第26回HAB研究機構学術年会 (2019.6.21)

* 実験動物中央研究所

藤居瑠彌, 堀内新一郎, 黒田幸恵, 金秀良, 諫田泰成, 石田誠一: LC-MS/MSを用いた細胞培養液プロファイリングによる肝細胞機能評価.

第26回HAB研究機構学術年会 (2019.6.21)

金秀良, 堀内新一郎, 黒田幸恵, 藤居瑠彌, 諫田泰成, 石田誠一: 5-AzaCに処理よりプログラムされたHepG2細胞 (R-HEPG2C) の遺伝子発現解析による評価.

第26回HAB研究機構学術年会 (2019.6.21)

諫田泰成: ヒトiPS細胞技術を活用した抗がん剤の心毒性評価法の開発.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

山田茂*, 諫田泰成: 銀ナノ粒子によるヒトiPS細胞の神経分化抑制.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

* 日本薬理評価機構

白川誉史*^{1,2}, 鈴木郁郎*^{1,3}, 宮本憲優*^{1,4}, 近藤卓也*^{1,5}, 佐藤薫, 森村馨*^{1,6}, 半戸里江*^{1,6}, 小田原あおい*^{1,3}, 小島敦子*^{1,4,7}: ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた微小電極アレイシステムによる痙攣・てんかん評価法確立の試み (第4報) - CSAHi: 神経チーム.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

*¹ ヒトiPS細胞応用安全性評価コンソーシアム (CSAHi)

*² アステラス製薬

*³ 東北工業大学

*⁴ エーザイ

*⁵ 大鵬薬品工業

*⁶ 富士フイルム

*⁷ 株式会社テクノプロ・R&D社

荒木徹朗*¹, 一ツ町裕子*², 真鍋安博*³, 森村馨*⁴, 森勇介*⁴, 坂本栄*⁵, 石田誠一: ヒトiPS細胞応用安全性評価コンソーシアム培養系検討チーム (CSAHi-3D): CSAHi培養系検討チームにおけるヒトiPS細胞由来肝細胞3次元培養モデルを用いた毒性評価.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

*¹ 旭化成ファーマ

*² 大鵬薬品工業

*³ 味の素

*⁴ 富士フイルム

*⁵ キッセイ薬品工業

石田誠一: 新規培養技術を用いた胆汁排泄・うっ滞評価系開発への取り組み.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Sato K: Activated microglia disrupt the blood-brain barrier and induce chemokines and cytokines in a rat *in vitro* model.

Glia2019 (2019.7.12)

我那覇一冨*, 稲村恒亮*, 古水雄志*, 金秀良, 石田誠一, 松下琢*: 胎児肝細胞及び成人肝細胞における化学

物質毒性発現の比較解析.

第56回化学関連支部合同九州大会2019 (2019.7.13)

* 崇城大学

坂田望^{*1}, 稲村恒亮^{*1}, 水民敬浩^{*1}, 古水雄志^{*1}, 岩佐卓哉^{*2}, 佐々木皓平^{*2}, 小島理恵^{*2}, 川部雅章^{*2}, 石田誠一, 松下琢^{*1}: 三次元培養担体Cellbedを用いたHepG2細胞の薬剤耐性克服薬スクリーニングへの応用と胆汁排泄機能の再現.

第56回化学関連支部合同九州大会2019 (2019.7.13)

*¹ 崇城大学

*² バイリーン

Kanda Y: Effect of silver nanoparticles on neural differentiation in human iPSCs cells.

IUTOX 15th International Congress of Toxicology (2019.7.18)

Futagami K^{*1}, Huang YL^{*1}, Nomura Y^{*2}, Kanda Y, Hozumi N^{*1}, Yoshida S^{*1}: Potentiation of developmental neurotoxicity of broad-applied herbicide, Glyphosate.

Neuro2019 (2019.7.25)

*¹ Toyohashi University of Technology

*² City University of New York

Matsufusa R^{*}, Kanda Y, Yoshida S^{*}: Behavioral alteration of chemical-induced autistic model rat and its neuronal mechanism.

Neuro2019 (2019.7.25)

* Toyohashi University of Technology

Shigemoto-Mogami Y, Baba K^{*}, Suzuki T^{*}, Hoshikawa K, Sato K: Search for the mediators of the communication between microglia and neural stem cells.

Neuro2019 (2019.7.26)

* Keio University

Takahashi K, Irie T, Sato K: Detailed study about the modulation of human glutamate transporters by docosahexanoic acid using two-electrode voltage clamp

method.

Neuro2019(2019.7.26)

Kwong TT^{*1}, Sato S^{*1}, Nomura Y^{*2}, Kanda Y, Yoshida S^{*1}, Miyamoto K^{*1}: Alteration of cerebellar developmental structures and metabolic condition in prenatal famine rat.

Neuro2019 (2019.7.26)

*¹ Toyohashi University of Technology

*² City University of New York

Fukushima M^{*1}, Nishikawa C^{*1}, Nomura Y^{*2}, Fueta Y^{*3}, Ueno S^{*3}, Sekino Y^{*4}, Kanda Y, Yoshida S^{*1}: Glial modification in developing VPA-induced ASD model rat cerebellum.

Neuro2019 (2019.7.27)

*¹ Toyohashi University of Technology

*² City University of New York

*³ University of Occupational and Environmental Health

*⁴ The University of Tokyo

Ohtsuka H^{*}, Asai N^{*}, Kwong TT^{*}, Kanda Y, Yoshida S^{*}: Developmental abnormality induced LPS, bacteria-derived inflammatory agent in rat cerebellar cortex.

Neuro2019 (2019.7.27)

* Toyohashi University of Technology

入江智彦: 背側蝸牛神経核Cartwheel細胞におけるSKチャネルの細胞内Ca²⁺ソース.

第42回日本神経科学大会 (2019.7.25)

Kanda Y, Yamada S^{*}: Development of in vitro developmental toxicity using human iPSC cell technology.

The 59th Annual Meeting of The Japanese Teratology Society. · The 13th World Congress of International Cleft Lip and Palate Foundation CLEFT 2019 (2019.7.27)

* PEIJ

品川雄俊^{*1}, 福田淳二^{*1}, 遠山周吾^{*2}, 藤田淳^{*2}, 福田恵一^{*2}, 佐塚文乃, 諫田泰成: 酸素透過性スフェロイド培養器を用いたiPS細胞由来心筋細胞の成熟化.

化学工学会横浜大会 (2019.8.8)

*¹ 横浜国立大学

*² 慶應義塾大学

Kanda Y: A novel safety assessment using human iPS cell technology.

The 16th International Annual Meeting of Korean Society of Alternatives to Animal Experiments with MFDS Workshop (2019.8.23)

諫田泰成：化学物質の新たなインビトロ神経毒性評価法の開発.

第38回成体と金属・化学物質に関する研究会（チョークトーク2019）(2019.8.26)

石田誠一：新規in vitro試験法として人体模倣システム（MPS）に期待される性能基準とは.

生体機能と創薬シンポジウム2019 (2019.8.29)

石田誠一：薬物性肝障害評価へのin vitro細胞アッセイ活用に向けた取り組み.

安全性評価研究会 第28回夏の教育フォーラム (2019.8.30)

石田誠一：『適薬』を支える基盤（PGxや腸内細菌）研究の進歩.

ICA-JASIS2019コンファランス (2019.9.5)

石田誠一：MPS（Microphysiological System：生体模倣システム）の新規評価手法としての社会的受容に備えるべき要件.

第9回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2019.9.6)

松崎典弥*, 佐藤薫:血管脳関門（BBB）チップの可能性. CBI学会講演会 (2019.9.9)

* 大阪大学

Ishida S, Horiuchi S, Kuroda Y, Fujii R, Kim SR, Kanda Y: Study of Long Term Culture Condition of Hepatocytes for Chronic Toxicity Test. Eurotox2019 (2019.9.8)

塚田健人*¹, 金子秋穂*¹, 新木翔之*¹, 河治久美*¹, 林宏典*¹, 児玉栄一*¹, 倉石貴透*², 村井正俊*³, 三芳秀人*³, 村上一馬*³, 入江一浩*³, 平田尚也, 諫田泰成,

浅井禎吾*¹:糸状菌ジルペノイドピロン類のコンビナトリアル生合成と生物活性評価.

第61回天然有機化合物討論会 (2019.9.13)

*¹ 東北大学

*² 金沢大学

*³ 京都大学

山田茂, 常本和伸, 諫田泰成：ヒトiPS細胞技術を用いた統合的な発達神経毒性評価法の開発.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

大塚暖子*, 常本和伸, 諫田泰成, 吉田祥子*: 胎児期のLPS曝露がラットの小脳発達に与える影響.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

* 豊橋技術科学大学

Yoshida S*¹, Nomura Y*², Kanda Y: Developmental neurotoxicity and immune abnormality of in-utero food-restriction on rat animal model.

World Congress on Inflammation (2019.9.19)

*¹ Toyohashi University of Technology

*² City University of New York

岩崎菜々美*¹, 坂本多穂*¹, 行方衣由紀*², 山口賢彦*¹, 西田基宏*³, 諫田泰成, 田中光*², 黒川洵子*¹: ヒトiPS由来心筋細胞内ナトリウム濃度に対する電気刺激の作用.

第21回応用薬理シンポジウム (2019.9.20)

*¹ 静岡県立大学

*² 東邦大学

*³ 自然科学研究機構生理学研究所・九州大学

石田誠一：創薬に利用可能な細胞の性能評価と性能向上に向けた取り組み.

東京大学大学院薬学系研究科分子薬物動態学教室特別セミナー (2019.9.24)

Kanda Y: Imaging-Based Approach to Assess Cardio-Oncology in the Nonclinical and Clinical Settings. Safety Pharmacology Society Annual Meeting 2019 (2019.9.24)

Satsuka A, Hayashi S, Kanda Y: Drug induced Cardiotoxicity Assessment by Cell Motion Imaging. Safety Pharmacology Society Annual Meeting 2019 (2019.9.24)

Takahashi K, Chujo K, Sato K: New potential of human induced pluripotent stem cell-derived neurons in the non-clinical study –the 2nd report from iNCENS project in collaboration with CSAHi and HESI NeuTox. Safety Pharmacology Society Annual Meeting 2019 (2019.9.24)

Kanda Y: Development of in vitro neurotoxicity assessment using iPS cell technology. International Neurotoxicology Association (INA)-17 (2019.9.30)

Kanda Y: Current status and future perspectives in iPS-based cardiotoxicity assessment. Nanion・Twins Ion Channel Forum 2019 (2019.10.4)

平田尚也*, 山田茂*, 諫田泰成: LPA刺激によるカルシウムシグナルを介したトリプルネガティブ型乳癌幹細胞の増殖. 第141回日本薬理学会関東部会 (2019.10.12)

* 日本薬理評価機構

岩崎菜々美^{*1}, 坂本多穂^{*1}, 行方衣由紀^{*2}, 山口賢彦^{*1}, 西田基宏^{*3}, 諫田泰成, 田中光^{*2}, 黒川洵子^{*1}: ヒトiPS由来心筋細胞内ナトリウム濃度に対する電気刺激の作用. 第141回日本薬理学会関東部会 (2019.10.12)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 東邦大学

^{*3} 自然科学研究機構生理学研究所・九州大学

諫田泰成: ヒト幹細胞を用いた新たな安全性評価法の開発と国際標準化. 幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム第2回研究会 (2019.10.16)

吉岡千咲^{*1}, 増野弘幸^{*1}, 河内恵美子^{*2}, 諫田泰成, 平田尚也, 影近弘之^{*2}, 棚谷綾^{*1}: カルボキシル基を持たないリトコール酸誘導体の合成とビタミンD活性. 日本レチノイド研究会第30回記念学術集会 (2019.10.19)

^{*1} お茶の水女子大学

^{*2} 東京医科歯科大学

Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Sato K: What happened to the in vitro blood-brain barrier (BBB) model with activated microglia in the brain side-activated microglia can trigger the BBB disruption and modulate the related chemokines and cytokines via the interactions with astrocytes and blood vessels. Society for Neuroscience 2019 (2019.10.20)

Yamazaki D: Development of human iPS cell-derived engineered heart tissue and contractility assessment. Chem-Bio Informatics (CBI) Annual Meeting 2019 (2019.10.22)

Fujii R, Horiuchi S, Kuroda Y, Kim SR, Kanda Y, Ishida S: Evaluation of Cell Culture Profiling System with HepG2 Cell Culture Using Microphysiological Systems. Chem-Bio Informatics (CBI) Annual Meeting 2019 (2019.10.22)

Takahashi K, Sato K: New potential of human induced pluripotent stem cell-derived neurons in the non-clinical study –the report from iNCENS project in collaboration with CSAHi and HESI NeuTox. Chem-Bio Informatics (CBI) Annual Meeting 2019 (2019.10.22)

Takahashi K, Chujo K, Odawara A*, Suzuki I*, Sato K: Evidence for the utility of human induced pluripotent stem cell-derived neurons in safety pharmacology-fact data indicating the achievement of network activities. Chem-Bio Informatics (CBI) Annual Meeting 2019 (2019.10.22)

* Tohoku Institute of Technology

Kitamura K, Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Figarol A^{*1}, Matsusaki M^{*1}, Furihata T^{*2}, Ishida S, Sato K: Attempts to establish the *in vitro* BBB model suitable for drug development –Comparative study of 2D rat model, 2D human cell line model, and 3D human cell line model –. Chem-Bio Informatics (CBI) Annual Meeting 2019 (2019.10.22)

*¹ Osaka University

*² Tokyo University of Pharmacy and Life Science

Horiuchi S, Kuroda Y, Kim SR, Fujii R, Kanda Y, Ishida S: Multi-functional analysis for applicability evaluation of human iPS cell-derived hepatocytes to DILI assay. Chem-Bio Informatics (CBI) Annual Meeting 2019 (2019.10.22)

常本和伸, 山田茂*, 諫田泰成: 銀ナノ粒子の統合的な神経毒性評価.

メタルバイオサイエンス研究会2019 (2019.10.30)

* 日本薬理評価機構

諫田泰成, 常本和伸, 山田茂: ヒトiPS細胞技術を用いた新たなin vitro神経毒性評価法の開発.

黒潮カンファレンス (2019.11.15)

坂田望^{*1}, 水民敬浩^{*1}, 古水雄志^{*1}, 岩佐卓哉^{*2}, 佐々木皓平^{*2}, 小島理恵^{*2}, 川部雅章^{*2}, 石田誠一, 松下琢^{*1}: 三次元培養担体Cellbedを用いた肝細胞の胆汁排泄機能の再現. 日本動物実験代替法学会 第32回大会 (2019.11.20)

*¹ 崇城大学

*² バイリーン

Yoshida S*, Fukushima M*, Kanda Y: The epigenetic change of granule cell precursors causes excess folding of cerebellar lobules to induce ASD-like malformation. EMBL Symposium: Metabolism Meets Epigenetics (2019.11.21)

* Toyohashi University of Technology

諫田泰成: ヒトiPS細胞を用いた化学物質のin vitro安全性評価法の開発.

第32回日本動物実験代替法学会 (2019.11.22)

諫田泰成, 大戸茂弘^{*1}, 鈴木真^{*2}, 武吉正博^{*3}, 竹内小苗^{*4}, 佐久間めぐみ^{*5}, 中村牧^{*6}, 小島肇: 国際交流委員会報告.

第32回日本動物実験代替法学会 (2019.11.22)

*¹ 九州大学

*² 沖縄科学技術大学院大学

*³ 一般財団法人化学物質評価研究機構

*⁴ P&Gイノベーション合同会社

*⁵ コーセー

*⁶ 小林製薬

中康博*, Agathe Figarol*, 最上由香里, 佐藤薫, 松崎典弥*: マイクロサイズの足場材料を用いた組織工学による脳血管ネットワークの構築と透過性試験への応用. バイオマテリアル学会 (2019.11.25)

* 大阪大学

吉岡千咲^{*1}, 増野弘幸^{*1}, 河内恵美子^{*2}, 諫田泰成, 平田尚也, 影近弘之^{*2}, 棚谷綾^{*1}: 側鎖にジオール基をもつリトコール酸誘導体の創製とビタミンD活性.

第37回メディシナルケミストリーシンポジウム (2019.11.27)

*¹ お茶の水女子大学

*² 東京医科歯科大学

吉原綾菜^{*1}, 川崎波留^{*1}, 増野弘幸^{*1}, 河内恵美子^{*2}, 諫田泰成, 平田尚也, 影近弘之^{*2}, 棚谷綾^{*1}: ビタミンD活性を有するリトコール酸アミド誘導体の創製.

第37回メディシナルケミストリーシンポジウム (2019.11.27)

*¹ お茶の水女子大学

*² 東京医科歯科大学

中瀬古(泉)寛子^{*1}, 藤吉正哉^{*1}, 長澤(萩原)美帆子^{*1}, 後藤愛^{*1}, 千葉浩輝^{*1}, 神林隆一^{*1}, 内藤篤彦^{*1}, 安東賢太郎^{*2}, 諫田泰成, 石井伊都子^{*3}, 杉山篤^{*1}: グサチニブは左心機能を低下するが, 催不整脈作用を示さない-チロシンキナーゼ阻害薬の心血管有害事象の予測プロトコルの開発.

第29回日本循環薬理学会 (2019.11.29)

*¹ 東邦大学

*² 千葉科学大学

*³ 千葉大学

諫田泰成, 常本和伸, 山田茂: ヒトiPS細胞を用いた新たな神経毒性評価法の開発.

第249回生理学東京談話会 (2019.11.30)

石田誠一, 黒田幸恵, 堀内新一郎, 藤居瑠彌, 金秀良: スフェロイド形成によるヒト肝星細胞の活性化の抑制.

第33回肝類洞壁細胞研究会学術集会 (2019.11.30)

宮崎佑*, 市村敦彦*, 北山諒*, 山崎大樹, 西美幸*, 竹島浩*: 細胞内陽イオンチャンネルTRIC-B欠損マウスにおける成長板軟骨細胞の機能異常.

第42回日本分子生物学会 (2019.12.5)

* 京都大学

Kanda Y: Development of in vitro cardiotoxicity assessment using human iPS cell technology.

第50回生理研国際シンポジウム (2019.12.6)

Ishida S, Kuroda Y, Horiuchi S, Kim SR, Fujii R: The Basic Study for Construction of Liver Fibrosis Evaluation System Using Human Hepatic Stellate Cell. 日本薬物動態学会 第34回年会 (2019.12.9)

石田誠一: 薬物動態・安全性試験用organ (s) -on-a-chipの基準作成.

第1回Organ On a Chip技術連絡会 (2019.12.20)

諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた抗がん剤の心毒性評価法の開発.

筋生理の集い (2019.12.21)

山崎大樹: ヒト人工心臓組織による心毒性評価.

筋生理の集い (2019.12.21)

藤居瑠彌, 堀内新一郎, 黒田幸恵, 金秀良, 石田誠一: 細胞培養プロファイリングを用いた培養評価法の検討と Microphysiological systemsを用いたHepG2細胞の培養試験.

2019年度細胞アッセイシンポジウム (2020.1.20)

坂田望*¹, 古水雄志*¹, 岩佐卓哉*², 佐々木皓平*², 小島理恵*², 川部雅章*², 石田誠一, 松下琢*¹: 三次元培養担体を用いた胆汁排泄機構を備えた肝毒性評価法.

2019年度細胞アッセイシンポジウム (2020.1.20)

*¹ 崇城大学

*² バイリオン

北村貴美子, 最上由香里, 干川和枝, Agathe Figarol*¹, 松崎典弥*¹, 降幡知己*², 石田誠一, 佐藤薫: ヒト血液脳関門・生体模倣システムの開発～評価パラメーターによる3種のモデルの比較～.

細胞アッセイ研究会2019 (2019.1.23)

*¹ 大阪大学

*² 東京薬科大学

諫田泰成: 腫瘍循環器学におけるヒトiPS細胞技術の応用.

第1回がん治療関連心血管疾患ワークショップ (2020.2.11)

Yamazaki D: Development of contractility assessment using human engineered heart tissue.

Biophysical Society, 64th Annual Meeting (2020.2.16)

Irie T: Loose Coupling Between SK and P/Q-type Ca²⁺ Channels in Cartwheel Cells of the Dorsal Cochlear Nucleus.

ARO 43rd annual midwinter meeting (2020.2.25)

松崎典弥*, 佐藤薫: 組織工学技術を応用した血管脳関門 (BBB) チップの創製.

再生医療学会 (2020.3.12)

* 大阪大学

諫田泰成: ヒトiPS細胞技術を用いた心血管系・中枢神経系の安全性評価に関する現状と今後の展望.

第93回日本薬理学会年会 (2020.3.18)

中瀬古 (泉) 寛子*, 千葉浩輝*, 長澤 (萩原) 美帆子*, 後藤愛*, 布井啓雄*, 神林隆一*, 松本明郎*, 諫田泰成, 内藤篤彦*, 杉山篤*: 臨床的に観察された心臓への影響を予測する薬物誘発性の生物学的現象を評価するためのヒトiPS細胞由来心筋細胞の新規in vitroプラットフォームの開発と評価.

第93回日本薬理学会年会 (2020.3.16)

* 東邦大学

佐塚文乃, 林紗代, 諫田泰成: 細胞の動きとインピーダンス (同時測定) による心収縮評価.

第93回日本薬理学会年会 (2020.3.18)

平田尚也*, 山田茂*, 諫田泰成: IL-8の産生を介したリゾホスファチジン酸によるトリプルネガティブ型乳癌幹細胞の増殖.

第93回日本薬理学会年会 (2020.3.18)

* 日本薬理評価機構

山田茂*, 諫田泰成: iPS細胞技術を用いたヒト小腸オルガノイドの作製.

第93回日本薬理学会年会 (2020.3.18)

* 日本薬理評価機構

常本和伸, 山田茂*, 諫田泰成: ヒトiPS細胞を用いた発達神経毒性評価.

第93回日本薬理学会年会 (2020.3.18)

* 日本薬理評価機構

辻嘉代子, 諫田泰成: ヒトiPS細胞からII型肺胞上皮細胞への分化誘導法の開発.

第93回日本薬理学会年会 (2020.3.18)

林真理子*¹, 関野祐子*², 佐藤薫: 神経細胞に誘導されたアストロサイトタイリングの動的性質.

第93回日本薬理学会年会 (2020.3.17)

*¹ 国際医療福祉大

*² 東京大学

高橋華奈子, 中條かおり, 小田原あおい*, 鈴木郁郎*, 佐藤薫: ヒトiPS由来神経回路網におけるヒトiPS細胞由来アストロサイト機能解析.

第93回薬理学会年会 (2020.3.17)

* 東北工業大学

最上由香里, 北村貴美子, 干川和枝, Agathe Figarol*¹, 松崎典弥*¹, 降幡知巳*², 石田誠一, 佐藤薫: ミクログリアは血液脳関門機能を発達させる.

第93回薬理学会年会 (2020.3.17)

*¹ 大阪大学

*² 東京薬科大学

入江智彦: P/QタイプCa²⁺チャンネル, リアノジン受容体, BKチャンネルからなる2重Ca²⁺ナノドメインによりバースト発火が調節される.

第93回日本薬理学会年会 (2020.3.16)

中瀬古寛子*, 千葉浩輝*, 長澤(萩原)美帆子*, 後藤愛*, 布井啓雄*, 神林隆一*, 松本明郎*, 諫田泰成,

内藤篤彦*, 杉山篤*: ヒトiPS細胞由来心筋細胞シートにおける興奮収縮連関の生理学的特徴の解明.

第97回日本生理学会大会 (2020.3.19)

* 東邦大学

山崎大樹: ヒトiPS心筋細胞による三次元心筋組織を用いた収縮評価.

第97回日本生理学会大会 (2020.3.18)

入江智彦: 背側蝸牛神経核カートホイールセルにおいてSKチャンネルとP/QタイプCa²⁺チャンネルはルーズカップリングする.

第97回日本生理学会大会 (2020.3.19)

吉原綾菜*¹, 川崎波留*¹, 増野弘幸*¹, 河内恵美子*², 諫田泰成, 平田尚也, 伊藤暢聡*², 影近弘之*², 棚谷綾*¹: ビタミンD活性を有するリトコール酸アミド誘導体の構造展開.

日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

*¹ お茶の水女子大学

*² 東京医科歯科大学

北村貴美子, 最上由香里, 干川和枝, Agathe Figarol*¹, 松崎典弥*¹, 降幡知巳*², 石田誠一, 佐藤薫: ヒト型生体模倣システムー血液脳関門モデルの開発—BBB特性パラメーターに基づく各種モデルの評価, 適合性の比較検討.

日本薬学会第140回年会 (2020.3.28)

*¹ 大阪大学

*² 東京薬科大学

最上由香里, 佐藤薫: サイトカイン・ケモカインを介したミクログリアの中枢神経系発達調節機能.

日本薬学会第140回年会 (2020.3.28)

山崎大樹: ヒトiPS心筋細胞を用いた三次元心筋組織による収縮評価.

日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

山下修司*, 曹永晩, 井手鉄哉, 小川久美子, 平田岳史*: レーザーアブレーションICP質量分析計による生体試料中ナノ粒子のイメージング分析.

第67回日本質量分析総合討論会 (2019.5.17)

* 東京大学

山下修司*, 鈴木敏弘*, 小川久美子, 曹永晩, 井手鉄哉, 平田岳史*: レーザーアブレーションICP質量分析計を用いたナノ粒子イメージング.

第79回分析化学討論会 (2019.5.19)

* 東京大学

Nomura S^{*1}, Toyoda T, Ishibashi Y^{*1}, Ohmoto Y^{*2}, Ohtsu H^{*3}, Yasuda T^{*1}, Seto Y^{*1}, Goldenring JR^{*4}: Evaluation of serum TFF3 levels in gastric cancer patients long after gastrectomy and the origin of high serum TFF3 in gastric cancer animal models.

Digestive Disease Week 2019 (2019.5.21)

^{*1} The University of Tokyo

^{*2} Otsuka Pharmaceutical Tokushima Research Institute

^{*3} National Center for Global Health and Medicine

^{*4} Vanderbilt University School of Medicine

野村幸世*, 豊田武士: MEK阻害剤Selumetinibによる*H. pylori*感染スナネズミ胃粘膜の化生粘膜の回復.

第97回日本消化器内視鏡学会総会 (2019.6.1)

* 東京大学

森川朋美, 豊田武士, 松下幸平, 山田貴宣, 小川久美子: ラットを用いた2-(*l*-メントキシ)エタノールの90日間亜慢性反復経口投与毒性試験.

日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)

山田貴宣, 豊田武士, 松下幸平, 森川朋美, 小川久美子: BBN誘発ラット膀胱発がん過程における γ -H2AX形成及び膀胱がん幹細胞マーカー発現の経時的変化.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.26)

豊田武士, 山田貴宣, 松下幸平, 曹永晩, 赤木純一, 森川朋美, 水田保子, 西川秋佳, 小川久美子: γ -H2AXを指標とした膀胱発がん物質早期検出法.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

井手鉄哉, 山下修司*, 平田岳史*, 水田保子, 赤木純一, 豊田武士, 曹永晩, 小川久美子: レーザープラズマ質量分析計を用いたナノ粒子イメージングによる銀ナノ粒子の粒径依存的な肝毒性メカニズム検証の試み.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

* 東京大学

松下幸平, 豊田武士, 山田貴宣, 森川朋美, 小川久美子: 腎臓の再生尿細管及び線維化病変内の尿細管におけるSurvivin, SOX9及びCD44の発現.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

石井雄二, 高須伸二, 中村賢志, 木島綾希, 小川久美子, 梅村隆志: 発がん条件下におけるアクリルアミドの突然変異誘発性の検索.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

曹永晩, 水田保子, 赤木純一, 井手鉄哉, 安達玲子, 為広紀正, 木村美恵, 近藤一成, 小川久美子: 経皮感作及び経口惹起によるマウス食物アレルギーモデルの開発.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

田島悠也^{*1}, 豊田武士, 平山裕一郎^{*1}, 橋詰力^{*1}, 松下幸平, 小川久美子, 渡辺賢二^{*1}, 戸塚ゆ加里^{*2}, 若林敬二^{*1}, 三好規之^{*1}: メタボローム解析による膀胱発がん性芳香族アミン化合物の活性代謝物の解明.

第26回日本がん予防学会総会 (2019.6.29)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 国立がん研究センター研究所

Yamashita S*, Cho YM, Ide T, Ogawa K, Hirata T*: Imaging analysis of individual nanoparticles for biological samples using a laser ablation-ICP mass spectrometry.

7th International Symposium on Metallomics (2019.7.3)

* The University of Tokyo

Cho YM, Akagi J, Mizuta Y, Ide T, Toyoda T, Ogawa K: Effects of antioxidant and inhibitor of γ -glutamylcysteine synthetase on acute toxicity of silver nanoparticles intraperitoneally administered in BALB/c mice.

IUTOX 15th International Congress of Toxicology (2019.7.16)

Ishii Y, Takasu S, Kijima A, Nohmi T, Ogawa K, Umemura T: Comprehensive DNA analysis for DNA modifications and reporter gene mutation assay to

investigate genotoxicity of elemicin and its mechanisms using *gpt* delta rats.

IUTOX 15th International Congress of Toxicology (2019.7.17)

Matsushita K, Toyoda T, Morikawa T, Yamada T, Ogawa K: The toxicological profiles of 1,3-dichloro-2-propanol determined by a repeated-dose 28-day oral toxicity study in F344 rats.

IUTOX 15th International Congress of Toxicology (2019.7.17)

曹永晩, 水田保子, 赤木純一, 井手鉄哉, 豊田武士, 山下修司*, 平田岳史*, 小川久美子: 腹腔内投与銀ナノ粒子によるBALB/cマウスの急性毒性に関する検討. 第34回発癌病理研究会 (2019.8.28)

* 東京大学

Takasu S, Tohnai M*, Ishii Y, Kijima A, Ogawa K, Umemura T: A 28-day repeated oral dose toxicity study of 5-ethyl-2-methyl-2-oxido-1,3,2-dioxaphosphinan-5-yl) methyl methyl methylphosphonate in mice.

55th Congress of the European Societies of Toxicology (2019.9.9)

* Yamazaki University of Animal Health Technology

山下修司*, 鈴木敏弘*, 曹永晩, 井手鉄哉, 小川久美子, 平田岳史*: レーザーアブレーションICPMS法によるナノ粒子のイメージング分析.

日本分析化学会第68年会 (2019.9.13)

* 東京大学

曹永晩, 水田保子, 赤木純一, 豊田武士, 井手鉄哉, 小川久美子: 腹腔内投与銀ナノ粒子によるBALB/cマウスの急性毒性における*N*-acetyl-l-cysteineの影響.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

中村賢志, 木島綾希, 高須伸二, 能美健彦, 石井雄二, 小川久美子: レポーター遺伝子導入動物を用いた包括的毒性試験法によるacetamideの評価.

第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2019.9.14)

Ogawa K, Cho YM, Ide T, Akagi J, Toyoda T, Yamashita S*, Hirata T*: Size-dependent toxicity of silver nanoparticles.

Global Summit on Regulatory Science 2019 (2019.9.25)

* The University of Tokyo

赤木純一, 曹永晩, 豊田武士, 横井雅幸^{*1}, 花岡文雄^{*2}, 小川久美子: ベンゾ [a] ピレンおよび α -ナフトフラボン併用投与による腫瘍形成におけるPol κ 欠損の影響. 第78回日本癌学会学術総会 (2019.9.27)

*¹ 神戸大学

*² 国立遺伝学研究所

山田貴宣, 豊田武士, 小川久美子: ラット膀胱発がん過程における γ -H2AX及び膀胱がん幹細胞マーカー陽性細胞の役割.

第78回日本癌学会学術総会 (2019.9.27)

豊田武士, 山田貴宣, 小川久美子: オルト-トルイジン類似構造を有する芳香族アミンによるラット膀胱粘膜傷害および γ -H2AX形成.

第78回日本癌学会学術総会 (2019.9.28)

田島悠也^{*1}, 豊田武士, 平山裕一郎^{*1}, 橋詰力^{*1}, 松下幸平, 小川久美子, 渡辺賢二^{*1}, 戸塚ゆ加里^{*2}, 若林敬二^{*1}, 三好規之^{*1}: 膀胱発がん性芳香族アミン *o*-toluidineのDNA付加体および代謝物分析.

第8回食品薬学シンポジウム (2019.10.19)

*¹ 静岡県立大学

*² 国立がん研究センター研究所

石井雄二: アルケニルベンゼン化合物の遺伝毒性.

第6回アジア環境変異原学会・日本環境変異原学会第48回大会合同大会 (2019.11.18)

高須伸二, 土屋卓磨, 石井雄二, 木島綾希, 小川久美子, 梅村隆志: GPGモデルを用いたフラン類化合物の*in vivo*遺伝毒性及び発がん性の検討.

第6回アジア環境変異原学会・日本環境変異原学会第48回大会合同大会 (2019.11.19)

田島悠也^{*1}, 豊田武士, 平山裕一郎^{*1}, 橋詰力^{*1}, 松下幸平, 小川久美子, 渡辺賢二^{*1}, 戸塚ゆ加里^{*2}, 若林敬二^{*1}, 三好規之^{*1}: DNA付加体を形成する膀胱発がん

性芳香族アミン*o*-toluidine代謝物の分析.

第6回アジア環境変異原学会・日本環境変異原学会第48回大会合同大会 (2019.11.20)

*¹ 静岡県立大学

*² 国立がん研究センター研究所

赤木純一, 横井雅幸*¹, 曹永晩, 岩井成憲*², 花岡文雄*³, 菅澤薫*¹, 小川久美子: *N*7-グリシドアミドdG付加体により誘発されるDNA複製阻害と変異原性の解析. 第42回日本分子生物学会年会 (2019.12.3)

*¹ 神戸大学

*² 大阪大学

*³ 国立遺伝学研究所

松下幸平, 豊田武士, 山田貴宣, 森川朋美, 小川久美子: 慢性腎臓病における再生機構の破綻した尿細管による線維化促進メカニズムの解明.

第2回医薬品毒性機序研究会 (2020.1.23)

豊田武士, 山田貴宣, 松下幸平, 小川久美子: 病理学的手法による膀胱発がん性の早期検出および機序解明.

第2回医薬品毒性機序研究会 (2020.1.24)

井手鉄哉, 曹永晩, 赤木純一, 水田保子, 大石裕司*, 小川久美子: F344ラットにおける*N*-ethyl-*N*-nitrosourea誘発肺病変の病理組織学的検討.

第36回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2020.2.13)

* 大阪市立大学

高須伸二, 中根芽, 石井雄二, 木島綾希, 小川久美子, 梅村隆志: 異なる細胞動態を示すFuran及びDEN誘発GST-P陽性細胞巢におけるSox9の発現.

第36回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2020.2.13)

中村賢志, 石井雄二, 木島綾希, 高須伸二, 能美健彦, 渋谷淳*, 小川久美子: *gpt* deltaラットを用いたacetamideのラット肝発がんメカニズムに関する検討.

第36回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2020.2.13)

* 東京農工大学

山田貴宣, 豊田武士, 松下幸平, 森川朋美, 小川久美子: BBN誘発ラット膀胱発がん過程におけるHepatocyte growth factor (HGF) の関与.

第36回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2020.2.13)

松下幸平, 豊田武士, 山田貴宣, 森川朋美, 小川久美子: 急性腎障害から慢性腎臓病への進展を早期に予測する新規評価分子の探索.

第36回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2020.2.13)

豊田武士, 山田貴宣, 松下幸平, 赤木純一, 曹永晩, 森川朋美, 小川久美子: 腎発がん物質早期検出指標としての γ -H2AXの応用可能性: 至適評価時点の検討.

第36回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2020.2.13)

赤木純一, 曹永晩, 豊田武士, 水田保子, 井手鉄哉, 西川秋佳, 小川久美子: 肝発がん物質投与ラット肝臓における γ -H2AX陽性細胞率の検討.

第36回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2020.2.14)

野中瑞穂*, 西村次平*, 直田みさき*, 小川久美子, 西川秋佳: 医療用医薬品のトランスジェニックマウスを用いたがん原性試験に関する調査.

第36回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2020.2.14)

* (独) 医薬品医療機器総合機構

Toyoda T, Yamada T, Matsushita K, Morikawa T, Ogawa K: Mucosal damage and γ -H2AX formation in the rat urinary bladder induced by aromatic amines with structures similar to that of *o*-toluidine.

59th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2020.3.16)

Yamada T, Toyoda T, Matsushita K, Morikawa T, Ogawa K: Dose- and time-dependent formation of γ -H2AX, a biomarker for early detection of bladder carcinogens, and its potential role in tumorigenesis in the rat urinary bladder.

59th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2020.3.16)

Nonaka M*, Naota M*, Nishimura J*, Ogawa K, Nishikawa A: A retrospective analysis of transgenic mouse carcinogenicity studies for pharmaceuticals in Japan.

59th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2020.3.16)

* Pharmaceuticals and Medical Devices Agency

Ishii Y, Takasu S, Nakamura K, Kijima A, Ogawa K, Umemura T: The role of genotoxicity in the carcinogenicity of acrylamide in the lungs and hardierian glands of mice.

59th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2020.3.18)

Takasu S, Nakane S, Ishii Y, Kijima A, Ogawa K, Umemura T: The expression of Sox9 in vanishing GST-P positive foci after cessation of carcinogen treatments.

59th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2020.3.19)

赤木純一, 横井雅幸^{*1}, 曹永晩, 岩井成憲^{*2}, 花岡文雄^{*3,4}, 菅澤薫^{*1}, 小川久美子: アクリルアミドの活性化代謝物であるグリシドアミドのデオキシグアノシンN7位付加体はDNA複製阻害と点突然変異を誘発する.
日本薬学会第140年会 (2020.3.26)

^{*1} 神戸大学

^{*2} 大阪大学

^{*3} 学習院大学

^{*4} 国立遺伝学研究所

石井雄二, 高須伸二, 中村賢志, 木島綾希, 小川久美子, 梅村隆志: レポーター遺伝子導入動物を用いた*in vivo*変異原性試験と網羅的DNA付加体解析を用いたエレミンの発がん性評価.

日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

豊田武士, 山田貴宣, 井手鉄哉, 松下幸平, 森川朋美, 小川久美子: F344ラットの小腸に認められた神経筋血管過誤腫の一例.

第7回日本獣医病理学専門家協会学術集会 (2020.3.27)

Masumura K, Ando T, Toyoda-Hokaiwado N, Ukai A, Nohmi T, Honma M: Analyses of ENU-induced germ cell mutations in male mice and inherited germline mutations in the offspring.

The 47th Annual Meeting of the European Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2019.5.21)

Sugiyama K, Furusawa H, Kinoshita M, Takino M*, Honma M: Detection of epigenotoxicity of mycotoxin ochratoxin A with *DNMT* yeast.

The 47th Annual Meeting of the European Environmental

Mutagenesis and Genomics Society (2019.5.21)

* Agilent Technologies Japan, Ltd.

浦聖恵*, 佐々彰*, 東條あかり*, 原田佳歩*, 安井学, 本間正充: ゲノム恒常性維持におけるヒストンメチル化酵素NSD2の役割.

第13回日本エピジェネティクス研究会年会 (2019.5.28)

* 千葉大学大学院 理学研究院

杉山圭一: 環境中から検出されるエピジェネティック変異原物質.

2019年度日本環境変異原学会公開シンポジウム (2019.6.8)

本間正充: ICH-M7 (R2) 最新情報.

日本環境変異原学会・MMS研究会第74回定例会 (2019.6.14)

堀端克良: *Pig-a*試験.

日本環境変異原学会・MMS研究会第74回定例会 (2019.6.15)

安井学: TK6細胞を用いる共同研究.

日本環境変異原学会・MMS研究会第74回定例会 (2019.6.15)

本間正充: 重大な発がん性物質は変異原性物質である. 変異原性物質は*in silico*で予測できる. 従って, 発がん性物質は*in silico*で予測できる.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

Masumura K, Ando T, Ishii Y, Honma M: Dose response of DNA adduct formation and gene mutation induced by acrylamide in *gpt* delta mice.

Environmental Mutagenesis & Genomics Society 50th Annual Meeting (2019.9.20)

Hamada S*, Shigano M*, Nakadate K*, Takasawa H*, Honma M: Effect of aging on the repeated dose liver micronucleus assay.

Environmental Mutagenesis & Genomics Society 50th Annual Meeting (2019.9.21)

* LSI Medience Corporation

増村健一：マウス雄性生殖細胞突然変異および次世代個体ゲノムにおける*de novo*変異の検出。

日本放射線影響学会第62回大会 (2019.11.14)

Sassa A^{*1}, Tada H^{*2}, Takeishi A^{*1}, Harada K^{*1}, Nakatani K^{*1}, Tsuda M^{*3}, Sasanuma H^{*4}, Takeda S^{*4}, Sugasawa K^{*2}, Yasui M, Honma M, Ura K^{*1}: Alternate processing pathways of a single ribonucleotide incorporated into DNA and its consequences in human cells.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

^{*1} Graduate School of Science, Chiba University

^{*2} Biosignal Research Center, Kobe University

^{*3} Graduate School of Integrated Science for Life, Hiroshima University

^{*4} Graduate School of Medicine, Kyoto University

Liu W^{*1}, Yasui M, Sassa A^{*2}, Cao Y^{*1}, Xi J^{*1}, You X^{*1}, Honma M, Luan Y^{*1}: FTO's roles in DNA damage response and underlying mechanism.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

^{*1} Shanghai Jiao Tong University School of Medicine

^{*2} Graduate School of Science, Chiba University

Takeiri A^{*}, Matsuzaki K^{*}, Tanaka K^{*}, Ogawa K, Yasui M, Honma M, Mishima M^{*}: An evaluation of γ H2AX focus induction in TK6 cells can be an initial follow-up approach after positive results in the Ames test; an optional part of a collaborative study by MMS. The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

* Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.

Honma M: Ames/QSAR International Challenge Project.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on

Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.19)

Honma M: We move to a new era "The Japanese Environmental Mutagen and Genome Society".

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.19)

Suzuki A^{*1}, Sassa A^{*2}, Yasui M, Honma M: Comparison analysis of backbones between 8-oxoG added DNA and intact DNA enclosed with water molecules by using an accelerated quantum chemical calculation.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

^{*1} New Industry Creation Hatchery Center, Tohoku University

^{*2} Graduate school of Science, Chiba University

Yamamoto M^{*}, Otani N^{*}, Yasui M, Ogawa K, Honma M: Evaluation of *in vitro* Comet assay using human lymphoblast TK6 cells as follow-up approaches for positive results in the Ames test: optional work of a collaborative study by MMS.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

* Astellas Pharma Inc.

Grúz P, Shimizu M^{*1}, Yamada M^{*2}, Sugiyama K, Honma M: Mechanisms of mutagenicity of ω -3 fatty acid peroxidation products.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

^{*1} Tokyo Healthcare University

^{*2} National Defense Academy of Japan

Takeishi A^{*1}, Yasui M, Sasanuma H^{*2}, Takeda S^{*2}, Sugawara K^{*3}, Honma M, Ura K^{*1}, Sassa A^{*1}: Mechanistic insight of unique mutations caused by a ribonucleotide embedded into DNA.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

^{*1} Graduate school of Science, Chiba University

^{*2} Graduate School of Medicine, Kyoto University

^{*3} Biosignal Research Center, Kobe University

Sakai Y^{*1}, Ishii T^{*1}, Takahashi Y^{*1}, Miura Y^{*1}, Fukushima T^{*1}, Kato M^{*2}, Sugiyama K: Comparison of *Salmonella typhimurium* tester strains TA97 and TA97a with TA1537.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

^{*1} Japan Tobacco Inc.

^{*2} CMIC Pharma Science Co., Ltd.

Kato M^{*1}, Hakura A^{*2}, Sugiyama K: Revisiting the bacterial mutagenicity assays (Ames test); summary report by a workgroup of the International Workshops on Genotoxicity Testing Genetic Toxicology (IWGT).

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

^{*1} CMIC Pharma Science Co., Ltd.

^{*2} Eisai Co., Ltd.

Yasui M, Fukuda T^{*1}, Ukai A, Maniwa J^{*2}, Yamamoto H^{*3}, Imamura T^{*4}, Fujishima S^{*5}, Otani N^{*6}, Narumi K^{*7}, Matsuzaki K^{*8}, Okada Y^{*9}, Nakagawa M^{*10}, Ueda M^{*11}, Misaki K^{*12}, Adachi J^{*13}, Ogawa K, Honma M: Evaluation of TK gene mutation assay as follow-up approaches with 10 chemicals for positive results in the Ames test: collaborative study by MMS.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen

Society (2019.11.18)

^{*1} BoZo Research Center Inc.

^{*2} AstraZeneca KK.

^{*3} Japan Tobacco Inc.

^{*4} Ina Research Inc.

^{*5} CERI

^{*6} Astellas Pharma Inc.

^{*7} Yakult Central Institute

^{*8} Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.

^{*9} Teijin Pharma, Ltd.

^{*10} LSI Medience Corporation

^{*11} BioSafety Research Center Inc.

^{*12} University of Shizuoka

^{*13} National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

Masumura K, Ando T, Ukai A, Fujiwara S^{*}, Suzuki T^{*}, Yokose S^{*}, Takagi H^{*}, Nohmi T, Honma M: New strain of *gpt* delta transgenic rat is homozygous for transgene and highly improved packaging efficiency.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

^{*} Japan SLC, Inc.

Horibata K, Takasawa H^{*}, Taquahashi Y, Yokota S, Hamada S^{*}, Honma M: *In vivo* genotoxicity assessment of multi-wall carbon nanotubes using lung micronucleus assay.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

^{*} LSI Medience Corporation

Kasamatsu T, Kitazawa A, Tajima S^{*}, Kaneko M^{*}, Honma M: *In silico* genotoxicity assessment of flavoring substances using StarDrop.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

* HULINKS Inc.

Honma M, Yasui M, Sugiyama K, Masumura K, Horibata K, Yamada M*: Genotoxicity assessment of food flavoring substances used in Japan.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

* National Defense Academy of Japan

Sugiyama K, Furusawa H, Kinoshita M, Sato K, Honma M: Analysis of epigenetic effects of the mycotoxin Fumonisin B1 using FLO assay.

The Joint Meeting of the 6th Asian Congress on Environmental Mutagens and the 48th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society (2019.11.18)

清水雅富^{*1}, 台蔵彩子^{*2}, 川田憲一^{*1}, 小城明子^{*1}, Petr Grúz: 各種脂肪酸摂取比率が生体内代謝に及ぼす影響.

第42回日本分子生物学会年会 (2019.12.6)

^{*1} 東京医療保健大学

^{*2} 聖徳大学

Kasamatsu T, Kitazawa A, Sugiyama K, Suzuki T, Honma M: Improvement of Ames test database for developing QSAR prediction models.

59th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2020.3.15)

Aoki Y*, Matsumoto M*, Matsumoto M*, Masumura K, and Nohmi T: Oral administration of hexavalent chromium did not increase mutant frequency in the small Intestine of *gpt* delta mouse.

59th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2020.3.15)

* National Institute for Environmental Studies

杉山圭一, 木下麻緒, 本間正充: 酵母を用いた代謝活性化型エピ変異原検出法の構築.

日本農芸化学会2020年度大会 (2020.3.28)

田邊思帆里, 青柳一彦^{*1}, Sabina Quader^{*2}, Horacio Cabral^{*3}, 小野竜一, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*1}: がん及び幹細胞におけるWnt/beta-cateninシグナルパスウェイ.

日本薬学会第140年会 (2020.3.28)

^{*1} 国立がん研究センター研究所

^{*2} ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

^{*3} 東京大学大学院工学系研究科

^{*4} 神戸大学大学院医学研究科

大野彰子, 渡邊昌俊*, 広瀬明彦: 多変量解析手法を用いた二酸化チタンナノ粒子の物理化学的性状に基づく毒性評価への応用.

日本薬学会第140年会 (2020.3.27)

* 三重大学大学院医学系研究科

福原潔^{*1}, 中西郁夫^{*2}, 大久保敬^{*2,3}, 今井耕平^{*1}, 水野美麗^{*1}, 松本謙一郎^{*2}, 大野彰子: C-メチルフラボノイドのラジカル消去作用.

日本農芸化学会2020年度大会 (2020.3.27)

^{*1} 昭和大学薬学部

^{*2} (独) 放射線医学総合研究所

^{*3} 大阪大学高等共創研究院先導的学際研究機構

吉井啓太*, 西浦博*, 井上薫, 山口崇幸*, 広瀬明彦: BMD法適用におけるモデル選択手法の定量的評価.

第90回日本衛生学会学術総会 (2020.3.26)

* 北海道大学大学院医学研究院

Yamada T, Matsumoto M, Kawamura T, Miura M, Hirose A: Read-across case study on testicular toxicity of ethylene glycol methyl ether-related substances for the fourth cycle of OECD IATA Case Studies Project. 59th Annual Meeting of Society of Toxicology (2020.3.19)

Inoue K, Yoshida K, Kawakami T, Sakai S, Kubota R, Ikarashi Y, Hirose A: Health risk assessment of ethylenethiourea in crumb rubber based on original exposure scenario for Japanese soccer players on the synthetic turf fields.

59th Annual Meeting of SOT (2020.3.18)

Yoshii K*, Nishiura H*, Inoue K, Hirose A: Evaluation

of model selection criteria including model averaging during the application of benchmark dose method to quantal response data.

59th Annual Meeting of SOT (2020.3.17)

* Graduate School of Medicine, Hokkaido University

Ashikaga T, Narita K*, Okutomi H*, Kawakami K*, Sui H*: Effectiveness of h-CLAT, an *In Vitro* Skin Sensitization Test Method, in Evaluating Respiratory Sensitizers.

59th Annual Meeting of SOT (2020.3.17)

* Food and Drug Safety Center, Hatano Research Institute

Hirose A, Yoshii K*¹, Inoue K, Shigeta Y, Matsumoto M, Kawamura T, Yamaguchi T*^{2,3}, Nishiura H*¹: Performance comparison of BMDL calculation by the model averaging methods for quantal dataset.

59th Annual Meeting of SOT (2020.3.16)

*¹ Graduate School of Medicine, Hokkaido University

*² CREST

*³ Shiga University

田邊思帆里, 青柳一彦*¹, Sabina Quader*², Horacio Cabral*³, 小野竜一, 広瀬明彦, 横崎宏*⁴, 佐々木博己*¹: がん関連Wnt/beta-cateninシグナルパスウェイに関する有害性発現経路 (Adverse Outcome Pathway; AOP) の開発.

第93回日本薬理学会年会 (2020.3.16)

*¹ 国立がん研究センター研究所

*² ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*³ 東京大学大学院工学系研究科

*⁴ 神戸大学大学院医学研究科

田邊思帆里, 青柳一彦*¹, Sabina Quader*², Horacio Cabral*³, 小野竜一, 広瀬明彦, 横崎宏*⁴, 佐々木博己*¹: 骨髄由来間葉系幹細胞及び胃がんにおける上皮間葉転換関連分子パスウェイ及びがん幹細胞ネットワーク.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.3.12)

*¹ 国立がん研究センター研究所

*² ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*³ 東京大学大学院工学系研究科

*⁴ 神戸大学大学院医学研究科

北條幹*¹, 坂本義光*¹, 山本行男*¹, 前野愛*¹, 多田幸恵*¹, 長谷川悠子*¹, 湯澤勝廣*¹, 長澤明道*¹, 田中和良*¹, 矢野範男*¹, 鈴木俊也*¹, 猪又明子*¹, 守安貴子*¹, 広瀬明彦, 中江大*²: MWCNT誘発性のラット腹膜中皮腫発症過程における炎症および免疫関連因子に着目した病理組織学的解析.

第36回日本毒性病理学会学術集会 (2019.2.14)

*¹ 東京都健康安全センター

*² 東京農業大学

坂本義光*¹, 北條幹*¹, 前野愛*¹, 鈴木俊也*¹, 猪又明子*¹, 守安貴子*¹, 広瀬明彦, 中江大*²: 多層カーボンナノチューブを反復気管内投与したラットにおける肺神経内分泌細胞 (PNEC) の増生.

第36回日本毒性病理学会学術集会 (2019.2.14)

*¹ 東京都健康安全センター

*² 東京農業大学

前野愛*¹, 坂本義光*¹, 北條幹*¹, 湯澤勝廣*¹, 長谷川悠子*¹, 長澤明道*¹, 大貫文*¹, 鈴木俊也*¹, 猪又明子*¹, 守安貴子*¹, 後藤裕子*², 大西誠*², 小林憲弘, 広瀬明彦, 中江大*³: 異なる投与器具を用いた多層カーボンナノチューブ (MWCNT) のラット気管内投与試験における肺毒性と肺負荷量の比較.

第36回日本毒性病理学会学術集会 (2019.2.14)

*¹ 東京都健康安全センター

*² 日本バイオアッセイ研究センター

*³ 東京農業大学

田邊思帆里, 青柳一彦*¹, Sabina Quader*², 小野竜一, 広瀬明彦, 横崎宏*³, 佐々木博己*¹: The Wnt/beta-catenin signaling pathway and its relation to cancer and stem cells.

第2回医薬品毒性機序研究会 (2020.1.23-24)

*¹ 国立がん研究センター研究所

*² ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*³ 神戸大学大学院医学研究科

山田隆志, 広瀬明彦, 石田誠一, 笠松俊夫, 本間正充: 化学物質のヒト健康リスク評価に対する*in silico* アプローチの開発動向.

第47回構造活性相関シンポジウム (2019.12.12)

Hirose A, Kobayashi N, Kurimoto M, Yamamoto H*, Ikarashi Y, Yamada T: Construction of databases of environmental fate and ecotoxicity for the development of environmental risk evaluation system of pharmaceuticals.

Society of Risk Analysis 2019 Annual meeting(2019.12.9)

* 国立環境研究所

明関由里子, 吉田喜久雄, 石田誠一, 山田隆志: 生理学的薬物動力学 (PBPK) モデルパラメータの物質群毎の特徴の解析.

第32回日本リスク学会年次大会 (2019.11.23)

小島肇: 安全性評価試験法のOECD 等における国際動向と課題.

日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.22)

足利太可雄: 呼吸器感作性物質評価に関するh-CLAT の有用性検討.

日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.22)

赤木隆美^{*1}, 村上将登^{*1}, 宮崎裕美^{*2}, 田口浩之^{*3}, 池田英史^{*4}, 加藤雅一^{*5}, 山田知美^{*6}, Mura Simona^{*7}, Couvreur Patrick^{*7}, 足利太可雄, 小島肇, 明石満^{*1}: 交互積層細胞コーティング技術を用いた三次元全層皮膚モデルの構築と皮膚刺激性試験バリデーション研究.

日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.21)

*¹ 大阪大学大学院 生命機能研究科

*² 防衛医科大学校 防衛医学研究センター

*³ 花王株式会社

*⁴ 株式会社マングラム

*⁵ 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

*⁶ 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部

*⁷ Institut Galien Paris-Sud

山口宏之^{*1,2}, 押方歩^{*1}, 綿谷弘勝^{*1}, 小島肇, 竹澤俊明^{*1}: Vitirgel-EIT 法を固体に適用するための新たな適用範囲の提案.

日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.21)

*¹ 農業・食品産業技術総合研究機構

*² 関東化学株式会社 伊勢原研究所

秋元美由紀^{*1}, 吉田浩介^{*2}, 渡辺真一^{*2}, 山鹿宏彰^{*2}, 若林晃次^{*3}, 田原宥^{*3}, 堀江宣行^{*4}, 藤本恵一^{*4}, 草苺啓^{*5}, 神谷孝平^{*5}, 河上強志, 小島幸一^{*6}, 寒水孝司^{*7}, 小野敦^{*8}, 小島肇, 藤田正晴^{*1}, 山本裕介^{*1}, 笠原利彦^{*1}: ADRAにおけるDMSO溶媒中でのNACの酸化と感作性予測精度に与える影響.

日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.21)

*¹ 富士フイルム株式会社 ESG 推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター

*² ライオン株式会社 研究開発本部 安全性科学研究所

*³ 三井化学株式会社 RC・品質保証部 化学品安全センター

*⁴ 住友化学株式会社 生物環境科学研究所

*⁵ 日産化学株式会社 生物科学研究所 安全性研究部

*⁶ (一財) 食品薬品安全センター 秦野研究所

*⁷ 東京理科大学 工学部 情報工学科

*⁸ 岡山大学 医歯薬学総合研究科薬学系

成田和人*, 奥富弘子*, 川上久美子*, 須井哉*, 足利太可雄: 呼吸器感作性物質評価に対するh-CLATの有用性検討.

日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.21)

* (一財) 食品薬品安全センター 秦野研究所

木村裕^{*1}, 安野理恵^{*2}, 渡辺美香^{*3}, 小林美和子^{*3}, 岩城知子^{*4}, 藤村千鶴^{*1}, 近江谷克裕^{*2}, 山影康次^{*3}, 中島芳浩^{*4}, 真下奈々^{*5}, 高木佑実^{*5}, 大森崇^{*5}, 小島肇, 相場節也^{*1}: Multi-ImmunoTox Assay (MITA) の予測性評価に必要な文献に基づく化学物質免疫毒性分類の試み.

日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.20)

*¹ 東北大学 大学院医学研究科

*² 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門

*³ (一財) 食品薬品安全センター 秦野研究所

*⁴ 産業技術総合研究所 健康工学研究部門

*⁵ 神戸大学大学院医学研究科

Kojima H: Modern Cosmetic Testing Technology that Alternative to Animal Testing (efficacy, safety evaluation).

The 2nd TISTR and JAIMA conjoint conference (2019.11.7)

Suzuki M*, Ambe K*, Tohkin M*, Yamada T,

Ashikaga T: Development of *in silico* prediction model for skin sensitization using the alternative tests dataset.

情報計算化学生物学会 (CBI学会) 2019年大会 (2019.10.22-24)

* Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya City University

Kojima H: Asian Consortium for Three Rs. European Society for Alternatives to Animal Testing (EUSAAT) 2019 (2019.10.12)

坂本義光^{*1}, 広瀬明彦, 中江大^{*2}: Time course of histopathology and the status of involved humoral factors during the carcinogenesis of MWCNT in rats. 第78回日本癌学会学術総会 (2019.9.28)

^{*1} 東京都健康安全センター

^{*2} 東京農業大学

田邊思帆里, Sabina Quader^{*1}, 小野竜一, 青柳一彦^{*2}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*3}, 佐々木博己^{*2}: 胃がん及び幹細胞における上皮間葉転換関連ネットワークパスウェイ. 第78回日本癌学会学術総会 (2019.9.27)

^{*1} ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

^{*2} 国立がん研究センター研究所

^{*3} 神戸大学大学院医学研究科

Kojima H: Establishment of the Asian Consortium for Three Rs supported by ASCCT, 8th Annual Meeting of the American Society for Cellular and Computational Toxicology (2019.9.25)

福原潔^{*1}, 中西郁夫^{*2}, 今井耕平^{*1}, 松本謙一郎^{*2}, 大野彰子: 鉄錯体形成をトリガーとした新規抗酸化物質の開発.

第43回日本鉄バイオサイエンス学会学術集会 (2019.9.20)

^{*1} 昭和大学薬学部

^{*2} (独) 放射線医学総合研究所

Matsumoto M, Igarashi T, Inoue K, Yamada T, Hirose A: Hazard assessment of hydrazine, a possible migration contaminant from drinking water apparatus.

EUROTOX 2019(2019.9.11)

Watanabe W*, Akashi T*, Hirose A, Miyauchi A*, Yoshida H*, Kurokawa M*: Effects of double-walled carbon nanotubes on the early phase of respiratory syncytial virus infection in mice.

EUROTOX 2019(2019.9.11)

* 九州保健福祉大学大学院保健科学研究科

Hojo M^{*1}, Maeno A^{*1}, Sakamoto Y^{*1}, Onuki A^{*1}, Hasegawa Y^{*1}, Yuzawa K^{*1}, Kubo Y^{*1}, Nagasawa A^{*1}, Ohnishi M^{*2}, Goto Y^{*2}, Taquahashi Y, Kobayashi N, Suzuki T^{*1}, Inomata A^{*1}, Moriyasu T^{*1}, Hirose A, Nakae D^{*3}: Clearance of multi-walled carbon nanotubes in rat lungs after intratracheal instillation: a comparison of different instillation devices.

EUROTOX 2019(2019.9.11)

^{*1} 東京都健康安全センター

^{*2} 日本バイオアッセイ研究センター

^{*3} 東京農業大学

小島肇: OECD AOP プロジェクト. 第26回日本免疫毒性学会学術年会 (2019.9.10)

足利太可雄: 免疫毒性AOP開発が目指すもの. 第26回日本免疫毒性学会学術年会 (2019.9.10)

Fukuhara K^{*1}, Imai K^{*1}, Nakanishi I^{*2}, Matsumoto K^{*2}, Ohno A: Planar catechin conjugated with DTPA as a promising antioxidant triggered by Fe³⁺ coordination. 258th ACS National Meeting (2019.8.29)

^{*1} School of Pharmacy, Showa University,

^{*2} Quantitative RedOx Sensing Team (QRST), Department of Basic Medical Sciences for Radiation Damages, National Institute of Radiological Sciences (NIRS), National Institutes for Quantum and Radiological Science and Technology (QST)

Kojima H: Safety evaluation of cosmetic ingredients using 3-D models.

Conference on Analytical Techniques for Cosmetics (2019.7.25)

Yoshii K*, Nishiura H*, Inoue K, Hirose A: Assessing

model selection criteria during the application of benchmark dose method to quantal response data: Japanese perspectives.

15th International Congress of Toxicology (2019.7.16)

* Graduate School of Medicine, Hokkaido University

Kojima H: 21st Century Toxicology and Regulatory Testing: An Update from East Asia.

The 15th International Congress of Toxicology (ICTXV) (2019.7.16)

Yamada T, Jojima K, Hirose A: Development of hepatotoxicity prediction model using *in vitro* assay data of the molecular key events.

IUTOX 15th International Congress of Toxicology (2019.7.16)

Tanabe S, Quader S^{*1}, Ono R, Aoyagi K^{*2}, Hirose A, Yokozaki H^{*3}, Sasaki H^{*2}: Molecular Network Pathway Mechanism in Drug Resistance, Cancer and Stem Cells. ISSCR (International Society for Stem Cell Research) 2019 Annual Meeting (2019.6.28)

^{*1} Innovation Centre of NanoMedicine (iCONM)

^{*2} National Cancer Center Research Institute

^{*3} Kobe University of Graduate School of Medicine

小島肇: OECD AOPプロジェクトにおける日本の対応. 第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

溝井健太^{*1}, 細野麻友^{*1}, 松本映子^{*1}, 矢野健太郎^{*1}, 下井昭仁^{*2}, 小島肇, 萩原琢男^{*1}: 肝スフェロイドを用いた薬物の経口急性毒性試験の実験動物代替法の検討. 第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28)

^{*1} 高崎健康福祉大学薬学部

^{*2} 株式会社イナリサーチ

松本真理子, 川村智子, 井上薫, 山田隆志, 広瀬明彦: 水道水中の汚染化学物質に対する亜急性参照値の導出. 第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

磯貴子, 松本真理子, 鈴木洋, 川村智子, 山田隆志, 井上薫, 杉山圭一, 森田健, 本間正充: 食品用器具・容器包装材料のポジティブリスト化に向けた安全性評価: 脂肪酸類のグループ評価.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

大野彰子, 山田隆志, 広瀬明彦: データベースを活用した神経毒性の*in silico*予測手法の開発.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

福原潔^{*1}, 今井耕平^{*1}, 中西郁夫^{*2}, 大久保敬^{*2,3}, 大野彰子, 水野美麗^{*1}, 福住俊一^{*4}: C-メチルフィセチンのラジカル消去活性.

第72回日本酸化ストレス学会学術集会 (2019.6.27)

^{*1} 昭和大学薬学部

^{*2} (独)放射線医学総合研究所

^{*3} 大阪大学高等共創研究院先導的学際研究機構

^{*4} 名城大学理工学研究科

小島肇, 小川久美子, 西川秋佳^{*1}, 若林敬二^{*2}, 鰐淵英機^{*3}, 林真^{*4}, 福島昭治^{*5}, 遠山千春^{*6,7}: 実験動物を用いた安全性・リスク評価に携わる人材育成の必要性. 第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

^{*1} 済生会宇都宮病院

^{*2} 静岡県立大学

^{*3} 大阪市立大学医学部

^{*4} makoto international consulting

^{*5} 化学物質安全性評価研究推進機構

^{*6} 健康環境科学技術 国際コンサルティング (HESTIC)

^{*7} 東京大学

小島肇: 皮膚感作性試験代替法を行政的に受け入れるための国際動向.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

東端裕司^{*1}, 伊藤浩太^{*1}, 遠藤ちひろ^{*1}, 安彦由喜恵^{*1}, 榊原隆史^{*1}, 河村公太郎^{*1}, 松浦正男^{*1}, Raabe H^{*2}, 吉川環, 小島肇: ウシ摘出角膜の混濁度および透過性試験法 (BCOP試験) への病理組織学的検査組込の妥当性の検証 - 2施設での病理組織学的評価の比較 -. 第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

^{*1} 株式会社化合物安全性研究所

^{*2} Institute for In Vitro Sciences, Inc.

山田隆志, 本間正充, 広瀬明彦: 国立衛研における化学物質の規制安全評価のための*in silico*アプローチの開発と改良の現状.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

前野愛^{*1}, 坂本義光^{*1}, 北條^{*1}幹, 湯澤勝廣^{*1}, 長谷川悠子^{*1}, 長澤明道^{*1}, 久保喜一^{*1}, 安藤弘^{*1}, 海鉾藤文^{*1}, 田中和良^{*1}, 鈴木俊也^{*1}, 猪又明子^{*1}, 守安貴子^{*1}, 広瀬明彦, 中江大^{*2}: 多層カーボンナノチューブ (MWCNT) のラット気管内投与試験の生体内分布と呼吸器毒性における投与器具の比較.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.27)

^{*1} 東京都健康安全センター

^{*2} 東京農業大学

小島肇: *In vitro*から*in vivo*の予測, ヒト外挿性向上への期待.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.26)

広瀬明彦: PDE設定の基本的考え方.

第46回日本毒性学会学術年会 (2019.6.26)

Kojima H: Use of new approach methods (NAM) in next generation risk assessment (NGRA).

11th World Surfactant Congress (2019.6.4)

Kojima H: The Japanese Strategy on Chemical Risk Assessment with New Approaches.

International Symposium of Advancing the Chemical Risk Assessment: New Approaches for a Sustainable Future (2019.5.31)

Yamada T, Matsumoto M, Miura M, Hirose A: Case

Study on the Use of Integrated Approach to Testing and Assessment for Testicular Toxicity of Ethylene Glycol Methyl Ether (EGME)-Related Chemicals.

EU-ToxRisk workshop on NAM-supported read-across: from case studies to regulatory guidance in safety assessment (2019.5.20)

Kojima H, Ikarashi Y, Nakada T^{*1}, Yagami A^{*2}, Todo H^{*3}, Hoshino Y^{*4}, Kubo F^{*4}, Nishimura J^{*4}, Nakajima Y^{*4}, Sakaguchi H^{*5}, Yamaguchi M^{*5}, Sugiyama M^{*5}, Hatao M^{*5}: Guidance on the Use of Alternative Test Methods for the Safety Assessment of Cosmetics and Quasi-Drugs.

Dermatology and Cosmetology Conference 2019 (2019.5.14)

^{*1} Department of Dermatology, Showa University, Fujigaoka Hospital

^{*2} Department of Dermatology, Fujita Health University School of Medicine

^{*3} Faculty of Pharmaceutical Sciences, Josai University

^{*4} Pharmaceuticals and Medical Devices Agency

^{*5} Japan Cosmetic Industry Association

Kojima H: ICCR update for the safety assessment of cosmetic ingredients.

Workshop on Cosmetic Risk Assessment and Regulatory Application of Non-animal Testing Technology (2019.4.16)